

小学校・中学校・高等学校における
ALT の実態に関する大規模アンケート調査研究

中間報告書

2014年度

上智大学

目次

I 第1章 序論	1
II 第2章 調査の概要	3
III 第3章 小・中・高アンケートでの基本情報(共通項目)の結果のまとめ	4
1. 年齢	4
2. 性別	5
3. 在日年数	5
4. ALT歴	6
5. 勤務形態	7
6. 出身国	8
7. 母語	9
8. 日本語力	11
9. 資格	12
10. 授業形態	13
11. 動機	15
12. 今後	16
13. 学習指導要領	17
14. 学習指導要領をどのように学んだか	17
15. 本章のまとめ	18
IV 第4章 小学校アンケートの結果のまとめ	19
1. 教員研修について	19
2. ALTとしての期待について	26
3. 授業計画について	29
4. ALTと日本人教員との関係について	35
5. ALTと児童との関係について	43
6. 本章のまとめ	52
V 第5章 中学校アンケートの結果のまとめ	54
1. 教員研修について	54
2. ALTとしての期待について	60
3. 授業計画について	62
4. ALTと日本人教員との関係について	65
5. ALTと生徒との関係について	74
6. 本章のまとめ	82

VI 第6章 高等学校アンケート結果のまとめ	84
1. 適切な言語運用に関する関心・意識・知識について	84
2. 生徒の適切でない言語運用への対応について	88
3. 日本人教員の適切でない話し方への対応について	92
4. 授業方法について	94
5. 授業で提供される適切な言語運用に関する誤った情報について	99
6. 本章のまとめ	103
VII 第7章 総括	106
VII 資料	
1. 資料① 質問一覧(日本語訳)	
2. 資料② 質問一覧(英語)	
3. 資料③ アンケート原文	
小学校アンケート	
中学校アンケート	
高等学校アンケート	

第1章

序論

日本の英語教育にALTが果たしてきた役割は非常に大きい。JETプログラムの前身であるMEFプログラム時代から数えて、既に30年以上になる。しかし、ALTが日本の英語教育にどのような形で関わってきたかについてのまとまった調査研究はほとんどない。McConnell(2000)は、JETプログラムの始まりから10数年を、基本的に質的研究の手法を用いて調査したが、全体像をとらえるための量的分析はない。また、最近では、Houghton & Rivers(2013)がまとめた論文集があるが、これも量的なデータは扱っていない。

今後、小学校で英語が3年生から外国語活動として導入され、また、5年生からは教科として導入される方向性が示されているが、小学校の先生は英語の専門ではないので、英語が教科になった場合に教えるのは非常に難しい。専門的に英語について学び、教え方が分からないまま教科として英語を教えるのはほとんど不可能に近い。実際、文科省の調べで、小学校の小学校英語教育で専科教員が授業を担当している割合は6%前後で、英語教員の免許を持っている小学校教員は、5%未満であることが示されたことを考えると(文部科学省「教育課程の編成・実施状況調査(H25)」)、どうしても外部人材との協力体制をつくらざるを得ない。また、小学校のみならず、中高においてもALTを増やす計画が国や地方自治体において進んでいる(例：東京都英語教育戦略会議報告書, 2015)。

そんな中で、ALT(MEFを含む)は、実績として既に30年以上の歴史があり、その存在は大きなものである。それにも拘わらず、前述したように、ALT導入の意味等についてはしっかりとした調査研究が今までなされてこなかった。そのため、今後、どのような形で彼らをもっとも有効な形で教育現場に導入すれば良いのかについては、よく分かっていないのが現状だろう。

今回の調査は、このような実情に鑑みて、全国のALT1800人以上の協力を得て行われたものである。今回は、中間報告ということで、今までなかった量的調査の結果をまとめたが、今まで分からなかったALT活用の状況、また彼らが語る日本の英語教育の姿を少しは明らかにすることができたのではないかと思う。

今後、最終報告に向け、今回示した数値の意味を、彼らの直接の声(自由記述部分)を反映させることにより、探っていく。

*なお、本研究は、(株)インタラックの委託研究として行われているものであり、その多大なご支援に対して感謝の意を述べるものである。

参考文献

- McConnell, D. (2000) *Importing Diversity: Inside Japan's Jet Program*. Oakland: University of California Press.
- Houghton, S.A. & Rivers, J. D. (eds., 2013) *Native-Speakerism in Japan: Group Dynamics in Foreign Language Education*. New York: Multilingual Matters.

第2章

研究の概要

まず本研究の「調査対象者」「調査時期」「調査方法」の概要について述べる。

1. 調査対象者

全国の小学校・中学校・高等学校で英語授業および英語活動に携わる ALT（Assistant Language Teacher 外国語指導助手）1807名が本調査の対象となった。その内訳は小学校が655名、中学校が890名、高等学校が262名であった。

2. 調査時期

本調査は、2013年11月～2014年3月の期間に行われたものである。

3. 調査方法

調査は、多肢選択式と自由記述式を含む質問からなるアンケートに回答してもらう形で実施した。質問項目数は、小学校アンケートが64項目、中学校アンケートが60項目、高等学校アンケートが50項目であった。アンケートは可能な限り多くの ALT から回答を得るため、オンライン回答形式を採用した。使用したオンラインアンケートサービスは、国内外で実績のある SurveyMonkey が提供している有料アンケート回収サービスである。

アンケート回答者は以下のような方法で募った。

全国の市町村教育委員会(1000 以上)に、所属のALTにアンケートへの回答を呼びかけてもらうよう、電子メールおよび手紙で協力を依頼した。また、学校向け ALT 配置事業社の大手である株式会社インタラックの協力を得て、同社所属の ALT に回答を呼びかけた。

第3章

小・中・高アンケートでの基本情報（共通項目）の結果のまとめ

本章では、次章以降の小学校、中学校、高等学校別のアンケート調査結果を報告するのに先立ち、まず回答者の属性に関わる基本情報のまとめを報告する。関連する質問項目は小・中・高のアンケートに共通する項目でもあるため、比較検討の観点からも3つのアンケートの結果を並列した形で提示する。以下、質問項目の順に結果を示していく。

なお、アンケートの英文の質問項目については、記述が煩雑になるのを避けるため本文には記載せず、資料に掲載した。資料では、すべての質問項目について、オリジナルの英文とその和訳を一覧できるので、必要に応じて適宜参照されたい。

1. 年齢

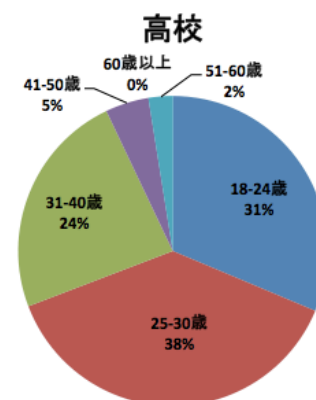
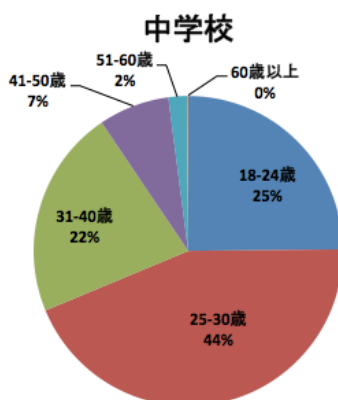
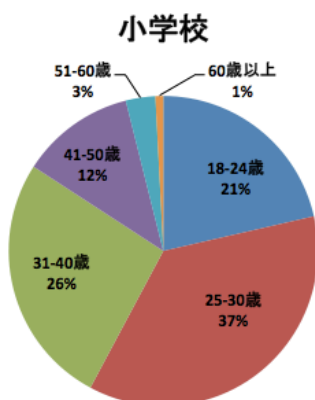
図・表3-1 年齢比率（学校種別）

1. あなたの年齢を教えてください。

	小学校	中学校	高校
18～24 歳	104	181	62
25～30 歳	177	320	75
31～40 歳	128	159	47
41～50 歳	58	54	9
51～60 歳	15	14	5
60 歳以上	4	1	0
計	486	729	198

無回答者数

小学校	中学校	高校
169	161	64



小・中・高のどの学校種においても40歳以下のALTが8割から9割を占めている。全ての学校種において、年齢層25～30歳のALTが一番多い。中学と高等学校では次いで多いのは18～24歳となっており、最多の年齢層と合わせ、ALTの実に7割が30歳以下である。小学校

では年齢層25～30歳に次いで31～40歳のALTが多い。小学校においてはALTの年齢層がやや高めの傾向があり、中学、高等学校となるに従って年齢層が若くなる傾向が窺われる。

2. 性別

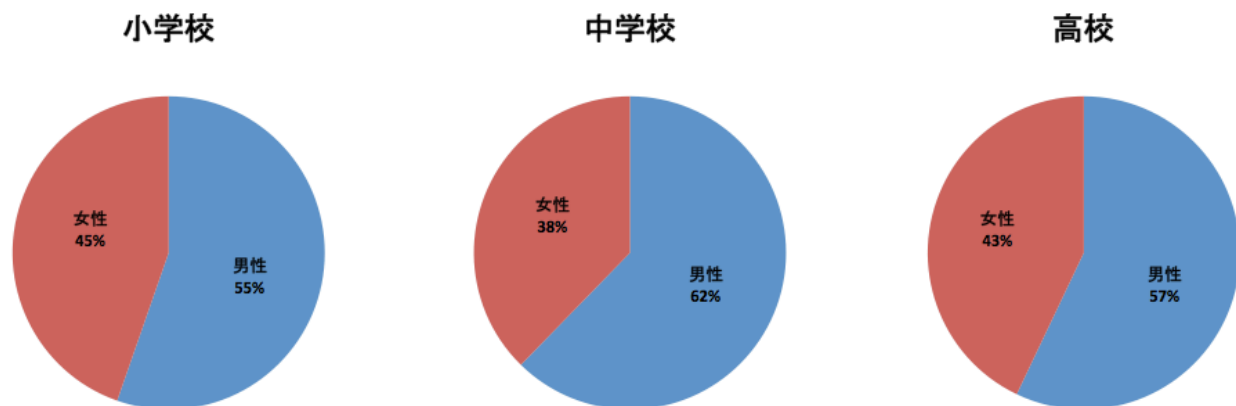
図・表3-2 男女比率(学校種別)

2. あなたの性別を教えてください。

	小学校	中学校	高校
男性	269	453	113
女性	217	274	85
計	486	727	198

無回答者数

小学校	中学校	高校
169	163	64



男女別の比率を見ると、どの学校種においても男性の方が女性よりも若干多いが、男女比率はおおよそ半々となっている。中学校では、男性が6割を超え、男女の比率の開きが一番大きい。最も女性の比率が高いのは小学校で、男性55%、女性45%である。

3. 在日年数

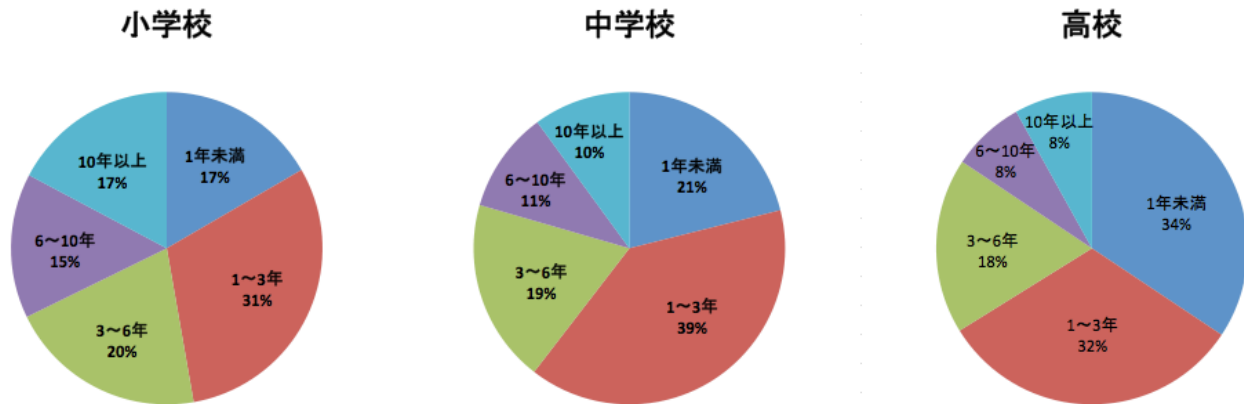
図・表3-3 在日年数(学校種別)

3. あなたは日本に住んでどれくらいになりますか。

	小学校	中学校	高校
1年未満	81	153	68
1～3年	149	286	63
3～6年	100	138	36
6～10年	73	76	15
10年以上	84	73	16
計	487	726	198

無回答者数

小学校	中学校	高校
168	164	64



日本での滞在年数について尋ねたところ、高等学校のALTでは1年未満の比率が3割を超えた。1年～3年未満と答えたALTは小学校では3割、中学校ではほぼ4割であった。高等学校でも滞在年数1年～3年未満のALTが3割以上いた。高等学校では7割近く、中学校では6割、小学校でも5割近くのALTは日本での滞在年数が3年未満であった。滞在年数3年～6年未満ではどの学校種でも2割程度で差は見られなかったが、6年～10年未満、10年以上といった比較的中長期の滞在歴を持つALTの比率は小学校では3割、中学校では2割、高等学校では2割弱(16%)であった。全体的に小学校で働くALTの在日滞在年数が比較的に長く、それが中学、高等学校となるに従い短くなる傾向が見られる。

4. ALT 歴

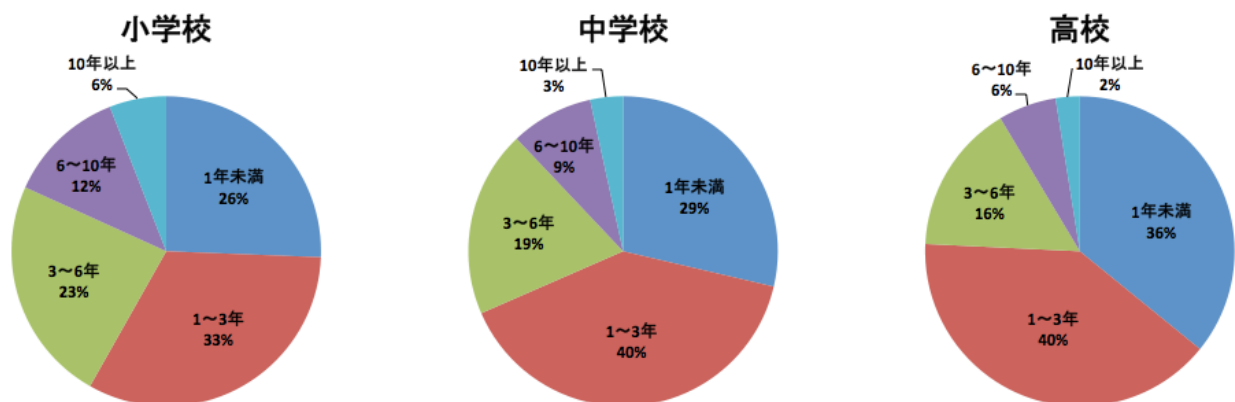
図・表3-4 ALT 経験年数(学校種別)

4. ALTとして働き始めてどれくらいになりますか。

	小学校	中学校	高校
1年未満	125	209	71
1～3年	159	290	79
3～6年	115	142	31
6～10年	60	63	12
10年以上	29	25	5
計	488	729	198

無回答者数

小学校	中学校	高校
167	161	64



ALT 歴においては、どの学校種でも1～3年までの回答が最も多く、小学校で3割、中学校・高等学校では4割であった。1年未満との回答が次いで多く、特に高等学校では36%がALT 歴1年未満である。中学校では29%、小学校では26%が1年未満であった。1年未満、1年以上3年未満を合わせた合計から、ALT としての指導歴が3年に満たない ALT の比率が高等学校では8割近く、中学校では7割、小学校でも6割であった。すべての校種において、ALT 歴が比較的短期であることが見て取れる。これは日本での滞在年数の結果と相同しており、回答者が日本での滞在経験がごく浅いうちから ALT として日本の学校での指導に当たっていることを示唆している。ALT 歴が3～6年未満、6～10年未満、10年以上と中長期になるにしたがって回答者数の比率は下がっている。3年以上の ALT 歴を持つ ALT の比率は小学校では4割、中学校では3割、高等学校では2割超であった。全体として小学校で教える ALT のALT 歴が比較的長く、それが中学、高等学校となるに従い短くなる傾向が見られる。これは、ALT の在日年数と同じ傾向である。

5. 勤務形態

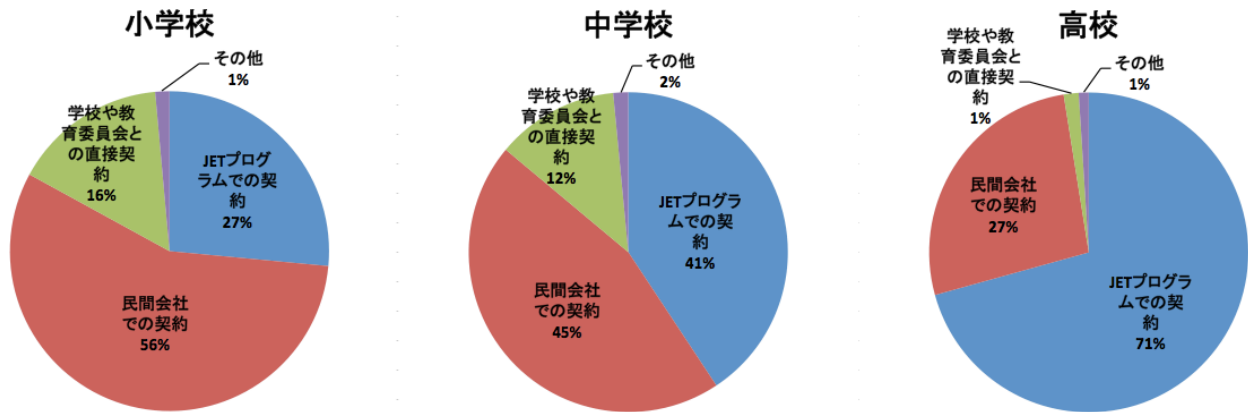
図・表3-5 勤務形態(学校種別)

5. 現在の勤務形態を教えてください。

	小学校	中学校	高校
JET プログラムでの契約	129	295	140
民間会社での契約	275	329	53
学校や教育委員会との直接契約	76	90	3
その他	7	11	2
計	487	725	198

無回答者数

小学校	中学校	高校
168	165	64



勤務形態は小学校と中学校では民間会社での契約が最も多く、それぞれ56%、45%となっているが、高等学校ではJETプログラムでの契約が7割を超え、突出して多い。JETプログラムでの契約は中学校では4割、小学校では3割であり、高等学校、中学校、小学校の順で比率が下がっている。逆に学校や教育委員会との直接契約は、小学校が最も多く16%、中学校では12%であるが、高等学校では1%であり極端に少なくなっている。

6. 出身国

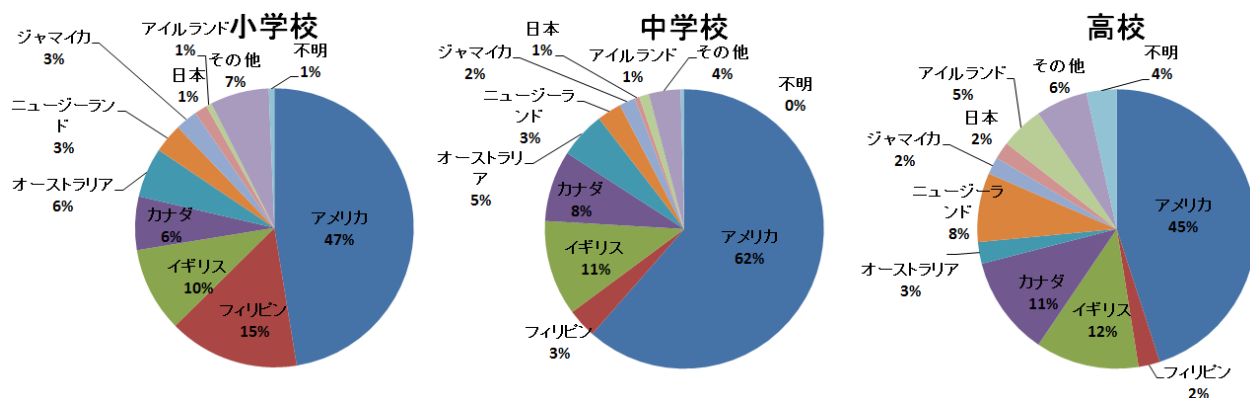
図・表3-6 出身国(学校種別)

6. 出身国を教えてください。(自由記述、複数回答可)

	小学校	中学校	高校
アメリカ	222	434	89
フィリピン	71	24	5
イギリス	46	78	24
カナダ	29	58	23
オーストラリア	27	38	5
ニュージーランド	16	20	15
ジャマイカ	12	13	4
日本	7	4	3
アイルランド	3	8	10
その他	32	26	10
不明	3	3	8
計	468	706	196

無回答者数

小学校	中学校	高校
187	184	66



ALT の出身国を見てみると、アメリカ合衆国がどの学校種においても一番多い(小:47%、中:62%、高:45%)。次いで多いのがイギリスとカナダ(小:16%、中:19%、高:23%)である。総じて、英語圏出身(フィリピンを含めない)の割合は、小学校で73%、中学校90%、高等学校84%と高くなっている。全般的にコアな英語使用圏出身の ALT が大多数を占めている中において、小学校の場合のみフィリピン出身の ALT が15%と突出して多い。

7. 母語

図・表3-7 母語(学校種別)

7. あなたの母(国)語を教えてください。

(自由記述、複数回答可)

	小学校	中学校	高校
英語	421	678	187
その他	150	106	45
不明	5	4	6
回答人数	471	710	238

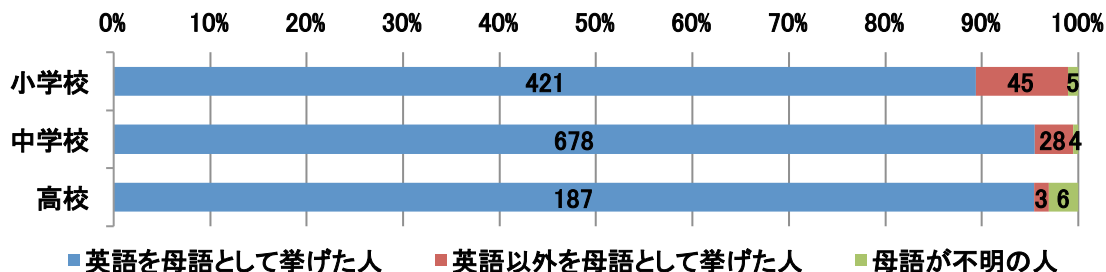
無回答者数

小学校	中学校	高校
184	180	66

母語内訳	小学校	中学校	高校
英語	421	678	187
アイルランド語	0	3	4
アカン語	1	0	0
アフリカーンス語	0	1	2
イタリア語	1	0	2
イボ語	2	1	0
イロカノ語	3	0	2
イフガオ語	1	0	0
インドネシア語	1	1	0
ウェールズ語	0	0	1
ウクライナ語	0	3	0
ウルドゥ語	0	1	0
エストニア語	1	0	0

オランダ語	0	1	0
カンカネイ語	0	0	1
ギリシャ語	0	1	0
グシイ語	0	1	0
シンハラ語	0	0	1
スペイン語	20	12	6
スロバキア語	1	1	0
スワヒリ語	0	2	0
セブアノ語	2	0	0
タガログ語(フィリピン語を含む)	66	25	7
タミル語	0	1	0
デンマーク語	1	1	0
ドイツ語	4	5	0
トンガ語	1	0	0
ネパール語	0	1	0
ハウサ語	1	1	0
ハンガリー語	0	2	1
ビコール語	1	0	0
ビサヤ語	1	2	0
ピジン	0	1	0
ヒリガイノン語	1	0	0
ヒンディー語	2	0	0
フィジー語	1	0	0
フランス語	6	8	7
ブルガリア語	1	0	0
ベトナム語	0	3	0
ヘブライ語	1	0	0
ポーランド語	0	1	0
ポルトガル語	3	3	0
マオリ語	1	1	1
マレーシア語	0	2	0
モン語	0	1	0
ヨルバ語	1	1	0
ラテン語	1	0	0
ロヴィアナ語	0	1	0
ロシア語	1	2	0
韓国語	1	2	0
中国語(広東語を含む)	10	8	6
日本語	11	6	4
フィリピンの少数言語*	1	0	0
不明	5	4	6
回答総数	576	788	238

*具体的明記なし



母語についてはどの学校種においても9割前後のALTが英語を母語として挙げていた。回答人数に占めるその割合は小学校では89%、中学校・高校では95%となっている。「質問6. 出身国」の結果で見られた英語国(フィリピンを含めない)出身のALTの割合も中、高、小の順となっており、出身国と母語との関連が窺える。また、出身国では小学校においてフィリピン出身のALTが15%と多かったが、これに関連して小学校ではフィリピンで話されているタガログ語および公用語のフィリピン語の回答が66件と突出して多い。さらに、今回の調査では英語以外に53種類に及ぶ言語が母語として挙げた。ALTの出身国、母語について、多様な言語的、文化的背景を持つALTがいることを示すこの結果は国際共通語としての英語を考える上で示唆に富んだ調査結果であるといえる。

8. 日本語力

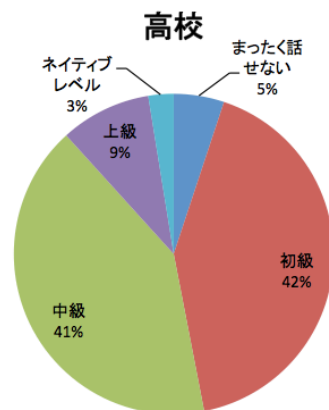
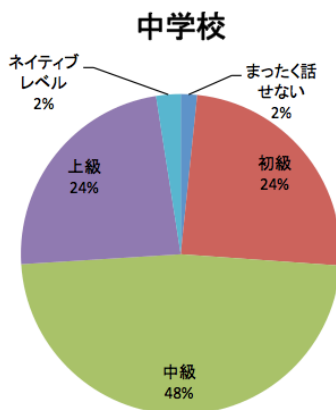
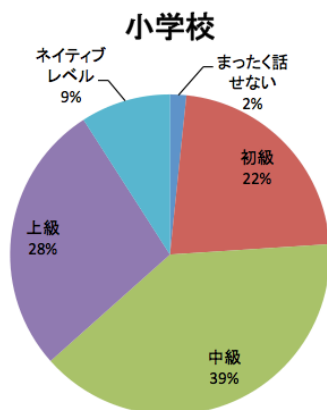
図・表3-8 日本語能力(学校種別)

8. あなたの日本語のレベルを教えてください。

	小学校	中学校	高校
まったく話せない	8	12	10
初級	108	178	82
中級	191	348	81
上級	133	171	18
ネイティブレベル	44	18	5
計	484	727	196

無回答者数

小学校	中学校	高校
171	163	66



日本語力について、小学校・中学校では「まったく話せない」・「初級」と申告している ALT の割合は小学校・中学校は2.5割前後であるが、高等学校では5割近く、小学校・中学校のほぼ2倍である。どの学校種でも4～5割程度の ALT が自分の日本語力を中級と申告している。（小：39%、中：48%、高：41%）。上級と申告している割合は小学校が最も多く、3割近い。中学校でも2割を超える。しかし、高等学校では1割に満たない。学校種ごとの ALT の日本語力と、在日年数および ALT 歴の長さにはある程度関連性が見られるものと思われる。ALT 歴は小学校では比較的長く、高等学校では短い傾向が見られた。ALT としての勤務歴が長いほど日本語力が高くなると想定される。しかし一方では、小学校に勤務する ALT には相応の日本語力が求められるため、比較的日本語力の高い ALT が小学校に多いということも考えられる。この関連性については、今後更なる分析が必要である。

9. 資格

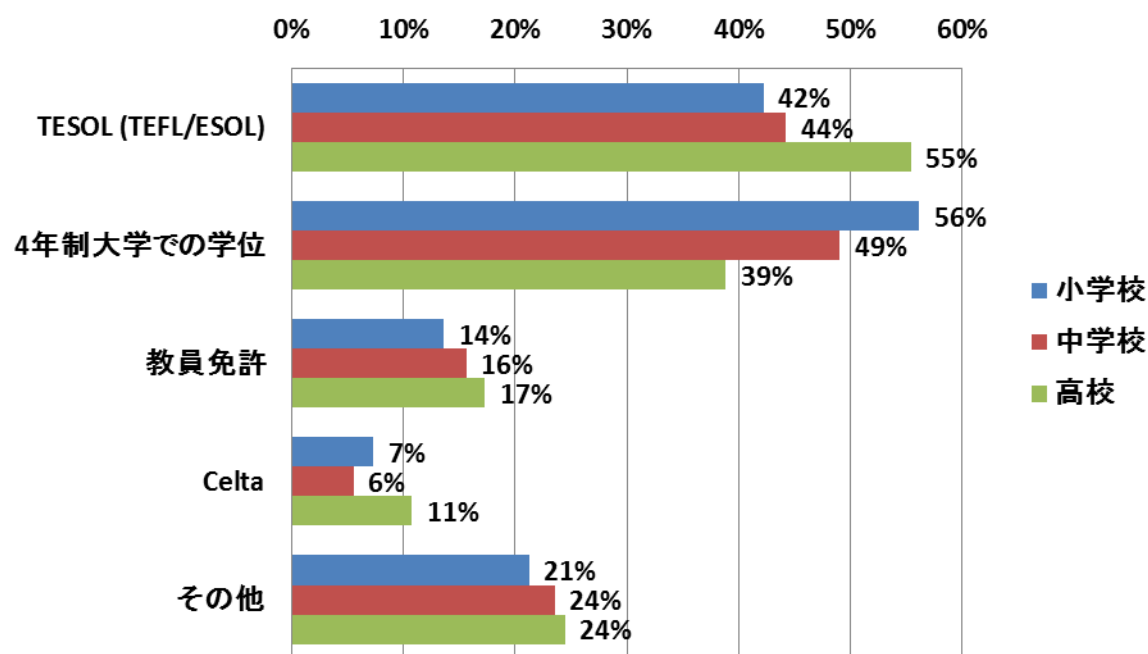
図・表3-9 英語教育の資格の有無(学校種別)

9. 英語教育について資格をお持ちですか。(複数回答可)

	小学校	中学校	高校
TESOL (TEFL・ESOL)	127	184	77
4年制大学での学位	169	204	54
教員免許	41	65	24
Celta	22	23	15
その他	64	98	34
回答者数	301	416	139

無回答者数

小学校	中学校	高校
354	474	123



TESOL(Teaching English to Speakers of Other Languages)、ESOL(English for Speakers of Other Languages)、TEFL(Teaching English as a Foreign Language)は、英語を母国語としない人に対する英語教授法を専門的に学ぶ学問分野である。また、Celta(Certificate in Teaching English to Speakers of Other Languages)は、英語母語話者または同等の英語力を持つ話者を対象とした英語教授法資格で、英語教師として採用される条件として国際的に用いられている。

全ての学校種において、約4割以上のALTがTESOLもしくは4年制大学での学位を取得していることがわかる。また、比率は下がるが、1.5割前後のALTが教員免許を保有している。学校種別に見ると、TESOL、Celta、教員免許といった、特に生徒への教育的指導効果に焦点をおいた課程や資格を最も高い割合で保持しているのは高等学校のALTであった。「その他」の例としては、「TESOLに現在在籍中」「修士課程」、また資格には該当しないが、母国での教育経験を回答として加えていたALTもいた。

10. 授業形態

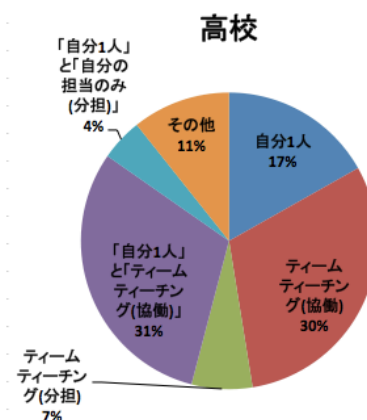
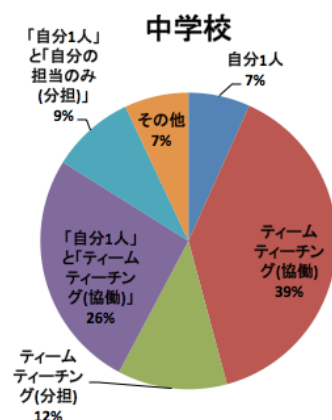
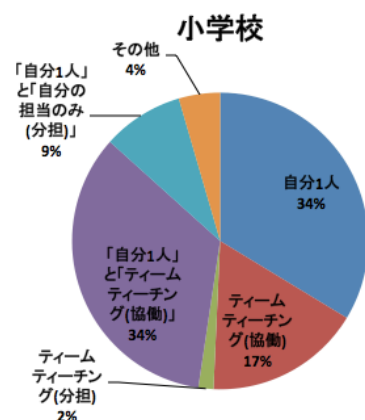
図・表3-10 受け持っている授業形態(学校種別)

10. ALTとしてどんな授業の受け持ち方をしていますか。

	小学校	中学校	高校
自分1人	164	49	33
チームティーチング(協働)	83	284	60
チームティーチング(分担)	8	87	13
「自分1人」と「チームティーチング(協働)」	167	190	60
「自分1人」と「自分の担当のみ(分担)」	43	66	9
その他	22	51	21
計	487	727	196

無回答者数

小学校	中学校	高校
168	163	66



指導形態は、校種別に分布の違いが見られる。授業の全てを一人で担当する(注1)ALTの割合が最も多かった校種は小学校(34%)であった。高等学校(17%)、中学校(7%)と比べると、小学校では、ALTの授業における独立性が高いことがわかる。この結果は、担任教員主導でのチームティーチングを薦める学習指導要領に反して、小学校でALTが全ての授業を一人で担当することが多い実情を示唆している。第3章で小学校ALTのデータを詳述するが、そこでも教案作成、準備などをALTが一人で任されている割合がかなり高いことが示されている。

反対に、日本人教員と協力して指導するチームティーチング(上記図表の「チームティーチング(協働)」に該当する)が最も多かったのは中学校で4割近く、高等学校が3割、小学校が2割弱と続いた。このような協働チームティーチングと同様に複数で教壇に立つが、日本人教員(注2)とALTの担当が、活動や時間単位で別々に分かれており、それぞれの担当部分を単独に指導するという形態(上記図表の「チームティーチング(分担)」に該当する)が最も多いのも中学校(12%)だった。この2つの形態をあわせると、中学校のALTの約半数(51%)は、協働もしくは分担する形で日本人教員とともに授業を担当していることがわかる。

高等学校は、多くの授業形態において、小学校と中学校の中間的な割合を示している。「その他」以外の項目は全て小学校と中学校の中間の比率を示していた。なお、「その他」の回答の中には、「上記の形態全て」「チームティーチング(協働)と(分担)の両方」が見られた。

(注1)小学校英語活動においては、日本の教員免許を有するALT以外はALT単独での授業は行わないはずである。そのため、「自分(ALT)1人」との回答であっても、担任教員が教室内で補佐や監督を行っているものと考えられる。今回の調査では、指導を実際に行う際の主体が誰で、どのくらい指導を任されているかに焦点を絞ってALTに質問をしたため、ALTの実感に沿った結果となっていることに留意されたい。

(注2)日本人教員について、本質問票ではJTE(Japanese Teachers of English)という英語での表現をすべての学校種に対して用いた。JTEの和訳として、本稿では「日本人教員」で統一している。JTEという表現は、中学校、高等学校では英語教員を指す場合が多いと思われるが、小学校では担任教員が英語活動を行うほか、外部指導者や英語専科教員、専科ではないが英語担当の教員など様々な立場と専門性を有する指導者が英語活動に関わっている。指導者の多様性および、その立場、位置づけや自国とは異なる教育システムをALTがどの程度理解しているか不明であるため、本調査ではこれらを包括的に表すJTE「日本人教員」という表現を採用している。

11. 動機

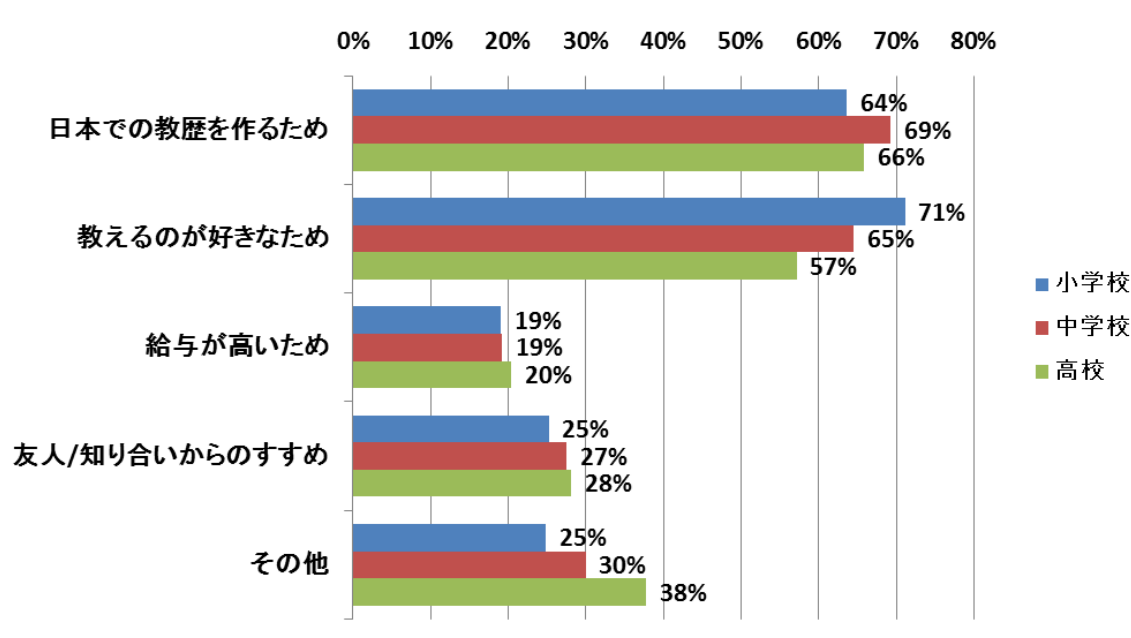
図・表3-11 ALTとして働く動機(学校種別)

11. なぜ ALT として働くことにしましたか。(複数回答可)

	小学校	中学校	高校
日本での教歴を作るため	308	501	129
教えるのが好きなため	344	467	112
給与が高いため	92	139	40
友人/知り合いからのすすめ	122	199	55
その他	120	217	74
回答者数	484	724	196

無回答者数

小学校	中学校	高校
171	166	66



ALTとして働く動機については、校種を超えた共通性が見て取れる。小・中・高を通して、「日本での教歴を作るため」、「教えるのが好きなため」という項目が最も大きな動機として挙げられた。このことから、ALTは日本で教えることによって人生経験を積むという自分自身のキャリアアップと同時に、教える喜びを感じるためにALTとして働くことを決意したことが窺われる。「給与が高い」という経済的理由は2割前後、また「友人／知り合いからのすすめ」という理由は、2～3割前後にとどまっている。

校種別に見ると、若干の違いも見られる。中学と高等学校では、最も回答数の多かった動機が「教歴」であったのに対し、小学校では最も回答数の多かった項目は「教えるのが好き」という動機であった。「その他」の回答としては「上記全て」「日本文化に興味があったから」「日本が好きだから」「日本や海外に住んでみたかった」「日本に住む外国人として職業の選択肢がALT以外に少なかった」などが挙げられた。

12. 今後

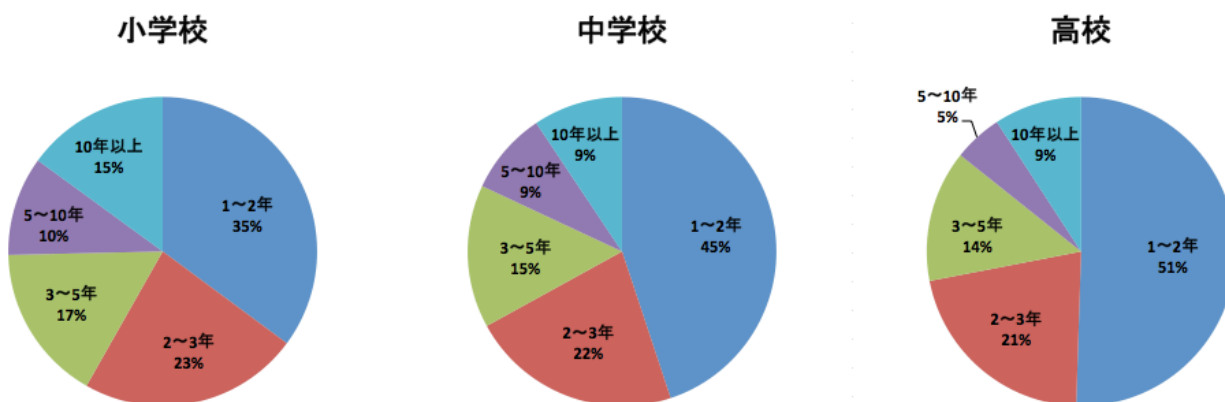
図・表3-12 ALTとしての今後の展望(学校種別)

12. ALTとしてどれくらい仕事をする予定ですか。

	小学校	中学校	高校
1～2年	169	321	99
2～3年	111	158	42
3～5年	79	107	27
5～10年	50	62	10
10年以上	72	67	18
計	481	715	196

無回答者数

小学校	中学校	高校
174	175	66



ALTとして今後どれくらいの期間働く予定かという問いに対して、ALTの回答はどの学校種においても1～2年未満が最も割合が高く、また、1～2年未満と2～3年未満を合わせると、小学校では6割、中学校では7割近く、高等学校では7割を超えるALTが今後働く期間を3年未満と想定していた。本章第4項の質問項目「ALT歴」でALTとしての指導歴3年未満の比率が高等学校ではおよそ8割、中学校では7割、小学校も6割であった。照らし合わせると、相当数のALTは3年程度で帰国する想定で来日しているものと考えられる。一方で、「10年以上働く予定」のALTも全校種において見られた。日本で長期間働く心づもりのALTの校種別の割合を比較すると小学校が15%と一番多く、中学校、高等学校はどちらも9%であった。

小学校ALTは中学校、高等学校のALTと比較して年齢層が高めで、在日歴、ALT歴ともに長く、より高い日本語力を有し、日本に長期滞在する心づもりであるなど、小学校ALTに特徴的な要素とその関連性が浮かび上がってきている。この観点に着目して今後更なる分析を進める必要があると思われる。

13. 学習指導要領

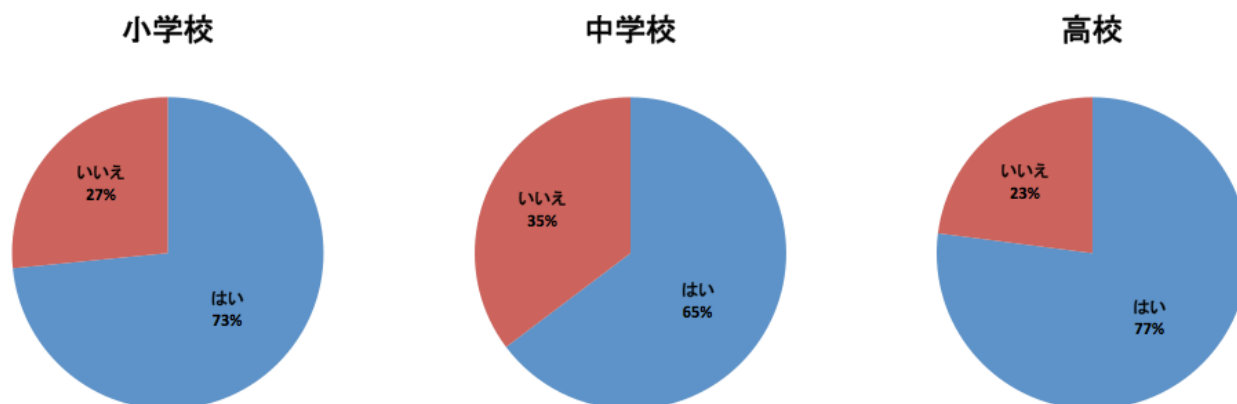
図・表3-13 学習指導要領についての知識の有無(学校種別)

13. あなたは文部科学省(MEXT)が告示している学習指導要領の内容を知っていますか。

	小学校	中学校	高校
はい	426	523	151
いいえ	154	285	45
計	580	808	196

無回答者数

小学校	中学校	高校
75	82	66



学習指導要領についての知識の有無については、小学校で7割以上、中学校で6割強、高等学校で8割近くのALTが「知っている」と答えており、多くのALTが学習指導要領についての知識を持って教壇に立っていることがわかった。

14. 学習指導要領をどのように学んだか

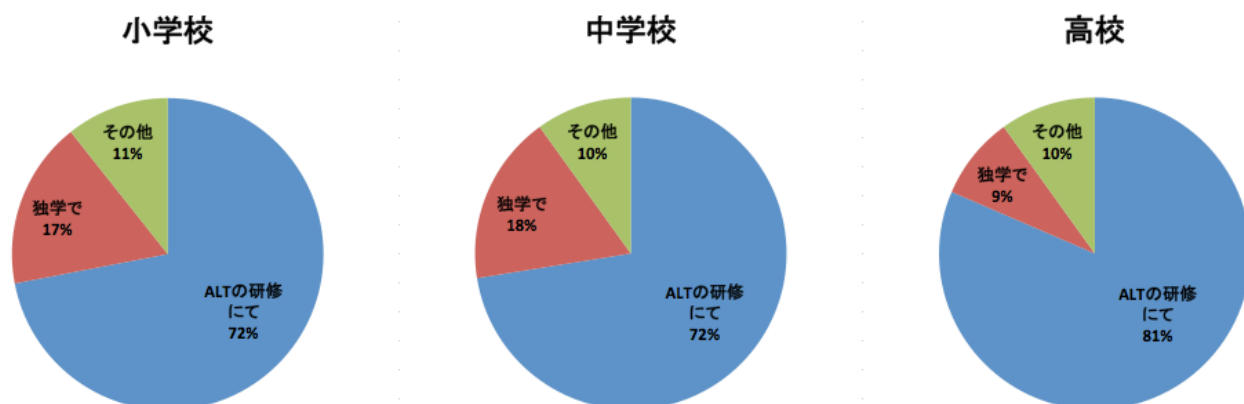
図・表3-14 学習指導要領の学び方(学校種別)

14. 学習指導要領の中身はどのように学びましたか。

	小学校	中学校	高校
ALT の研修にて	303	379	123
独学で	73	92	13
その他	45	52	15
計	421	523	151

無回答者数

小学校	中学校	高校
234	367	111



学習指導要領の中身をどのように学んだかという質問に対しては、小学校と中学校では7割、高等学校では8割のALTが「ALTの研修にて」学んだと回答しており、どの学校種においても一番割合が高かった。「独学で」学習指導要領の中身を学んだ割合は、小学校で17%、中学校で18%、高等学校で9%であった。ここから、多くALTの研修プログラムの中で学習指導要領について取り扱われていることが窺われる。

15. 本章のまとめ

本章では、小学校、中学校、高等学校の3校種にわたって共通する質問項目について、回答者の属性に関わる質問項目から得られた基本情報をまとめて示し、その結果の概要と特徴について述べた。この次の章からは、3章は小学校、4章は中学校、5章は高等学校と、学校種別にそこで教えるALTへのアンケート調査結果の詳細を報告する。本章の結果とそこから得られた考察は、今後各章で述べる小学校、中学校、高等学校別のアンケート調査結果を詳細に解釈、分析するに当たり拠り所となるものと考えられる。

* 以下の質問項目は自由記述回答方式であり、現在分析中のため、本報告書では取り扱わない。

15. 日本の英語教育を改善するために、何か提案があればお書きください。
16. 授業内外での児童・生徒とのコミュニケーションで何か記憶に残る素晴らしいエピソードがあればお書きください。
17. ALTとして勤務する中で、他に何かコメントしたいことがありましたらお書きください。

第4章 小学校アンケートの結果のまとめ

本章では、小学校において英語活動に関わる ALT へのアンケート結果のまとめを報告する。3章では ALT の属性に関する回答結果を小・中・高と比較する形でまとめたが、ここでは小学校英語活動に携わる ALT に絞って、調査の結果得られた内容について項目ごとに詳しく報告する。

以下、1～5節にてアンケートの質問項目の順番に結果を示していく。

1. 教員研修について
2. ALT としての期待について
3. 授業計画について
4. ALT と日本人教員との関係について
5. ALT と児童との関係について

1. 教員研修について

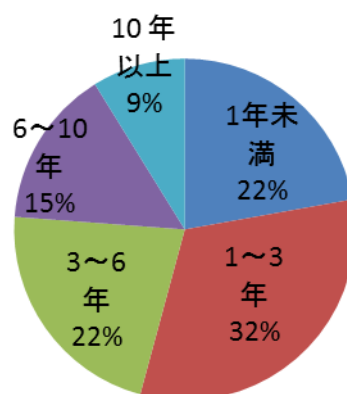
ここでは、日本で子どもに英語を教えた経験、教員研修の実施状況や研修での内容、さらに ALT の研修に対する認識について記す。まず、研修の有無、研修時期、研修期間、研修で取り扱った内容について示す。次にその研修が自分の指導にどのように役に立っているのか、また、今後の研修に対する ALT の認識についても示す。

図・表4－1－1

1. 日本で子どもに英語を教えた経験はどのくらいありますか。

1 年未満	108
1～3 年	156
3～6 年	107
6～10 年	73
10 年以上	43
計	487

(無回答者数 168 人)



日本で子どもに英語を教えた経験について尋ねたところ、「1～3年」(32%)が最も多く、次いで「1年未満」(22%)、「3～6年」(22%)であった。ALT の約半数が経験3年未満の者であることがわかる。また、「3章4. ALT 歴」の ALT 歴と対照すると、本質問項目の「日本で子どもに英語を教えた経験」の期間と、ALT としての経歴の期間がほぼ同じであった。このことから、「ALT として働いている期間」がほぼそのまま「日本で子どもに英語を教えた経験」である ALT が多いことが推察される。

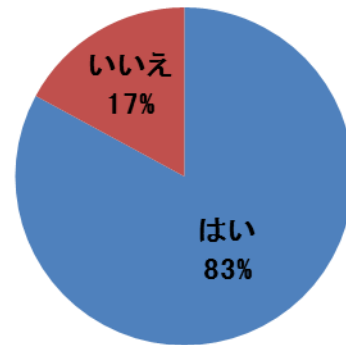
なお、ALT として働いている期間の詳細については、「3章4. ALT 歴」を参照されたい。

図・表4－1－2

2. あなたは ALT になる上で研修を受けましたか。

はい	543
いいえ	112
計	655

(無回答者数 0)



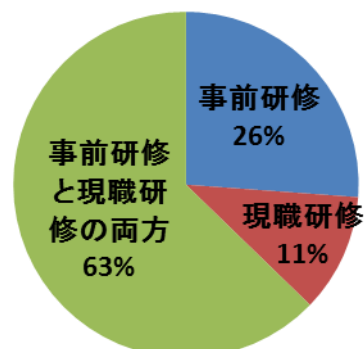
ALT としての研修の有無を尋ねてみたところ、83%の ALT は研修を受けたことがあり、一方で17%の ALT は研修を受けたことがないと答えていることがわかった。研修について、次項以降でその内容について詳細を尋ねている。

図・表4－1－3

3. あなたが ALT になる上で受けた研修は「事前研修(ALT として働く前)」、「現職研修(ALT として働きはじめてから)」、「事前研修と現職研修の両方」のうちどれですか。

事前研修	125
現職研修	53
事前研修と現職研修の両方	300
計	478

(無回答者数 177 人)



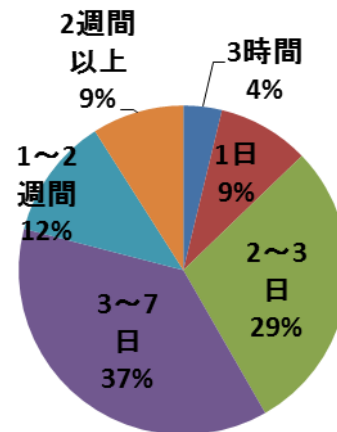
前項で研修経験があると答えた ALT に研修経験の時期について尋ねたところ、「事前研修と現職研修の両方」と答えた ALT が63%と最も多かった。また、「事前研修」、「現職研修」のどちらかと答えた ALT はそれぞれ26%と11%であった。よって、約6割の ALT が教壇につく前になんらかの形で研修を受け、さらに仕事と並行して研修を受けていることがわかった。

図・表4－1－4

4. 研修期間はどのくらいでしたか。

3 時間	18
1 日	43
2～3 日	138
3～7 日	178
1～2 週間	57
2 週間以上	43
計	477

(無回答者数 178 人)



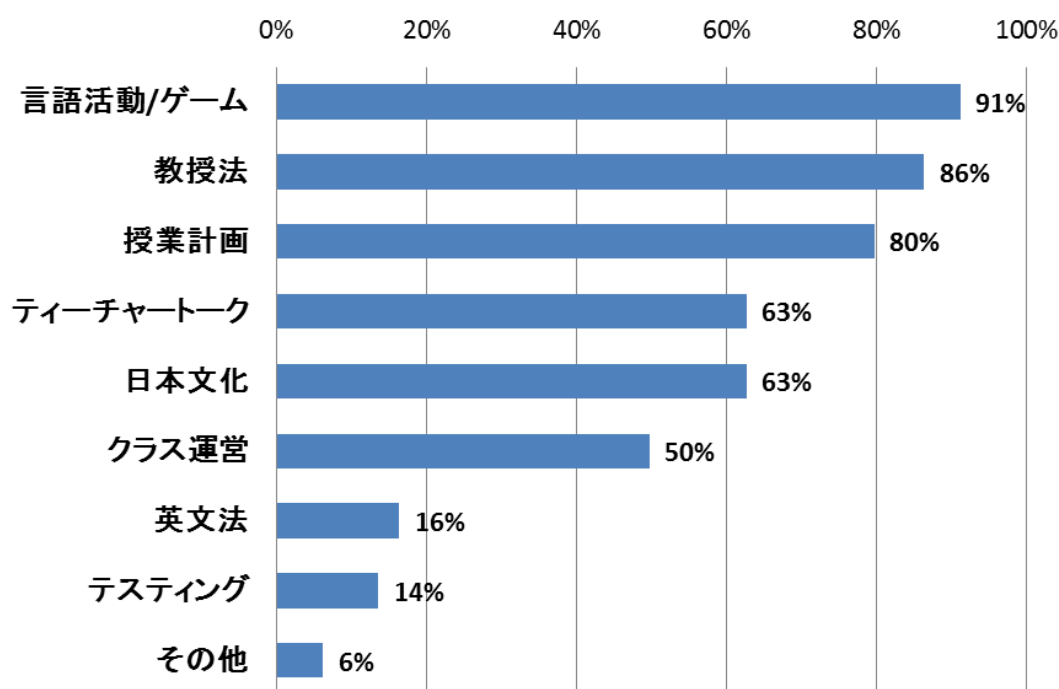
次に研修経験のある ALT に、研修の期間について尋ねたところ、「3～7日」が37%と最も多く、次に「2～3日」が約29%であった。そのため、多くの ALT が研修は約2日～1週間程度されているということがわかる。比較的長い研修として「1～2週間」が12%、「2週間以上」が9%で合わせて2割程度であったが、逆に数時間から1日程度のごく短い研修を受けた ALT も13%いた。

図・表4－1－5

5. 研修でどのようなことを学びましたか。(複数回答可)

言語活動/ゲーム	428
教授法	405
授業計画	374
ティーチャートーク	294
日本文化	294
クラス運営	233
英文法	77
テストイング	64
その他	29
回答者数	469

(無回答者数 186 人)



研修で学んだ内容については、「言語活動／ゲーム」が91%、「教授法」が86%、そして、「授業計画」が80%であった。実際に授業の中ですぐに使えるこれら3つの事柄が研修の中でよく取り扱われているということがわかった。

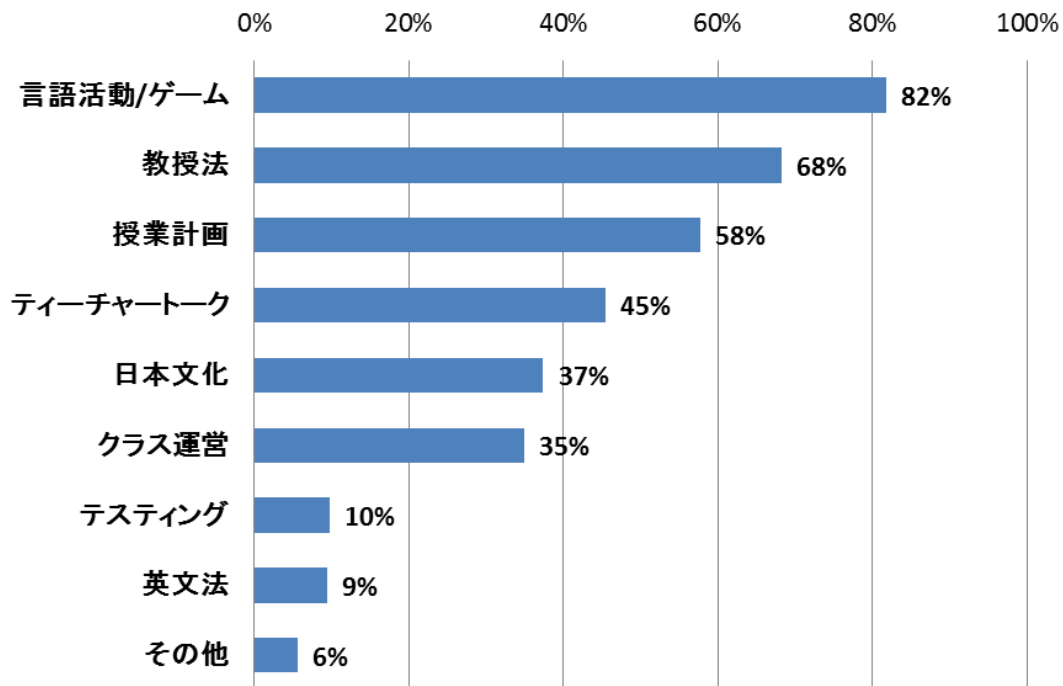
これらの3つの事柄に加えて、「ティーチャートーク」(63%)、「日本文化」(63%)、「クラス運営」(50%)についても研修の中で取り扱われていることがわかった。数日程度の研修の中で、様々な内容を幅広く扱っていると考えられる。一方で、「明示的な英文法についての知識」や「テストの知識」については、それぞれ16%と14%と低い割合となった。

図・表4-1-6

6. 研修で学んだことで、特に役に立っていることはなんですか。(複数回答可)

言語活動/ゲーム	365
教授法	305
授業計画	258
ティーチャートーク	203
日本文化	167
クラス運営	156
テスト	44
英文法	42
その他	25
回答者数	447

(無回答者数 208 人)



研修で学んだことで、特に役に立っていることについて尋ねたところ、最も多かったのが「言語活動／ゲーム」(82%)で8割を超える支持を集めた。次いで「教授法」が68%、「授業計画」が58%であった。これらの回答は前項の「研修で最もよく取り扱われていた3つの項目」と共通しており、また、実際に多くのALTが授業をする上で研修で学んだことは役に立っていると認識していることがわかる。

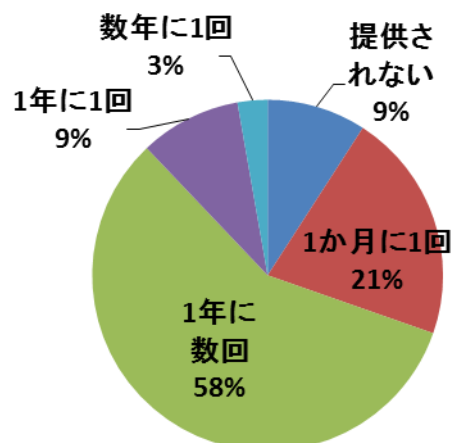
これら3つの項目の次に多かったのが、「ティーチャートーク」(45%)であった。その他の項目に関しては、「日本文化」が37%、「クラス運営」が35%であった。「テストの知識」や「明示的な英文法についての知識」に関しては、それぞれ10%と9%であり、前項同様に低い割合であった。

図・表4-1-7

7. 現在勤務されている学校や雇用者より研修を提供される機会はどのくらいありますか。

提供されない	43
1か月に1回	100
1年に数回	271
1年に1回	44
数年に1回	13
計	471

(無回答者数 184人)



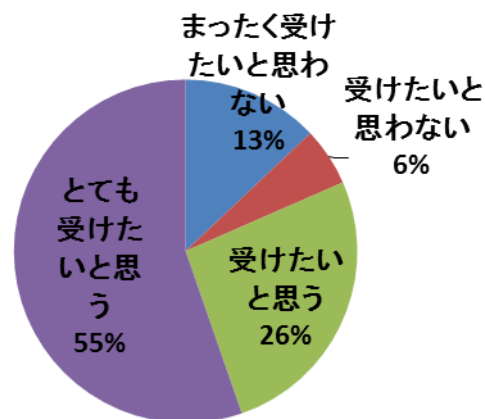
現在勤務している学校、雇用者から提供されている研修の頻度について尋ねてみたところ、「1年に数回」という回答が約6割で、最も多かった。一方で、「1年に1回」や「提供されない」と回答した ALT はどちらも1割に満たなかった。また、回答の中では比較的高頻度である「1か月に1回」と答えた ALT も2割に上った。

図・表4-1-8

8. あなたは今後も研修を受けたいと思いますか。

まったく受けたいと思わない	73
受けたいと思わない	31
受けたいと思う	148
とても受けたいと思う	312
計	564

(無回答者数 91 人)



今後も研修を受けたいか尋ねたところ、55%の ALT が「とても受けたいと思う」と回答し、26%が「受けたいと思う」と回答した。この2つの回答を合わせると81%の ALT が今後の研修に対して意欲的であることがわかった。

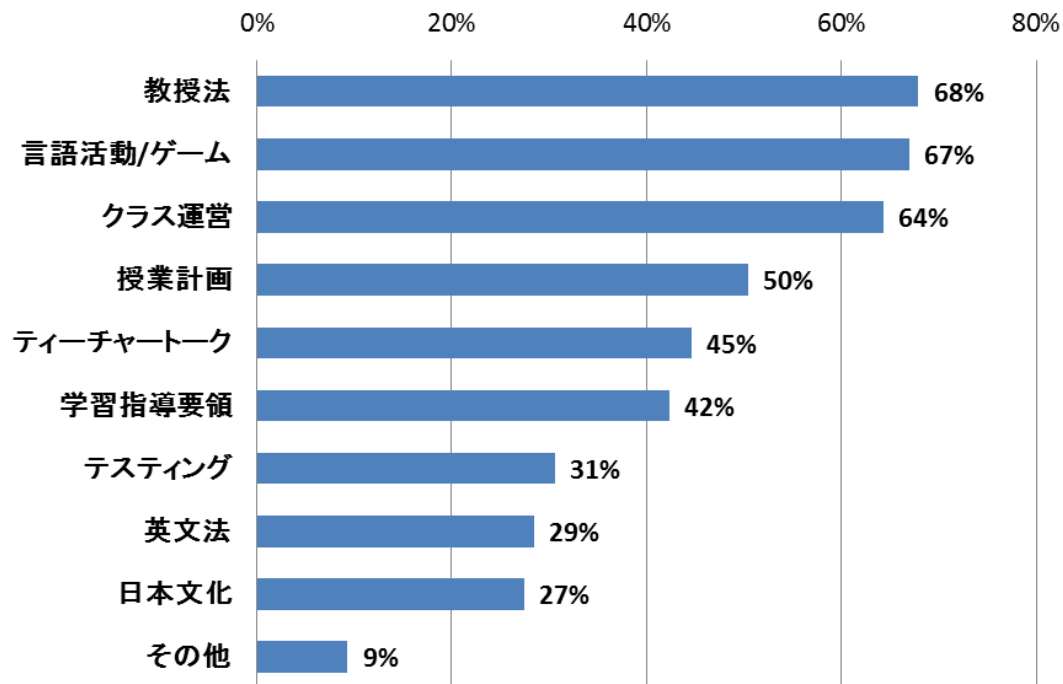
「受けたいと思わない」、「まったく受けたいと思わない」と答えた割合は、それぞれ6%、13%であり、約2割が今後の研修に対して消極的であった。

図・表4-1-9

9. 今後研修を受ける際に、どのようなことを学びたいですか。(複数回答可)

教授法	379
言語活動/ゲーム	374
クラス運営	359
授業計画	281
ティーチャートーク	249
学習指導要領	236
テストイング	171
英文法	159
日本文化	153
その他	52
回答者数	558

(無回答者数 97 人)



今後の研修を受ける際に学びたい事柄について尋ねてみた。最も多かったのは「教授法」の68%であり、次いで「言語活動／ゲーム」(67%)、「クラス運営」(64%)であった。質問項目5で非常に高い割合であった「授業計画」に関しては、50%であった。そして、「ティーチャートーク」に関しては、質問項目6と同様に45%となった。

また、「学習指導要領(文部科学省が告示している教育課程の基準)」を学ぶことに対して、42%のALTが今後学習指導要領について研修で学びたいと回答している。

「テストの知識」や「明示的な英文法についての知識」、「日本文化」に関しては、それぞれ31%、28%、27%となった。

2. ALT としての期待について

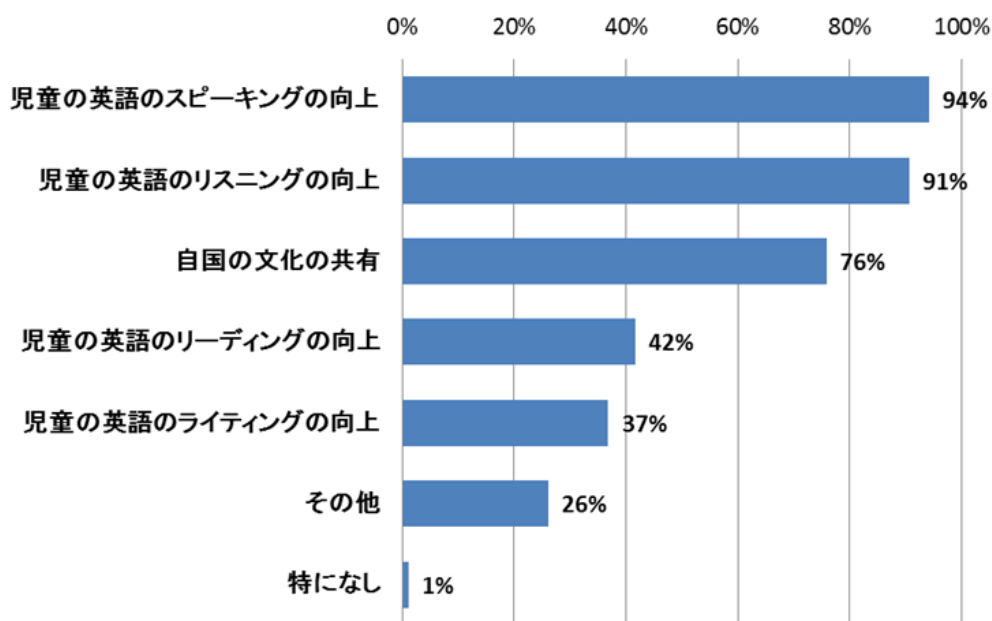
ここでは ALT の指導に関する期待について取り上げる。ALT 自身の授業展開における期待、学校側からの ALT への指導に対する期待や ALT 自身がその期待に合致していると感じているか、また、学校側が ALT に期待していることへの理解度などについての結果を示す。また、ALT が自分の強みがどの程度学校現場で活用されていると感じているかについても示す。

図・表4-2-1

10. あなたは授業を展開する上でどのようなことを期待していますか。(複数回答可)

児童の英語のスピーキングの向上	501
児童の英語のリスニングの向上	482
自国の文化の共有	404
児童の英語のリーディングの向上	222
児童の英語のライティングの向上	196
その他	139
特になし	6
回答者数	532

(無回答者数 123 人)



授業を展開する上での期待を尋ねてみたところ、「スピーキングの向上」、「リスニングの向上」と回答した ALT がそれぞれ9割を超えた。次に多かったのが「自国の文化の共有」の76%であった。

一方、「リーディングの向上」や「ライティングの向上」と答えた ALT の割合は、それぞれ42%、37%と、「話す」、「聞く」、「文化の共有」の3項目とくらべると、いずれも低い数値にとどまった。これは、現行の小学校英語活動が「聞く」、「話す」を活動の中心に据え、学習指導要領の目標にある「外国語を通じて、言語や文化につ

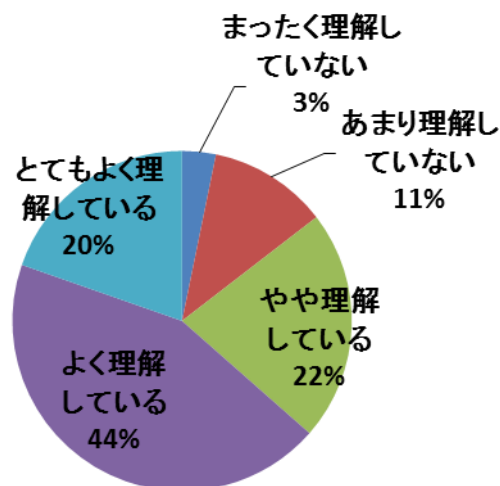
いて体験的に理解を深め」、「音声や基本的な表現に慣れ親しませながら」といった内容に沿った授業が多く行われていることを受けてのものであることが考えられる。

図・表4-2-2

11. あなたに対して学校が期待していることを理解していますか。

まったく理解していない	17
あまり理解していない	60
やや理解している	116
よく理解している	232
とてもよく理解している	104
計	529

(無回答者数 126 人)



学校が ALT に対して期待していることを理解しているかを尋ねたところ、「よく理解している」が44%と最も多く、次いで「やや理解している」(22%)、「とてもよく理解している」(20%)となった。これらを合わせると、8割を超える ALT が、学校が期待していることを理解した上で教壇に立っていると考えられている。

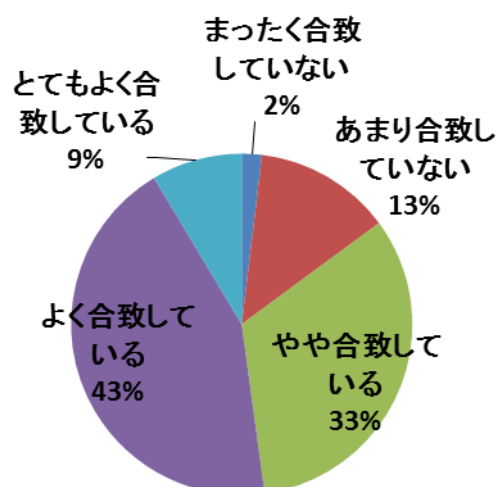
一方、「あまり理解していない」と答えた ALT が11%、「まったく理解していない」とこたえた ALT も3%いることがわかった。

図・表4-2-3

12. あなたが期待していることは、学校が期待していることとどの程度合致していますか。

まったく合致していない	10
あまり合致していない	68
やや合致している	173
よく合致している	229
とてもよく合致している	45
計	525

(無回答者数 130 人)



「よく合致している」という回答が43%と最も多く、次に多かったのが「やや合致している」(33%)であった。「とてもよく合致している」と回答した ALT は9%で、これら3つを合わせると85%の ALT が「合致している」と答えた。前項11. に続いて、非常に多くの ALT がポジティブな回答を寄せている。ALT にとって、自分自身の授業に対する期待と学校が求めるものが合致している場合は授業がとても進めやすくなるであろうと推察されるため、この合致は好ましい結果であると言える。

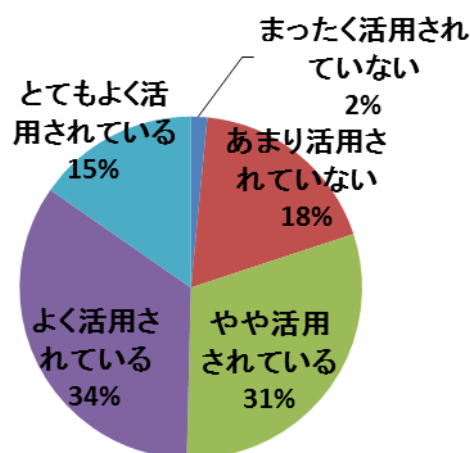
一方、13%の ALT が「あまり合致していない」、2%が「まったく合致していない」と回答した。

図・表4-2-4

13. あなたの強みは学校現場でどのくらい活用されていると思いますか。

まったく活用されていない	8
あまり活用されていない	96
やや活用されている	159
よく活用されている	179
とてもよく活用されている	80
計	522

(無回答者数 133 人)



34%の ALT が学校現場で自分の強みが「よく活用されている」と答えており、31%が「やや活用されている」と認識していることがわかった。「とてもよく活用されている」と回答した ALT は15%で、これら3つを合わせると、8割の ALT が自分の強みが「活用されている」と認識していることがわかる。これも、ここまでの項目の結果と一致しており、ALT への期待と ALT 自身の期待が大きくかけ離れていないことを示している。

一方、「あまり活用されていない」と回答した ALT が18%で、「まったく活用されていない」と答えた ALT は2%であった。2割の ALT が自分の強みが活用されていないと感じており、今後小学校の現場で ALT の強みをいかに引き出していか課題である。

3. 授業計画について

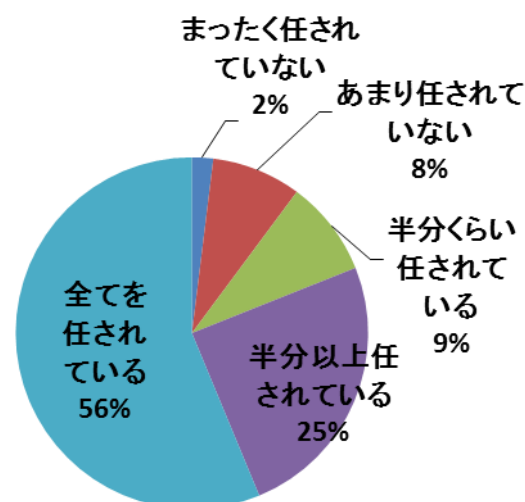
ここでは、ALT がどのような意識を持って授業計画を行っているのかに焦点を当てる。授業を計画する際に ALT が関与する度合、使用する教材、授業を行う上での注意している点などについて尋ねている。さらに、授業内での自国の文化の共有の有無についても示す。

図・表4－3－1

14. あなたは授業を計画するにあたってどのくらい任されていますか。

まったく任されていない	10
あまり任されていない	42
半分くらい任されている	45
半分以上任されている	127
全てを任されている	288
計	512

(無回答者数 143 人)



約半数以上が「全てを任されている」と答えており、「全てを任されている」・「半分以上任されている」の2つを合わせると81%のALTが授業計画の大部分を任されていることがわかる。上記の数値から、小学校の外国語活動において、少なくともALTが実施する授業においては、授業計画のかなりの部分をALTに依存していることがわかる。このようなALTによる授業計画が、学校としての年間の指導計画に照らし合わせて適正であるかどうかの確認が今後行われていくべきであろう。

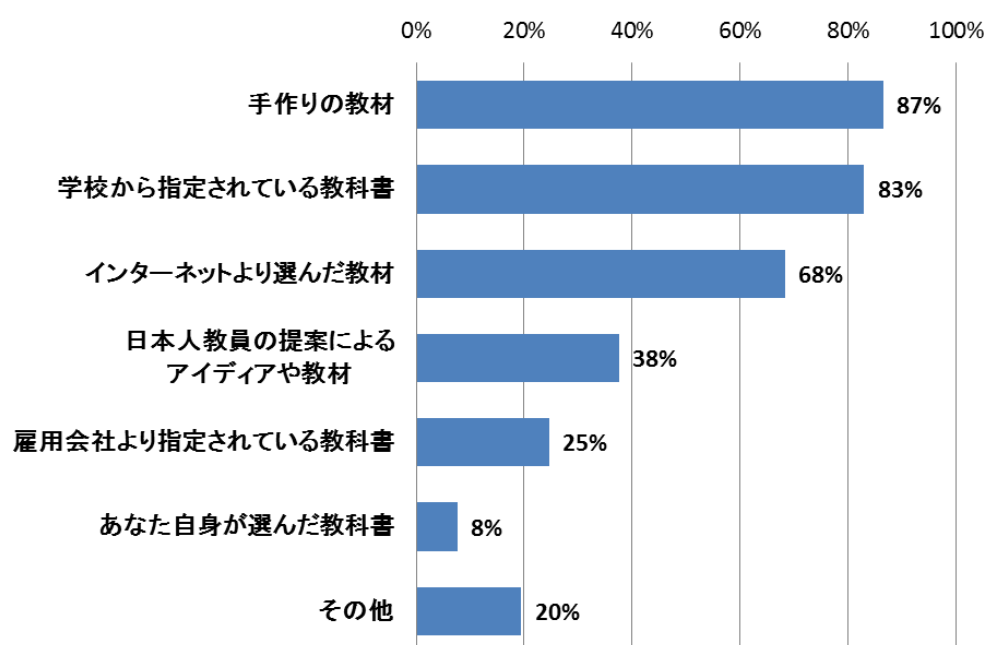
ALTの1割が授業計画を「あまり任されていない」(8%)、「まったく任されていない」(2%)と回答している。授業計画に対してどの程度関わりを持っているかが、ALT自身が授業において強みを発揮できているかの実感と関連があるか、今後の分析で明らかにしていきたい。

図・表4-3-2

15. あなたは授業でどのような教材を使用しますか。(複数回答可)

手作りの教材	444
学校から指定されている教科書	426
インターネットより選んだ教材	351
日本人教員の提案によるアイデアや教材	193
雇用会社より指定されている教科書	126
あなた自身が選んだ教科書	39
その他	100
回答者数	513

(無回答者数 142 人)



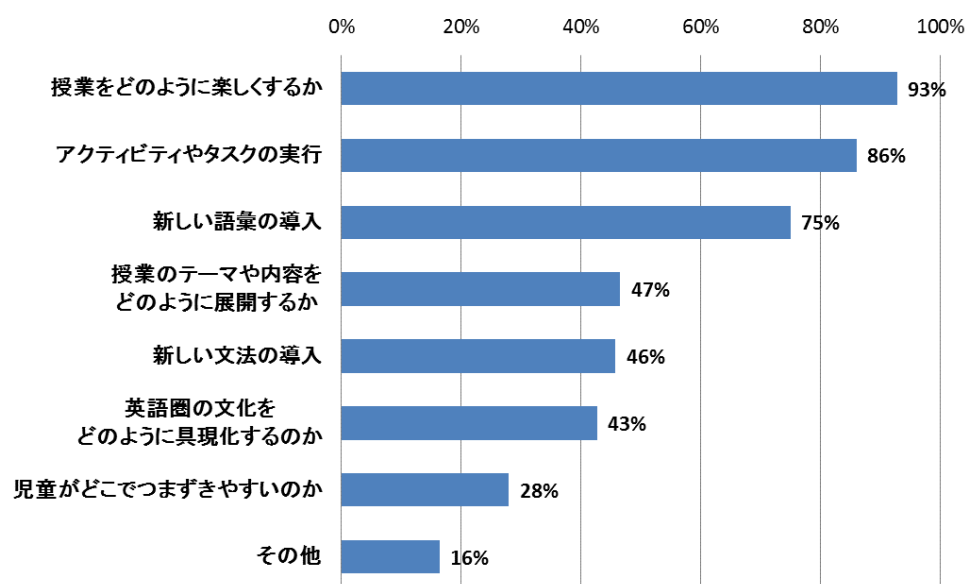
本問に回答した ALT のうち、8割以上が「手作り教材」(87%)、「学校から指定されている教科書」(83%)を選択している。「手作り教材」および「インターネットより選んだ教材」(68%)の数値の高さから、ALT が授業外でも時間を割き、教材選びを行っていることが推測される。また、38%が「日本人教員の提案によるアイデアや教材」と答えており、日本人教員と日頃から協力している ALT がいることも窺える。しかし ALT が使用する「手作り教材」および「インターネットより選んだ教材」について、それが適切な内容、レベルであるかどうかの検証が行われているとは考えにくいため、教育の質の確保という点からの検証が必要であろう。

図・表4-3-3

16. あなたが英語の授業を計画する上で、特に注意していることは何ですか。(複数回答可)

授業をどのように楽しくするか	474
アクティビティやタスクの実行	440
新しい語彙の導入	383
授業のテーマや内容をどのように展開するか	238
新しい文法の導入	234
英語圏の文化をどのように具現化するか	218
児童がどこでつまずきやすいのか	143
その他	84
回答者数	511

(無回答者数 144 人)



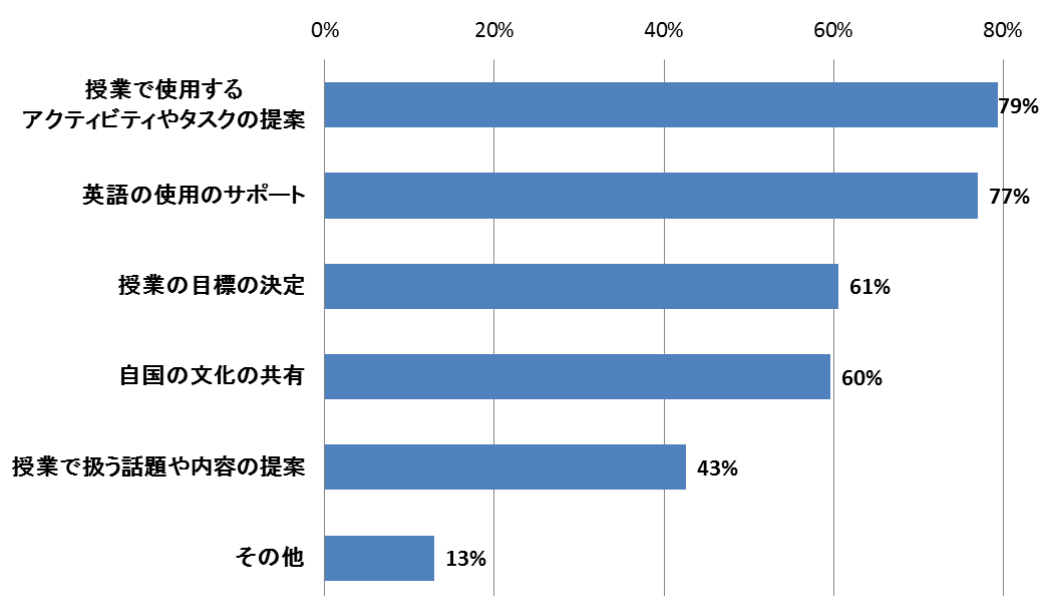
授業計画において特に注意している点として、9割を超える ALT が「授業をどのように楽しくするか」と回答しており、英語の授業は楽しいものであるべきと多くの ALT が考えていることがわかる。続いて、「アクティビティやタスクの実行」(86%)を選択している ALT が多かった。アクティビティ、タスクを入れ授業をなるべく活動主体の内容にしようという意識が高いものと思われる。また、「新しい語彙の導入」が7割を超えているのに対して、「新しい文法の導入」を選択した ALT は半数以下にとどまった。一方で、「児童がどこにつまずきやすいのか」を選択した ALT は3割に満たなかった。この理由として、英語活動の内容が知識の積み上げ型ではないこと、ALT 自身の指導経験の浅さ、英語活動から得る学びに対する期待値の低さなどが考えられる。実際の理由がどうであるか、今後の分析の対象として興味深い。

図・表4-3-4

17. ティームティーチングをする機会がある場合、日本人教員との授業計画にどのように貢献したいですか。(複数回答可)

授業で使用するアクティビティやタスクの提案	393
英語の使用のサポート	381
授業の目標の決定	300
自国の文化の共有	295
授業で扱う話題や内容の提案	211
その他	64
回答者数	495

(無回答者数 160 人)



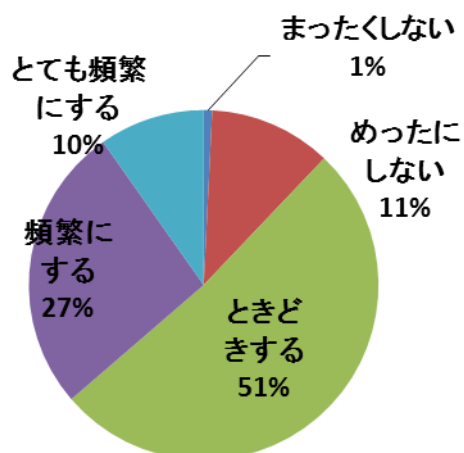
およそ8割が「授業に使用するアクティビティやタスクの提案」(79%)、「英語の使用のサポート」(77%)と回答しており、大部分の ALT が自身の英語の運用能力を提供して授業計画に貢献したいと思っていることがわかる。また、6割が「授業の目標の決定」(61%)、「自国の文化の共有」(60%)と選択しており、日本人教員と行う授業において積極的に関わることを希望していることがわかる。

図・表4-3-5

18. あなたは自国の文化を児童に紹介したり、教えたりしますか。

まったくしない	4
めったにしない	58
ときどきする	264
頻繁にする	136
とても頻繁にする	50
計	512

(無回答者数 143 人)



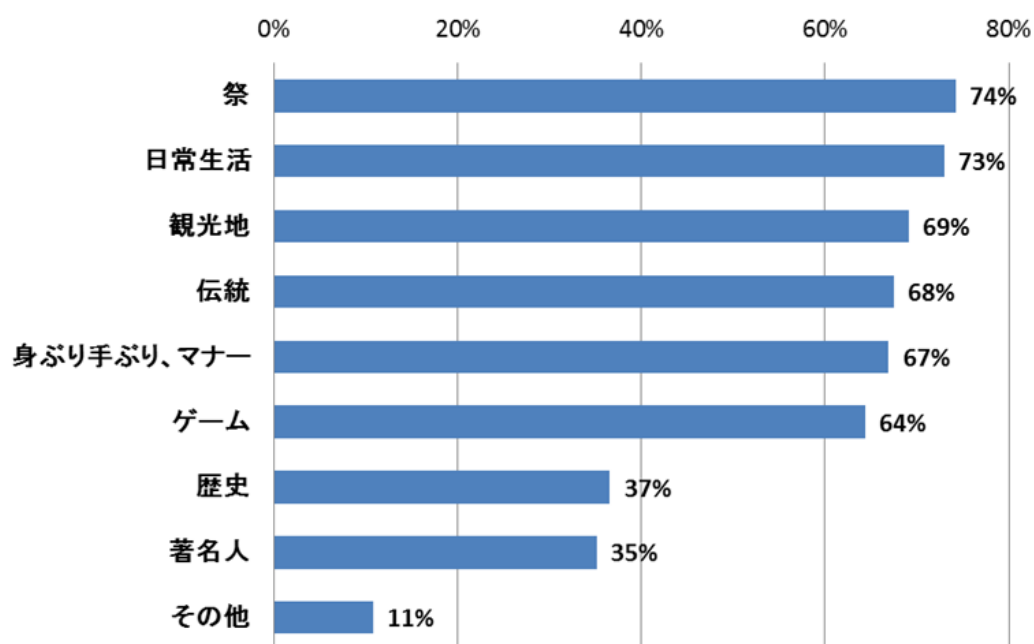
自国の文化の紹介については、「ときどきする」(51%)、「頻繁にする」(27%)、「とても頻繁にする」(10%)を合わせると9割近いALTが、ある程度自国の文化紹介を児童に行っていることがわかる。それに対して、「まったくしない」(1%)・「めったにしない」(11%)など、1割強のALTが自国の文化についての紹介をほぼ行っていないことがわかった。異文化を体現する存在としてのALTの活用を今後さらに進めていくに際して、「しない」と回答したALTについて、その理由や現状を見ていく必要がある。

図・表4-3-6

19. あなたは自国の文化のどのような側面を児童に教えますか。(複数回答可)

祭	379
日常生活	373
観光地	353
伝統	345
身ぶり手ぶり、マナー	342
ゲーム	329
歴史	187
著名人	180
その他	55
回答者数	511

(無回答者数 144 人)



「祭」(74%)、「日常生活」(73%)の2項目が7割を超え、続いて「観光地」(69%)、「伝統」(68%)、「身ぶり手ぶり、マナー」(67%)、「ゲーム」(64%)となっていることから、小学校 ALT の出身地が多岐にわたることと照らし合わせ、児童に多様な側面から ALT が授業内で様々な内容を紹介していることがわかった。「歴史」は37%、「著名人」は35%という低い結果となっている。

4. ALT と日本人教員との関係について

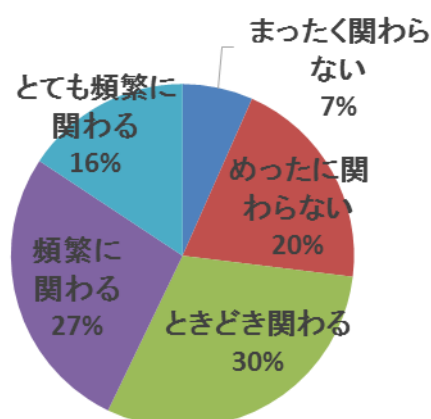
ここでは、ALT と日本人教員との関係についての調査結果を示す。前半では、ALT と日本人教員との授業中の関わり方や頻度、関わり方に対する ALT の認識を記し、後半では、日本人教員と共に授業を行っていく上でのメリットや課題について示す。

図・表4－4－1

20. あなたは授業中にどのくらい日本人教員と関わりますか。

まったく関わらない	33
めったに関わらない	101
ときどき関わる	150
頻繁に関わる	135
とても頻繁に関わる	78
計	497

(無回答者数 158 人)



ここでは授業中に ALT と日本人教員がどの程度関わっているか尋ねた。最も多かったのが「ときどき関わる」という回答で30%であった。次に多かったのが「頻繁に関わる」(27%)であった。「ときどき関わる」と「頻繁に関わる」、「とても頻繁に関わる」(16%)を合わせると、約7割の ALT が授業中に日本人教員とある程度関わっていることがわかる。

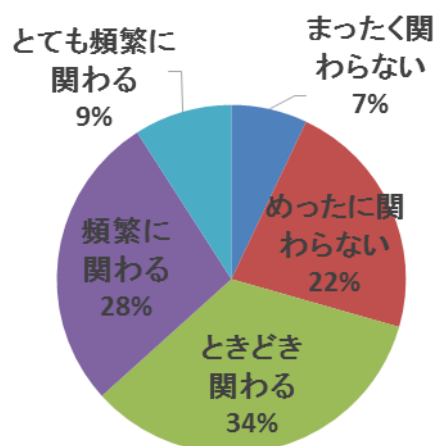
一方で、約3割の ALT が「めったに関わらない」、「まったく関わらない」と答えており、割合はそれぞれ20%、7%であった。小学校の英語活動では担任が中心となり、ALT など外部人材も活用して指導に当たることが求められている。その中であって、なぜ日本人教員とめったに関わらない指導形態が3割近くに上るのかということは、次の問21. の結果と照らし合わせて考える必要がある。

図・表4-4-2

21. あなたは授業外でどのくらい日本人教員と関わりますか。

まったく関わらない	35
めったに関わらない	111
ときどき関わる	168
頻繁に関わる	137
とても頻繁に関わる	45
計	496

(無回答者数 159 人)



授業外での関わりについても、授業中の関わりを尋ねた質問項目20. と同様に、「ときどき関わる」(34%)が最も多く、次いで「頻繁に関わる」(28%)、「めったに関わらない」(22%)の順になった。前項では16%であった「とても頻繁に関わる」が、ここでは9%に減少した。「まったく関わらない」と回答した ALT は7%であった。全般的に、ALT と日本人教員の関わりは授業内のほうが多い。このことは、授業外で ALT と日本人教員の関わる度合いが少ないことを示唆している。

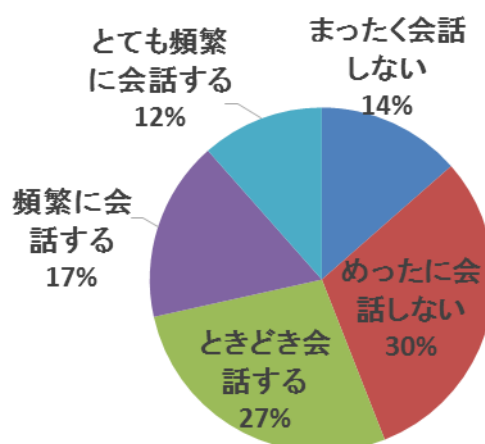
質問項目20、21から分かるように、ALTと日本人教員との関わりは、授業内、授業外を問わず、7割を超えていることがわかる。しかし、その一方で、約3割のALTは日本人教員とあまり関わっていないことも分かる。その差が何に起因するものなのかについては、今後検討していかなければならないだろう。

図・表4-4-3

22. あなたは日本人教員とどのくらい英語で会話しますか。

まったく会話しない	67
めったに会話しない	151
ときどき会話する	136
頻繁に会話する	84
とても頻繁に会話する	57
計	495

(無回答者数 160 人)



日本人教員との英語での会話については、「めったに会話しない」が最も多く、31%であった。そして、「めったに会話しない」、「まったく会話しない」(14%)を合わ

せると、半数近くの ALT が小学校においては、ほとんど英語での会話をしていないことがわかる。「ときどき会話する」と回答した ALT は27%であった。

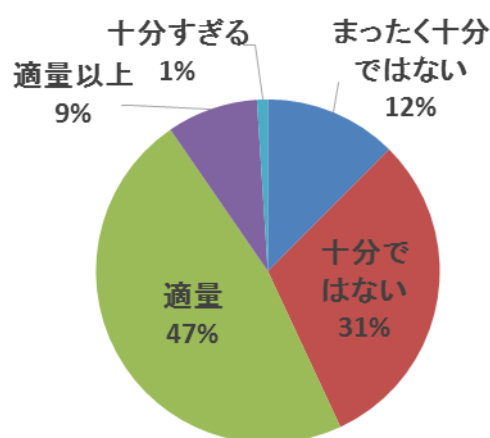
逆に、「頻繁に会話する」と答えた ALT の割合は17%で、「とても頻繁に会話する」は12%であった。小学校では、現在英語専科の教員がいる学校は少なく、日本人教員と英語でコミュニケーションを図っていくことの難しさが窺える。一方、「第3章 8. 日本語力」にもあるように、小学校で教えているALTの76%が日本語が「中級」以上と答えていることから、英語ではなく、日本語でコミュニケーションができているため、英語を使う必要性を感じていないのかもしれない。

図・表4-4-4

23. あなたは現在、日本人教員との関わりは十分だと思っていますか。

まったく十分ではない	61
十分ではない	150
適量	232
適量以上	42
十分すぎる	5
計	490

(無回答者数 165 人)



日本人教員との関わりについては、約5割の ALT が「適量」(47%)であると認識しており、「適量以上」と回答した ALT は9%であった。「十分すぎる」という回答は1%であった。

一方で、「十分ではない」、「まったく十分ではない」は、それぞれ31%、12%となった。このことから、日本人教員と十分に関わりを持てている ALT と十分関わりを持てていない ALT の二極化が窺える。

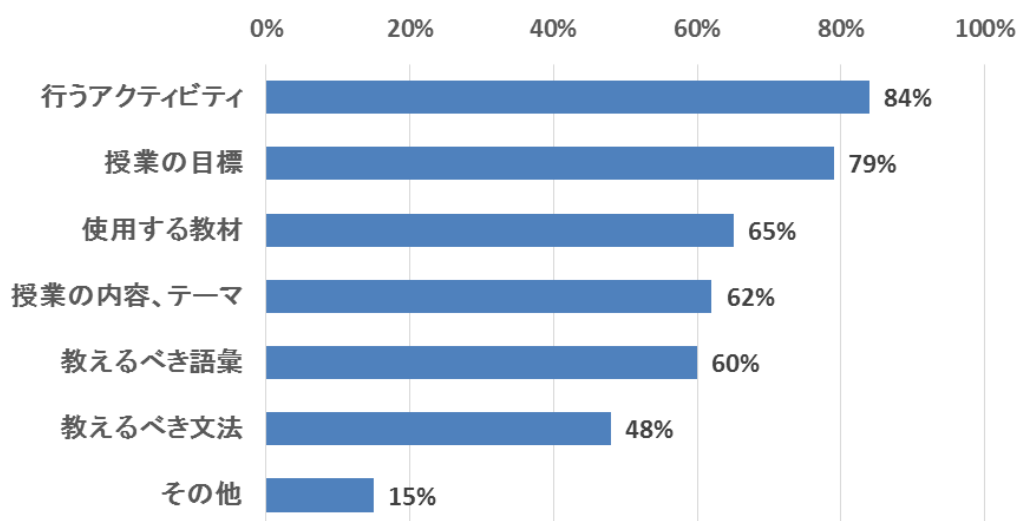
図・表4-4-5

24. 授業計画する上で、日本人教員とどのような点を話し合うべきだと思いますか。

(複数回答可)

行うアクティビティ	410
授業の目標	386
使用する教材	317
授業の内容、テーマ	302
教えるべき語彙	290
教えるべき文法	235
その他	75
回答者数	486

(無回答者数 169 人)



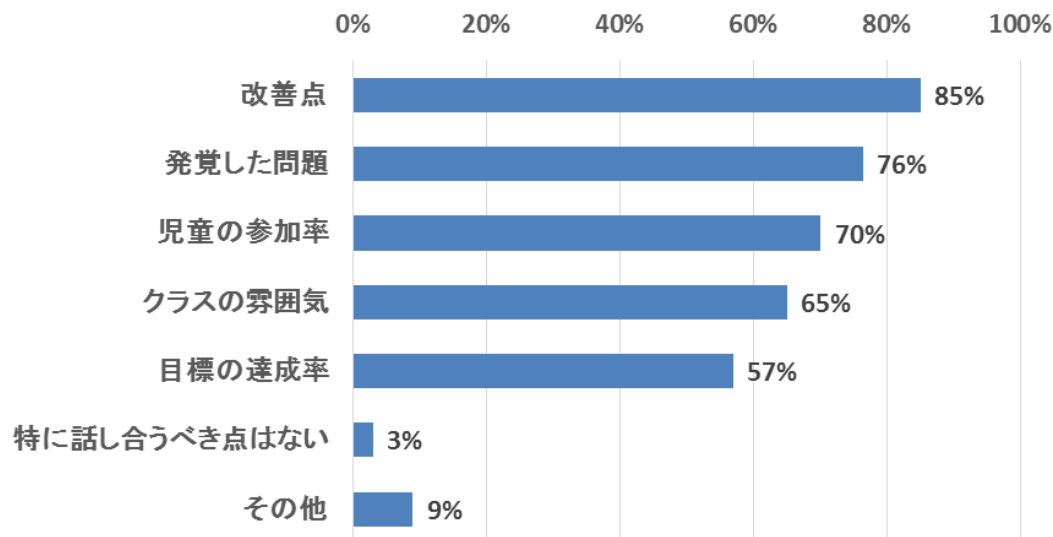
授業を計画する上で日本人教員とどのようなことを話し合うべきか尋ねたところ、最も多かったのが、「行うアクティビティ」で84%であった。次いで、「授業の目標」(79%)であった。その他の項目はそれぞれ「使用する教材」(65%)、「授業の内容、テーマ」(62%)、「教えるべき語彙」(60%)、「教えるべき文法」(48%)という割合になった。

図・表4-4-6

25. 授業後、日本人教員とどのような点を話し合うべきだと思いますか。(複数回答可)

改善点	418
発覚した問題	375
児童の参加率	344
クラスの雰囲気	319
目標の達成率	281
特に話し合うべき点はない	15
その他	46
回答者数	491

(無回答者数 164 人)



授業後に関しては、「改善点」(85%)が最も多く、順に「発覚した問題」(76%)、「児童の参加率」(70%)、「クラスの雰囲気」(65%)、「目標の達成率」(57%)となった。「特に話し合うべき点はない」と回答した ALT は3%であり、ほぼ全員が何かしら日本人教員と授業後に話し合う必要性があると感じていることがわかった。

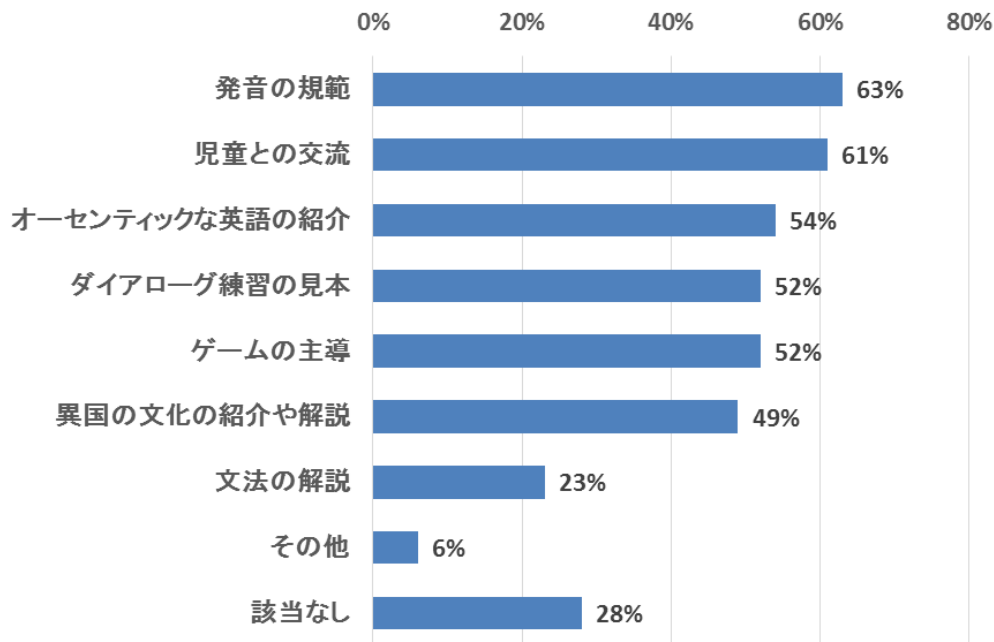
しかしながら、質問項目22. での日本人教員との英語での会話について約半数の ALT がほとんど行っていないと回答しており、また ALT 自身の日本語会話力も限られている。このギャップはどのように解消されているのか、あるいは解消されないままなのか、さらに研究を進める必要がある。

図・表4-4-7

26. ティームティーチングを日本人教員と行う場合、あなたの役割はどのようなものですか。(複数回答可)

発音の規範	305
児童との交流	298
オーセンティックな英語の紹介	262
ダイアログ練習の見本	254
ゲームの主導	252
異国の文化の紹介や解説	239
文法の解説	112
その他	29
該当なし	137
回答者数	486

(無回答者数 169 人)



ここでは、チームティーチングを行う際に ALT がどのような役割を担っているか複数回答可で尋ねてみた。最も多かったのは、「発音の規範」(63%)であった。続いて、「児童との交流」(61%)、「オーセンティックな英語の紹介」(54%)、「ダイアログ練習の見本」(52%)、「ゲームの主導」(52%)といった役割が、それぞれ5割を超えている。また、49%の ALT が「異国の文化の紹介や解説」を挙げており、ALT が様々な役割を担っていることが窺える。

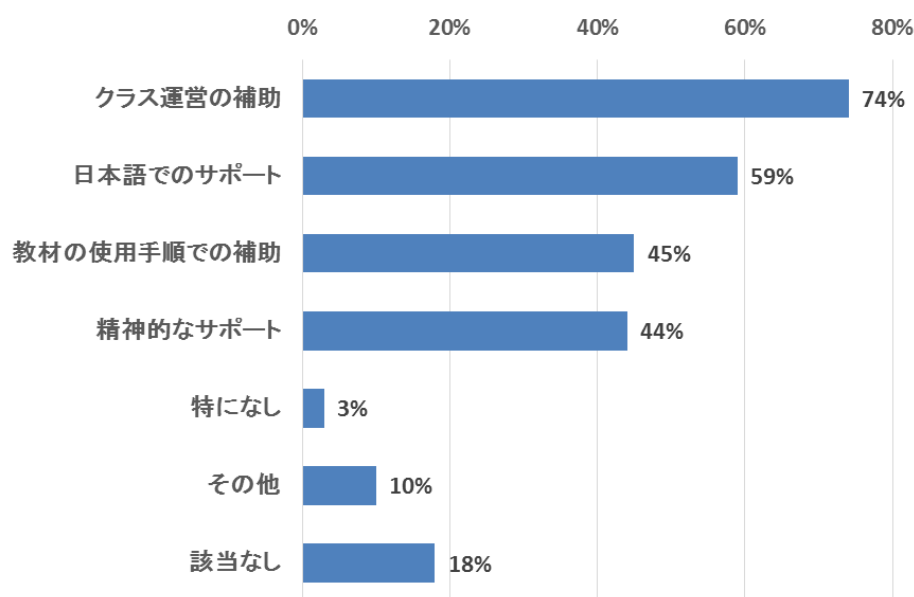
「文法の解説」に関しては、他の項目と比較すると割合が低く、23%であった。「該当なし」が28%あり、ここで挙げた項目の他にも ALT が日本人教員とチームティーチングをしていく上で様々な役割を担っていることを示している。

図・表4-4-8

27. 日本人教員と共に指導するメリットはどのような点だと思いますか。(複数回答可)

クラス運営の補助	367
日本語でのサポート	293
教材の使用手順での補助	221
精神的なサポート	215
特になし	14
その他	47
該当なし	91
回答者数	494

(無回答者数 161 人)



日本人教員と共に指導するメリットとして、最も多かったのは「クラス運営の補助」(74%)であった。特に小学校の場合は、担任教員がその学級の児童に対して、基本的に全ての教科の授業を行い、担任するクラスの運営において非常に大きな役割を担っている。担任教員は英語教育の専門家ではないものの、担任教員が英語の授業に参加し、クラス運営を補助することに関して、メリットであると多くの ALT が認識していることがわかる。

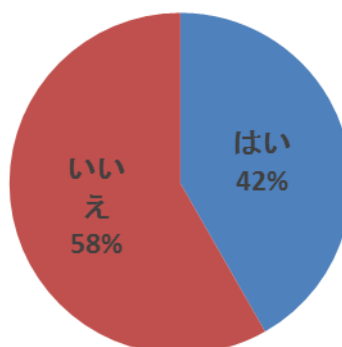
また、「日本語のサポート」(59%)も日本人教員のメリットと認識されている。「教材使用手順での補助」と「精神的なサポート」は、それぞれ45%、44%であった。「該当なし」と回答した ALT は18%で、「特になし」は3%であった。これらの結果から、多くの ALT が、なんらかの形で日本人教員と共に指導することに対してメリットがあると認識していることがわかる。

図・表4-4-9

28. 日本人教員との間で何か問題を抱えていますか。

はい	205
いいえ	286
計	491

(無回答者数 164 人)



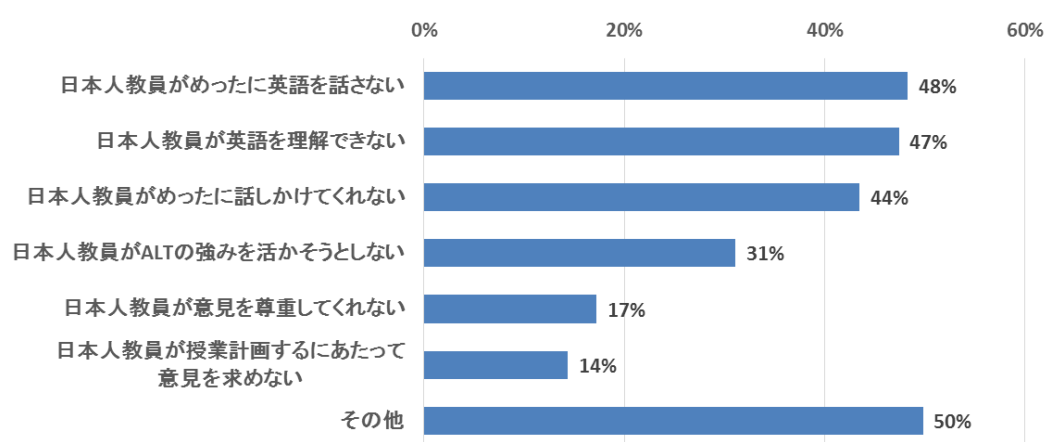
日本人教員との間での何か問題を抱えているかを尋ねたところ、「はい」と答えた ALT は42%で、「いいえ」と答えた ALT は58%であった。約6割の ALT が、現在日本人教員との間で問題がないと回答している。

図・表4-4-10

29. 日本人教員との間でどのような問題を抱えていますか。(複数回答可)

日本人教員がめったに英語を話さない	101
日本人教員が英語を理解できない	99
日本人教員がめったに話しかけてくれない	91
日本人教員がALTの強みを活かそうとしない	65
日本人教員が意見を尊重してくれない	36
日本人教員が授業計画するにあたって意見を求めない	30
その他	104
回答者数	209

(無回答者 446 人)



前項で問題を抱えていると回答した ALT に、どのような問題を抱えているのか尋ねたところ、最も多かったのは「日本人教員がめったに英語で話さない」(48%)であった。さらに、その次に多かったのは「日本人教員が英語を理解できない」(47%)、続いて、「日本人教員がめったに話しかけてくれない」(44%)が挙げられた。質問項目20、21で、小学校では ALT と日本人教員との関わりがかなり多いことが示された。一見、これに相反する数値のようであるが、前項で約6割の ALT が問題を抱えていないと回答しており、普段から関わりが多い場合は問題が生じにくく、この設問に回答していないことも考えられる。普段から関わりが多い ALT と、そうではない ALT とで、この設問にどのように回答しているか、問題を抱えている程度やその内容に違いがあるか、今後の分析が必要であろう。

問題を抱えている ALT の回答からは、ALT と日本人教員とのコミュニケーションでの不満や不足に関わる問題があり、ALT が学校現場において孤立している様子が浮かび上がってきた。また、「日本人教員が ALT の強みを活かそうとしない」という回答が31%あった。これも、コミュニケーションが十分に取れていないことに起因すると考えられ、また「日本人教員が意見を尊重してくれない」(17%)や「日本人教員が授業計画するにあたって意見を求めない」(14%)といった問題も、表現は違うが、同様の傾向を示しているものである。これらの回答に含まれないものは「その他」として扱われたが回答数としてはこれが最大であった。その内容については、次項30. の自由記述回答と関連しているが、今後の詳細な分析を待つものである。

30. 日本人教員との関係について何かありましたら、自由にお書きください。
 ※この質問項目は自由記述回答方式であり、現在分析中のため、本報告書では取り扱わないものとする。

5. ALT と児童との関係について

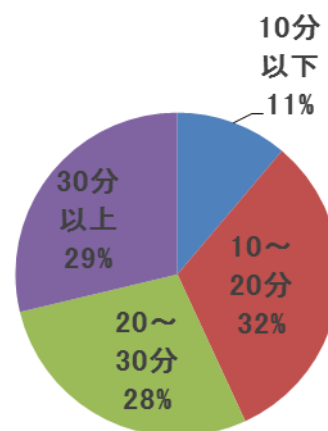
ここでは、ALT と児童との関係について調査結果を示す。授業中の児童への対応や英語および日本語使用の度合、また授業外での児童とのコミュニケーションやALT が児童との関係で感じている問題点などについての結果を述べる。

図・表4-5-1

31. 1回の授業の中で、あなたがクラス全体に話しかける時間はどれくらいですか。

10 分以下	56
10～20 分	160
20～30 分	141
30 分以上	144
計	501

(無回答者数 154 人)



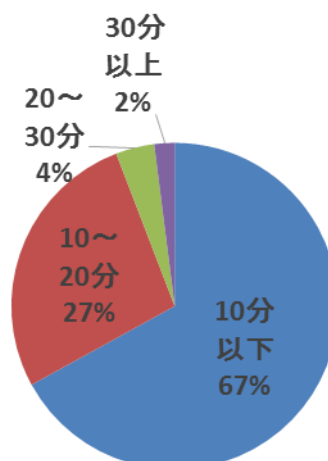
1回の授業の中で、ALT がクラス全体に話しかける時間は、「10～20分」(32%)、「20～30分」(28%)、「30分以上」(29%)とばらつきがみられた。これは、「第3章10. 授業形態」の結果が示す「授業の受け持ち方」の違いが関係しているものと推察される。授業形態として、「自分1人」で授業を行っているALT が約3割、チームティーチングで取り組んでいるALT が約6割という結果が出ており、チームティーチングでの役割分担も多様である。そのため、ALT がクラス全体に話しかける時間にこのようなばらつきがみられるものと考えられる。

図・表4-5-2

32. 1回の授業につき、単独で作業している児童ひとりひとりにあなたが話しかける時間はどれくらいですか。

10分以下	333
10分～20分	135
20分～30分	19
30分以上	10
計	497

(無回答者数 158人)



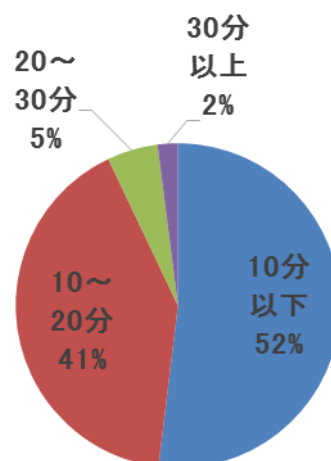
児童が個々で作業している際、ひとりひとりに対してALTが話しかける時間は、「10分以下」が約7割と最も多く、次いで「10～20分」が約3割であった。通常の小学校でのクラスサイズでは、ひとりひとりの児童に対して働きかけることは難しく、そのことがこの回答につながったと考えられる。

図・表4-5-3

33. 1回の授業につき、ペアあるいはグループ作業をしている児童たちに話しかける時間はどれくらいですか。

10分以下	257
10～20分	203
20～30分	25
30分以上	10
計	495

(無回答者数 160人)



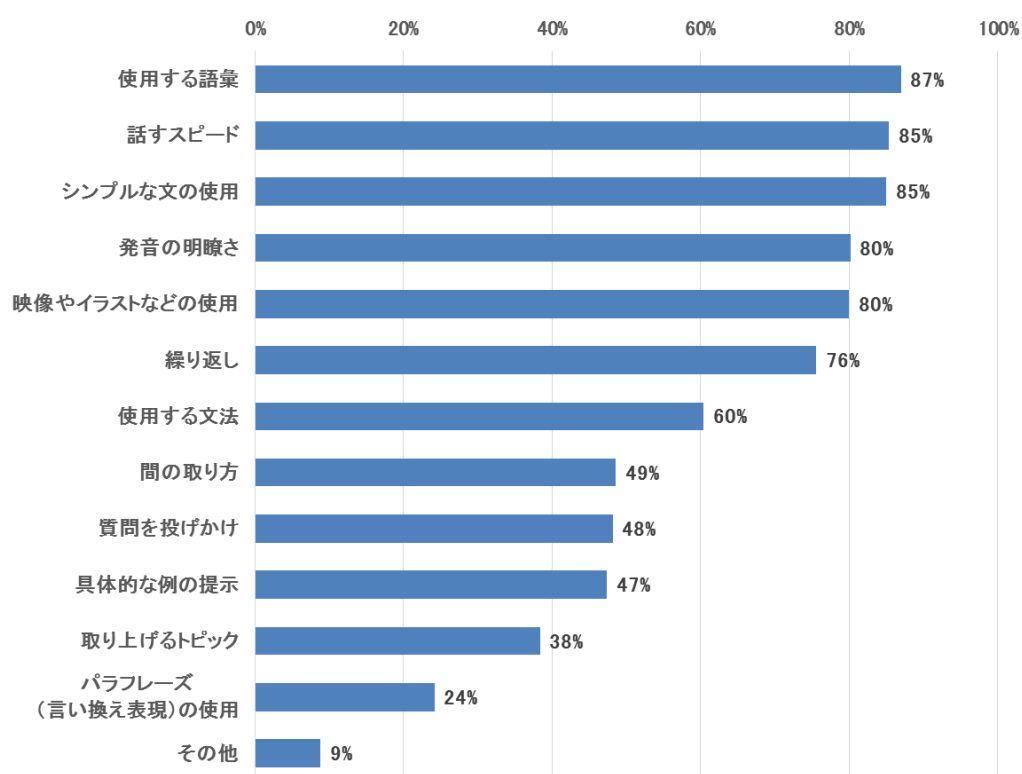
ペアあるいはグループ作業をしている児童たちに話しかける時間については、「10分以下」が約5割、「10～20分」が約4割という結果であった。児童がペアやグループになることによりALTから話しかけやすくなり、児童に対して話しかける時間が多くなっているものと推察される。

図・表4-5-4

34. 児童に英語で話しかけると、特に注意している点はなんですか。(複数回答可)

使用する語彙	435
話すスピード	427
シンプルな文の使用	425
発音の明瞭さ	401
映像やイラストなどの使用	400
繰り返し	378
使用する文法	302
間の取り方	243
質問を投げかけ	241
具体的な例の提示	237
取り上げるトピック	192
パラフレーズ(言い換え表現)の使用	121
その他	44
回答者数	500

(無回答者数 155 人)



児童に英語で話しかける際に注意していることを尋ねたところ、「使用する語彙」(87%)が最も高く、次いで「話すスピード」(85%)、「シンプルな文の使用」(85%)であった。また、8割のALTが「発音の明瞭さ」、「映像やイラストなどの使用」についても注意していることがわかった。教歴、在日歴とも数年程度で、EFL(English as a foreign language、外国語としての英語)環境で教えた経験値の浅いALTも多い

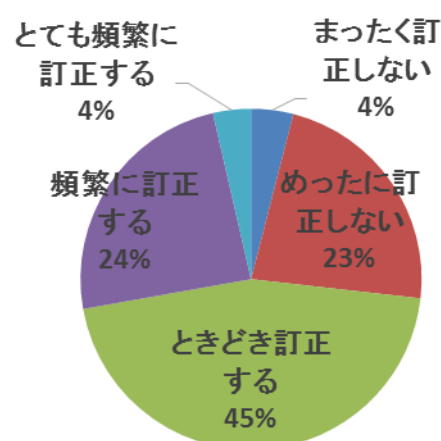
が、各 ALT が様々な工夫や努力をし、児童にわかりやすく、伝わるように英語で話しかけようとしている様子が窺える。

図・表4-5-5

35. 児童が話した英語の間違いに気づいたとき、どのくらい訂正していますか。

まったく訂正しない	20
めったに訂正しない	114
ときどき訂正する	227
頻繁に訂正する	121
とても頻繁に訂正する	18
計	500

(無回答者数 155 人)



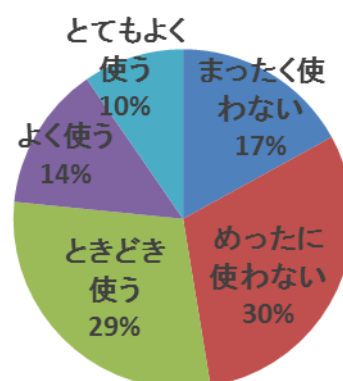
児童が話した英語の間違いに気づいたときの対応については、「ときどき訂正する」(45%)が最も高く、次いで「頻繁に訂正する」(24%)、「めったに訂正しない」(23%)という結果であった。約半数の ALT が児童の間違いをときどき訂正しているが、訂正の頻度は ALT によって個人差があることが窺える。

図・表4-5-6

36. 授業中、どのくらい日本語を使っていますか。

まったく使わない	85
めったに使わない	152
ときどき使う	146
よく使う	69
とてもよく使う	48
計	500

(無回答者数 155 人)



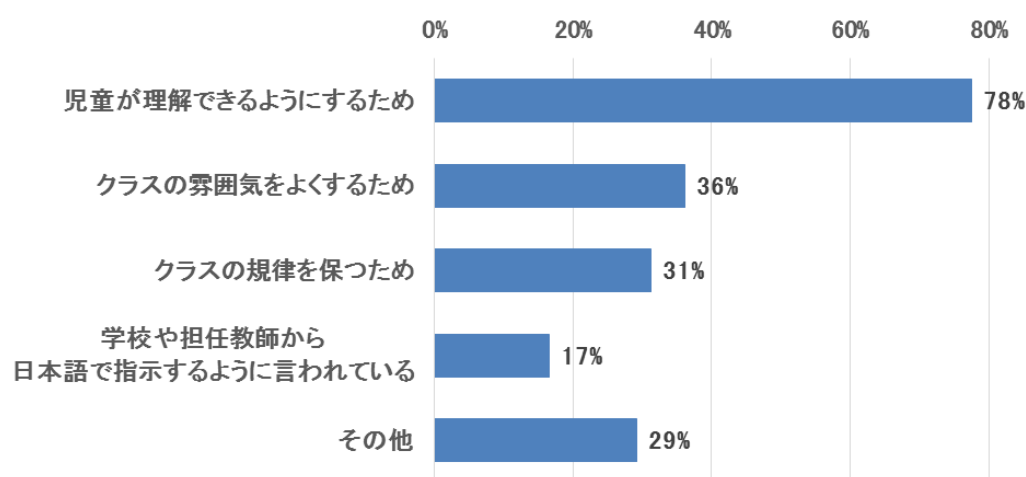
授業中の日本語の使用については、約3割が「めったに使わない」、約2割が「まったく使わない」と回答した。小学校の ALT は他の学校種の ALT に比べ日本語のスキルが高めであるが、ほぼ半数の ALT が授業中の日本語の使用を意識的に避けている。一方、日本語を「ときどき使う」、「よく使う」、「とてもよく使う」と答えた ALT もほぼ半数いた。日本語の使用については次の質問項目37. の回答とも照らし合わせ、大変興味深い。

図・表4-5-7

37. あなたが授業中に日本語を使う理由はなんですか。(複数回答可)

児童が理解できるようにするため	348
クラスの雰囲気をよくするため	162
クラスの規律を保つため	140
学校や担任教師から 日本語で指示するように言われている	74
その他	131
回答者数	449

(無回答者数 206 人)



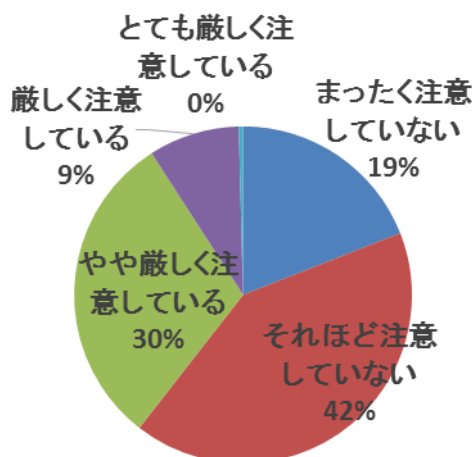
授業中に日本語を使用する理由について尋ねたところ、「児童が理解できるようにするため」(78%)が最も高かった。「学校や担任教師から日本語で指示するように言われている」は17%であることから、児童の理解度に応じてALTが自らの判断で日本語を使用していることが窺える。しかし、実際の授業において、必ずしも日本語の補助がないと児童が理解できない、または活動が進められないわけではない状況でALTが安易に日本語を使用する場面も見受けられる。今後、小学校でも発展的な内容を盛り込んでゆく場合、日本語の使用に関して指標を設け、ALT個人の判断に任せる部分と、学校や学級担任が方針を示す部分を明確にしていく必要がある。

図・表4-5-8

38. 授業内での児童の日本語の使用について、どれくらい厳しく注意をしていますか。

まったく注意していない	94
それほど注意していない	205
やや厳しく注意している	150
厳しく注意している	43
とても厳しく注意している	2
計	494

(無回答者数 161 人)



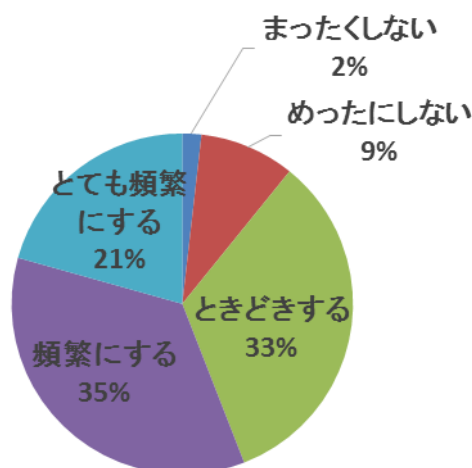
児童の日本語使用については、「それほど注意していない」(42%)が最も高かった。一方で、「やや厳しく注意している」が3割、「厳しく注意している」が約1割であり、合わせると約4割の ALT は児童が日本語を使用した場合に注意していることがわかった。

図・表4-5-9

39. 授業外で、児童とどれくらい英語で会話をしていますか。

まったくしない	9
めったにしない	45
ときどきする	166
頻繁にする	176
とても頻繁にする	103
計	499

(無回答者数 156 人)



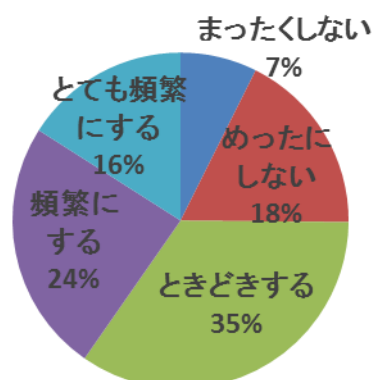
授業外で児童とどれくらい英語で会話をしているかという質問に対しては、約2割の ALT が「とても頻繁にする」と答えている。「頻繁にする」(35%)、「ときどきする」(33%)を合わせると9割近い ALT が頻度の差はあるが、授業外でも児童と英語で会話をしている。

図・表4-5-10

40. 授業外で、児童とどれくらい日本語で会話をしていますか。

まったくしない	37
めったにしない	89
ときどきする	173
頻繁にする	122
とても頻繁にする	80
計	501

(無回答者数 154 人)



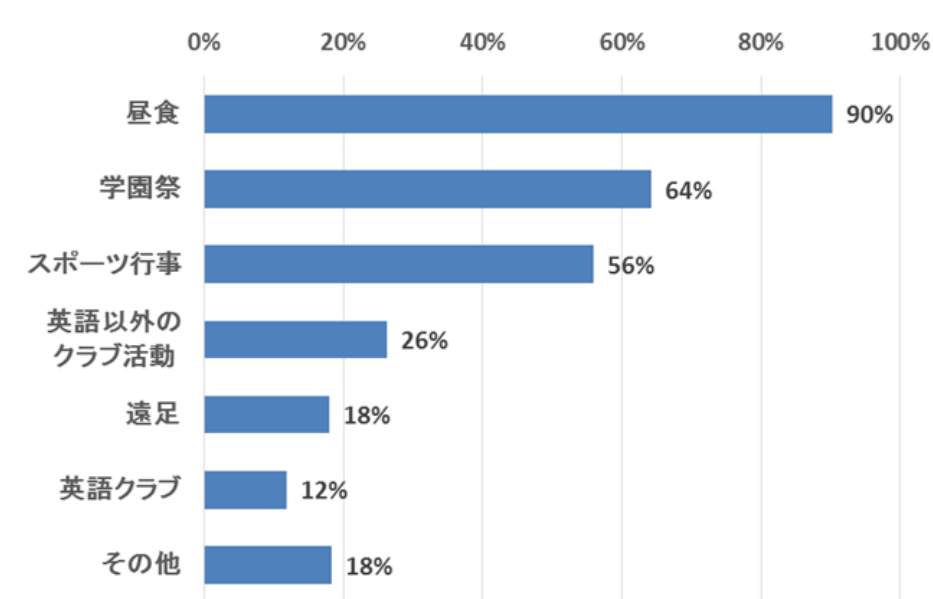
授業外で児童とどれくらい日本語で会話をしているかについても尋ねたところ、「ときどきする」(35%)が最も高く、次いで「頻繁にする」(24%)であった。これらに、「とても頻繁にする」(16%)も合わせると、ALT の75%が授業外で児童と日本語で会話をしており、英語に比べると頻度は下がるものの、授業外でも児童と対話のやりとりをしていることが窺える。「第3章8.日本語力」の結果によれば、小学校英語活動に関わっている ALT の76%が中級レベル以上の日本語力を持っており、本項目の結果は ALT の日本語力も影響していると考えられる。ALT の日本語力については、「第3章8.日本語力」を参照されたい。

図・表4-5-11

41. どのようなイベントや活動を児童と一緒にしていますか。(複数回答可)

昼食	440
学園祭	314
スポーツ行事	273
英語以外のクラブ活動	128
遠足	88
英語クラブ	58
その他	90
回答者数	488

(無回答者数 167 人)



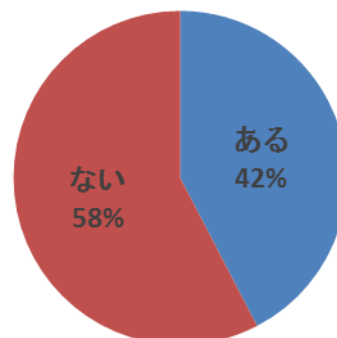
児童と行っているイベントや活動については、「昼食」(90%)が最も高く、次いで「学園祭」(64%)、「スポーツ行事」(56%)という結果であった。英語活動以外にも、ALT は学校生活の中で児童と触れ合っていることがわかる。特別な行事だけでなく、むしろ「昼食」のような日常的な学校活動に9割の ALT が関わっていることは特筆すべき点といえる。

図・表4-5-12

42. 児童たちとの関係で、なにか問題を感じることはありますか。

ある	211
ない	287
計	498

(無回答者数 157 人)



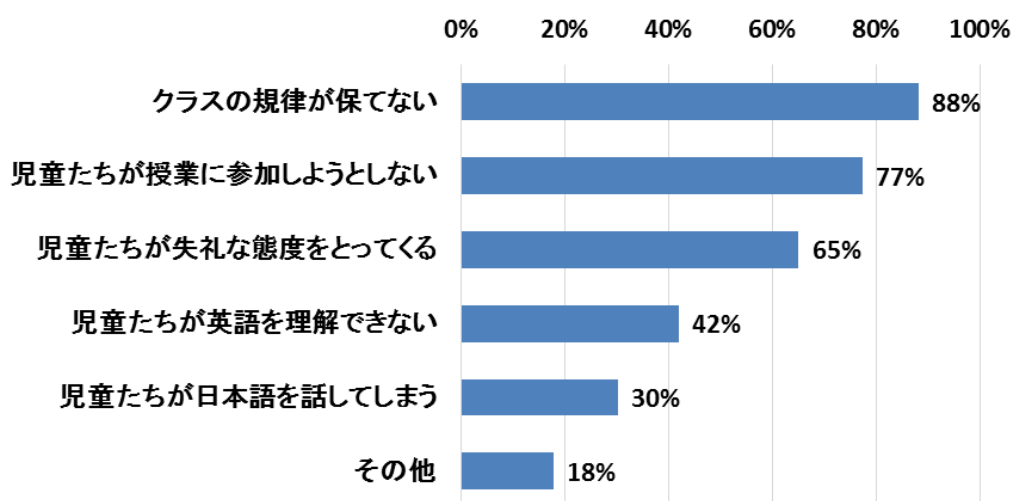
児童たちとの関係における問題の有無について尋ねたところ、結果は「ある」(42%)、「ない」(58%)であった。ALT の約4割が児童たちとの関係において、何らかの問題を感じていることがわかった。どのような問題を感じているのかを、次の質問項目43. において具体的に尋ねた。その回答にも注目したい。

図・表4-5-13

43. 児童たちとの関係で、どのような問題を感じていますか。(複数回答可)

クラスの規律が保てない	187
児童たちが授業に参加しようとしていない	164
児童たちが失礼な態度をとってくる	138
児童たちが英語を理解できない	89
児童たちが日本語を話してしまう	64
その他	38
回答者数	212

(無回答者数 443 人)



質問項目42. で「はい」と答えた ALT が約4割いたが、どのような問題を感じているか尋ねたところ、「クラスの規律が保てない」が約9割と最も高く、次いで「児童たちが授業に参加しようとしていない」(77%)、「児童たちが失礼な態度をとってくる」(65%)であった。ALT が児童たちとの関係で抱えている問題は、英語の指導内容よりむしろ、授業中のクラスマネジメントや児童の態度に関するものであることがわかる。クラスマネジメントについては、学級担任が果たす役割も大きいと考えられる。小学校での ALT とのチームティーチングにおける学級担任の関わり方を考えるうえで示唆となる結果であろう。

44. 児童たちとの関係について、普段感じていることを自由にお書きください。

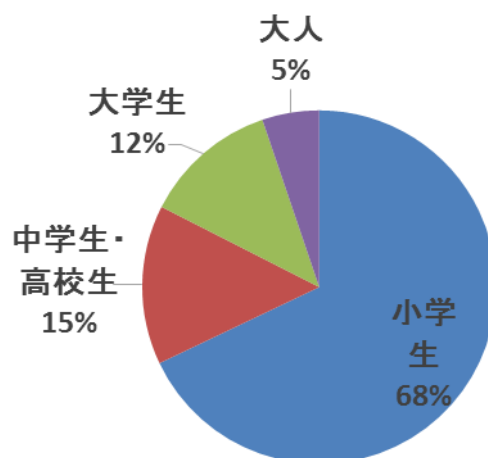
※この質問項目は自由記述回答方式のため、本報告書では取り扱わないものとする。

図・表4-5-14

45. 選べるとすれば、どの年代の児童・生徒に教えたいと思いますか。

小学生	326
中学生・高校生	70
大学生	59
大人	25
計	480

(無回答者数 175 人)



ALT 自身が選べるとすれば、どの年代の児童・生徒に教えたいと思うか尋ねたところ、「小学生」(68%)が最も多かった。約7割の ALT が好んで小学生の指導にあたっていることがわかった。対象年齢層が低くなるほど、単に英語を指導するだけにはとどまらない難しさもある中であえて子どもたちと関わる職場を選んでいる ALT が多いことが窺える。

6. 本章のまとめ

本章では、小学校における ALT が関わる英語指導の実態についてアンケート調査の結果を見てきた。最後に、これらの調査結果をまとめ、それに基づいた問題提起を行いたい。

ALT の研修実施状況とそれに対する ALT の認識について調べた結果から、8割が ALT としての研修をうけており、その内容は学習指導要領についても扱い、小学校において求められる内容をふまえた多岐にわたるものであることが示された。また、8割の ALT が、今後研修の機会が提供されれば参加したいと考えており、うち6割が教授法、クラス運営などについても学びたいと答えている。小学校で教える ALT は学校から期待されている役割も自覚し、自分の ALT としての強みも学校現場でかなり活用されているととらえている。これらの結果から、学ぶことに意欲的で小学校での英語活動にポジティブに取り組んでいる小学校 ALT 像が浮かび上がってくる。

さらに、授業計画に関して8割を超える ALT が授業計画の大部分を任せ、手作りの教材やインターネットからの教材を活用し、楽しい授業を心がけている。しかし、本来学級担任が計画、指導の中心となるべき小学校の英語活動において、このような数値が示すのは「ALT への授業の丸投げ」がかなりの程度行われていることに他ならない。日本人教員との関係において、約7割の ALT は授業内、授業外での関わりを持っている。英語でのコミュニケーションが積極的に行われていると答えた ALT は4割に満たない。それにも拘らず、日本人教員との関わりは適量以上と思っている ALT が6割もいる。これは、小学校においては、ある程度日本語ができるALTが相当数配置されているためではないか。もう一つ考えられるとすれば、日本人教員と関わらなくても小学校での指導ができてしまっていることの反映ではないかと推察できる。つまり、小学校で担任教員が同じクラスの中にも、実際の指導は ALT が授

業の全部、もしくは一部を一人で行っているのではないか。そうであれば、日本人教員との打ち合わせや振り返りなどのコミュニケーションの必要性はそれほど高くなる。実際、ALT と担任教員がそれぞれ独自で行う英語活動が、お互いに関連無く、モザイク状にカリキュラムに組み込まれているケースはかなりあると思われる。今後の小学校における英語活動の展開を考える上で、ALT をどう活用するかは大きな焦点となる。しかし、このアンケートから見えてくる現状では、ALT の指導が全体のカリキュラムでの位置付けや小学校教育の中での子どもたちの学びとの関連付けの上で行われているとは考えにくい。

小学校教員は英語に対して苦手意識を持っている割合が中、高よりも高いという。調査などで示される教員の英語力も、中高のそれと比べて低いことは否めない。今回の調査結果はそのような小学校の実情を反映して、小学校 ALT の日本語運用能力が中学校、高等学校より高く、日本での滞在年数も長い割合が多いという結果を示している(3章を参照)。日本語能力の高い ALT が小学校に重宝され、長く勤めていることを示しているとも考えられる。しかし、今回の結果を見ると、それだけではカバーしきれない本質的なコミュニケーションの不足が存在するようである。

小学校英語活動ならではの、ALT と日本人教員との両方によるチームティーチングによって実現されるプラスの相乗効果、教育上の効果が十分考慮されないまま、ただ必要な時間数を楽しい言語活動で埋めるため ALT が利用されているのではないか。本調査において、中間発表には含めることのできなかつた自由記述設問での ALT からの回答を分析することで、このような懸念に対しての解が今後示されることを期待する。本調査の結果がこれまで明示されなかつた ALT の様々な実態と問題点を浮き彫りにし、それをもとにこれから小学校での ALT のより良い活用のためにどのように取り組んでいくべきかを考える礎となるべく、今後さらに結果の分析及び研究をすすめてゆきたく思う。

第5章 中学校アンケートの結果のまとめ

本章では、中学校用アンケート結果のまとめを報告する。3章ではALTの属性に関する回答結果を小・中・高と比較する形でまとめたが、ここでは中学校においてALTが関わる英語指導の実態について報告する。

以下、1～5節にてアンケートの質問項目の順番に結果を示していく。

1. 教員研修
2. ALTとしての期待
3. 授業計画
4. ALTと日本人教員との関係
5. ALTと生徒との関係

1. 教員研修

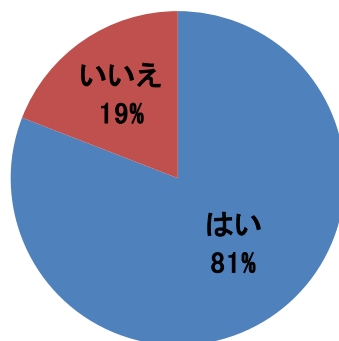
本節では、教員研修の実施状況と、それに対するALTの認識に焦点を当てる。前半では、ALTとしての研修の有無、その時期と期間、頻度、研修で学んだ内容についての研修実態を示す。後半では、研修の希望有無、研修で学んだ内容とその役立ち度合い、そして今後の希望研修内容の結果を報告する。

図・表5-1-1

1. あなたはALTになるにあたって研修を受けましたか。

はい	720
いいえ	170
計	890

(無回答者数 0人)



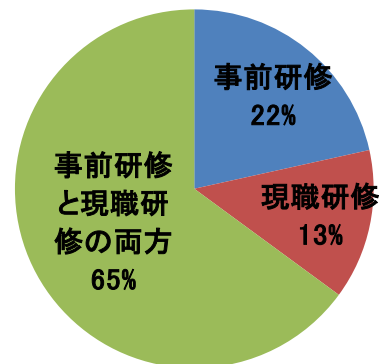
ALTとしての研修経験の有無を尋ねたところ、何らかの研修を受けた経験のあるALTは全体の約8割を占めていた。一方、約2割のALTは研修を受けずに現場に立っていることがわかった。

図・表5－1－2

2. あなたがALTになる上で受けた研修は事前研修(ALTとして働く前)、現職研修(ALTとして働きはじめてから)、事前研修と現職研修の両方のうちどれですか。

事前研修	140
現職研修	88
事前研修と現職研修の両方	422
計	650

(無回答者数 240 人)



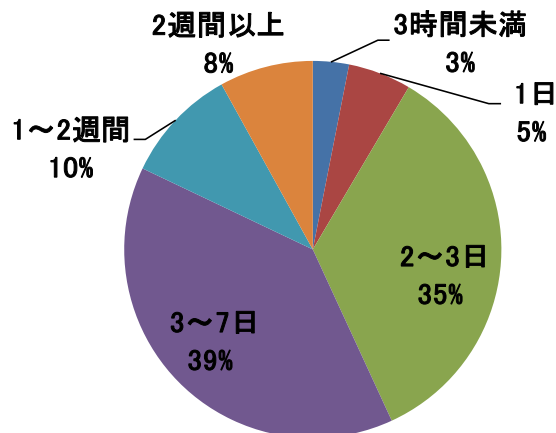
前項で、研修を受けた経験があると答えたALTに、研修の経験時期について尋ねた。働き始める前だけでなく、ALTとして現場に就きながら研修を受けているALTの割合が最も多く、研修経験者の65%を占めていた。教壇に立つ以前に研修を受けたが、その後は研修を一度も受けていないALTは約2割いた。反対に、事前研修は受けていないが、仕事と平行して研修を受けていると答えたALTは約1割であった。

図・表5－1－3

3. 研修期間はどのくらいでしたか。

3 時間未満	20
1 日	35
2～3 日	224
3～7 日	252
1～2 週間	64
2 週間以上	52
計	647

(無回答者数 243 人)



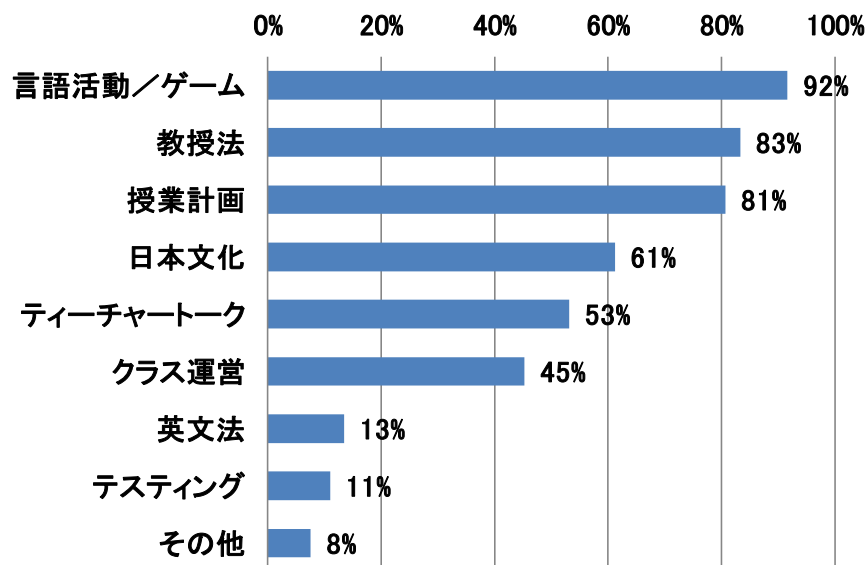
次に、研修経験のあるALTに、研修の期間を尋ねた。研修時間や研修形態などの詳細はこの質問からは把握できないが、3時間未満から2週間以上に至るまで、幅広い回答が見られた。最も多かった回答から順に、「3～7日」が約4割、「2～3日」が3.5割、「1～2週間」が1割という結果となった。一日またはそれ未満と回答したALTは8%で、2週間以上の研修を経験しているALTと同じ割合を占めている。

図・表5-1-4

4. 研修でどのようなことを学びましたか。(複数回答可)

言語活動/ゲーム	593
教授法	539
授業計画	522
日本文化	396
ティーチャートーク	344
クラス運営	293
英文法	87
テストイング	71
その他	49
回答者数	647

(無回答者数 243 人)



研修の中で学んだ内容を複数回答してもらった結果、「言語活動/ゲーム」(92%)、「教授法」(83%)、「授業計画」(81%)が最も高い割合を示した。ここから ALT 研修では、授業で使える具体的活動、言語の教え方、そして授業の組み立て方に関する事柄が、3つの柱として指導されていることが窺える。

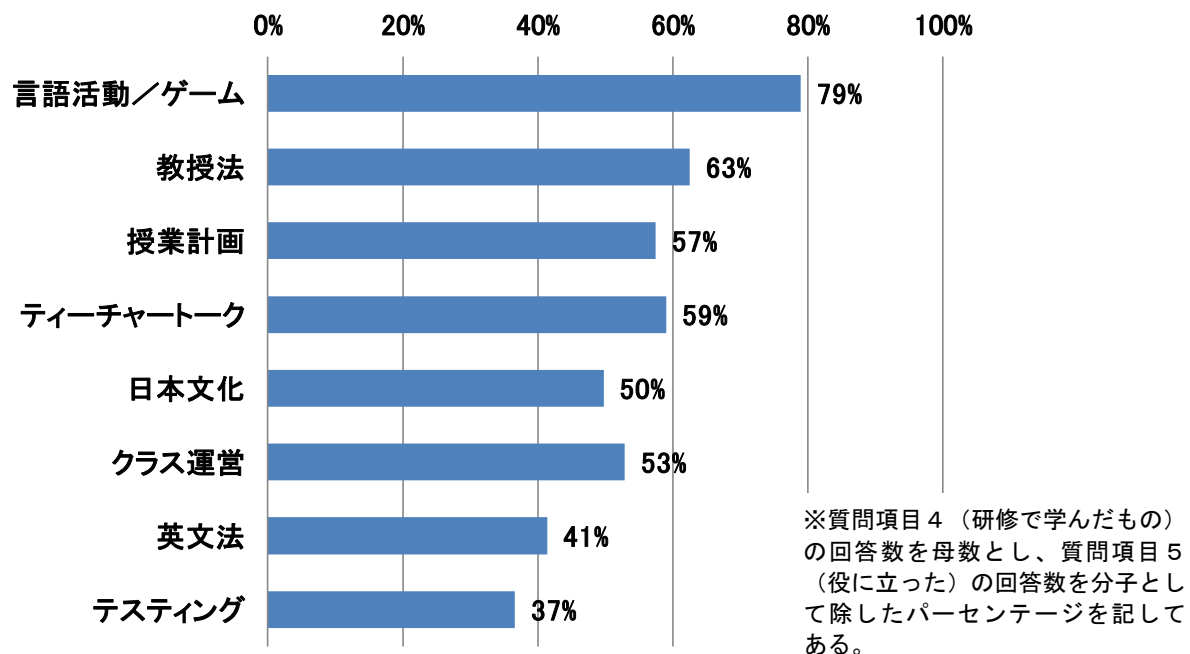
日本という新しい文化に馴染むための「日本文化」についての指導(61%)や、学習者のレベルに合わせて英語の話し方を調整する「ティーチャートーク」の指導(53%)は、半数の ALT が受けていた。クラス運営についての指導はやや割合が下がり、45%であった。一方で、明示的な英文法についての知識(13%)や、テストイング(11%)についての指導は低い割合にとどまった。「その他」の回答としては、「生徒の動機付け」、「音声学」、「学習指導要領」、「他の教員との協力について」などが挙げられた。

図・表5-1-5

5. 研修で学んだことで、特に役に立っていることはなんですか。(複数回答可)

言語活動/ゲーム	468
教授法	337
授業計画	300
ティーチャートーク	203
日本文化	197
クラス運営	155
英文法	36
テストティング	26
その他	34
回答者数	610

(無回答者数 280 人)



受けた研修内容の中では、すぐに使える具体的な内容である「言語活動/ゲーム」が、最も役立ったという回答比率が高かった。それぞれ受けたことのあると答えた回答数が異なるものの、指導を受けた半数以上の ALT が「授業計画」(57%)、「教授法」(63%)、「ティーチャートーク」(59%)、「クラス運営」(53%)、「日本文化」(50%)について、学んで良かったと肯定的な回答をしている。やや評価の低かったものとして、「英文法」(41%)と「テストティング」(37%)があった。

「その他」の回答として、「担任や他の教員と関係を築く方法」、「学習指導要領」、「日本の教育システム」、「他の ALT の授業観察」などが挙げられた。役に立つと感じる度合いは、実際に ALT が教室でどんな指導の役割を担っているかに関連があると考えられる。その点で、ティー

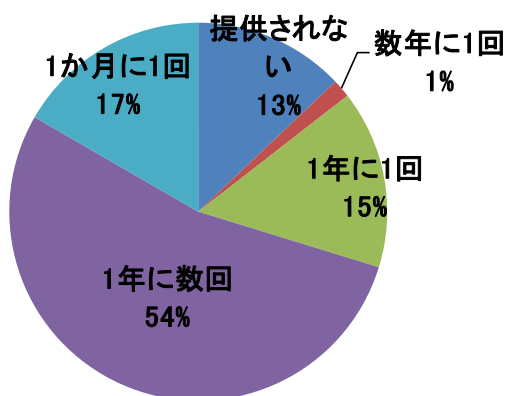
ムティーチングをしている ALT のみに回答は限定されるが、ALT が教室でどのような役割を担っているかについて言及した本章「4. ALT と日本人教員との関係」の質問項目7も合わせて参照されたい。

図・表5－1－6

6. 現在勤務されている学校や雇用者より研修を提供される機会はどのくらいありますか。

提供されない	83
数年に1回	10
1年に1回	98
1年に数回	344
1か月に1回	107
計	642

(無回答者数 248 人)



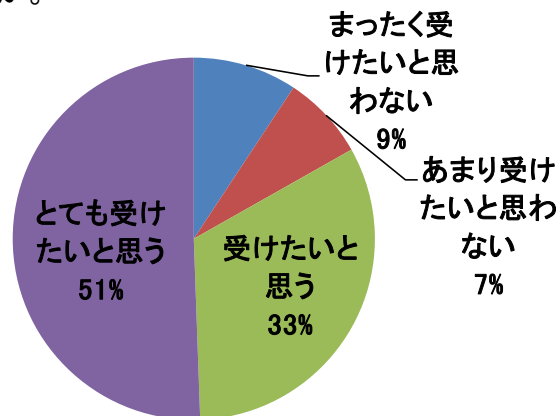
1年に数回提供されると答えたALTが約半数(54%)いたが、その反面、研修が「提供されない」(13%)、「数年に1回」(1%)または「1年に1回」(15%)という回答を合計すると、約3割のALTが学校や雇用者より提供される研修が1年に1回以下であると回答した。1ヶ月単位で研修に参加する機会があるALTは2割未満であった(17%)。

図・表5－1－7

7. あなたは今後も研修を受けたいと思いますか。

まったく受けたいと思わない	74
あまり受けたいと思わない	60
受けたいと思う	260
とても受けたいと思う	403
計	797

(無回答者数 248 人)



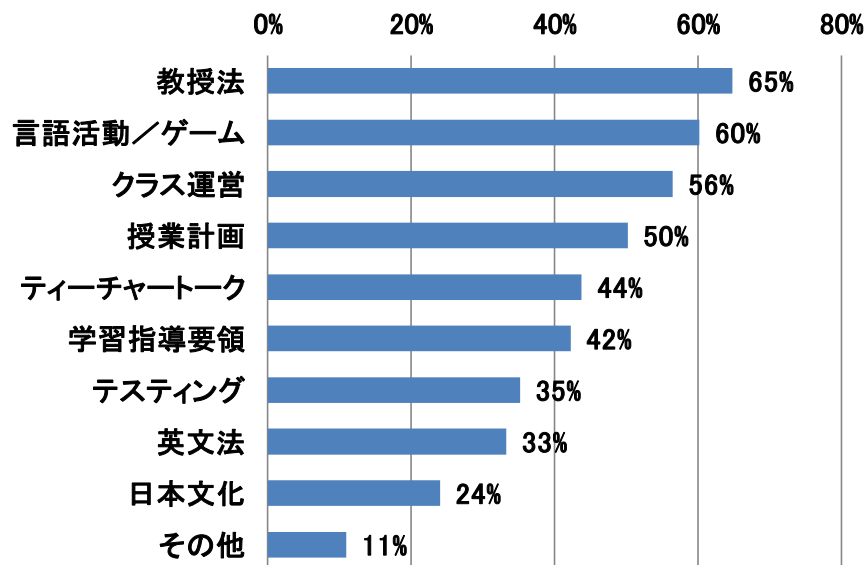
ALT自身がどの程度積極的に研修に対する意欲を持っているか質問したところ、半数以上(51%)のALTが研修を強く希望していることがわかった。「受けたいと思う」(33%)と合わせると、8割以上のALTが、仕事と平行してALTとしての学びを深めたいという意思を持っていることがわかった。反対に、「まったく受けたいと思わない」(9%)、「あまり受けたいと思わない」(7%)という消極的な回答は2割弱にとどまった。

図・表5-1-8

8. 今後研修を受ける際に、どのようなことを学びたいですか。(複数回答可)

教授法	505
言語活動/ゲーム	469
クラス運営	440
授業計画	391
ティーチャートーク	341
学習指導要領	329
テストニング	274
英文法	259
日本文化	187
その他	85
回答者数	779

(無回答者数 111 人)



現場での指導経験を重ねる中で、ALT が最も学びたいと感じている分野は「教授法」(65%)、「言語活動/ゲーム」(60%)、「クラス運営」(56%)であった。クラス運営については研修で指導を受けた ALT の割合は比較的低い数値であったが(上質問項目4参照)、ALT 自身はクラス運営についての知識を深めたいと希望していることがわかる。

続いて希望の多かった内容は「授業計画」(50%)、「ティーチャートーク」(44%)、「学習指導要領」(42%)と続き、4～5割の回答として希望がよせられた。「英文法」(33%)、「テストニング」(35%)のニーズが少なかったことは、質問項目5「役に立った研修内容」で最も回答数が少なかったこととの関連性が窺われる。

「日本文化」については、質問項目5では、指導を受けた半数の ALT が「役に立っている」と答えているが、今後学びたい内容としては最も要望が少なかった(24%)。実際に日本での生

活を続けていく経験そのものを通して徐々に体得していることで、ALT 指導初期よりニーズが小さくなっているという可能性が考えられる。

「その他」の回答として、「チームティーチングの方法」、「他教員の授業観察」、「特別な支援の必要な子どもへの教育」、「日本人教員に自分たちの強みや協力の仕方をわかってもらう方法」などがあつた。

2. ALT としての期待

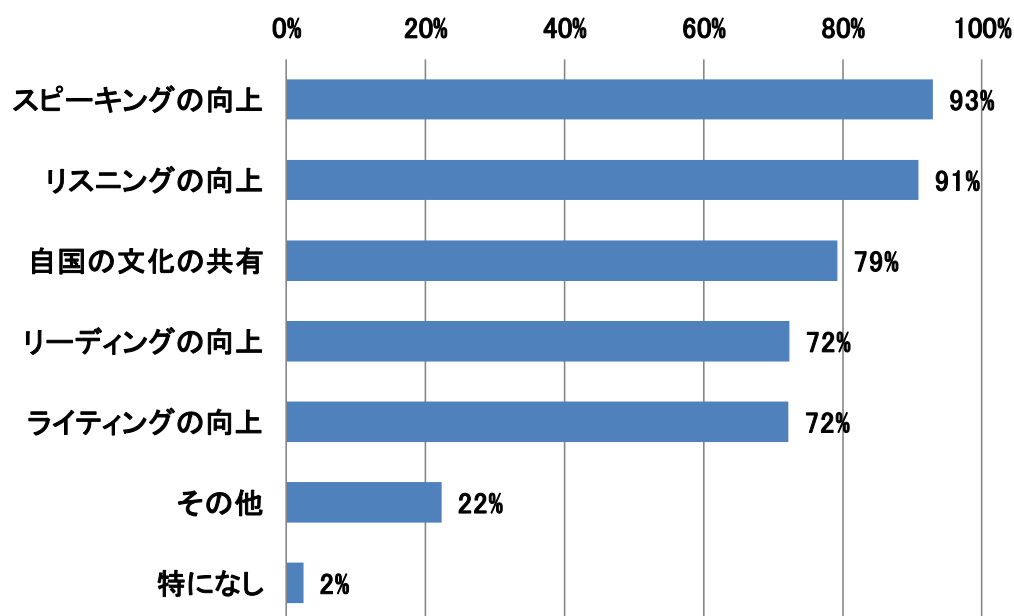
本節では、ALT が授業において英語を指導する際の期待、学校からの ALT への期待、及び両者の一致度に焦点を当てる。また、ALT が考えている自身の強みについての回答も同時に記す。

図・表5－2－1

9. あなたは授業を展開する上でどのようなことを期待していますか。(複数回答可)

生徒の英語のスピーキングの向上	716
生徒の英語のリスニングの向上	700
自国の文化の共有	610
生徒の英語のリーディングの向上	557
生徒の英語のライティングの向上	556
その他	172
特になし	19
回答者数	770

(無回答者数 120 人)



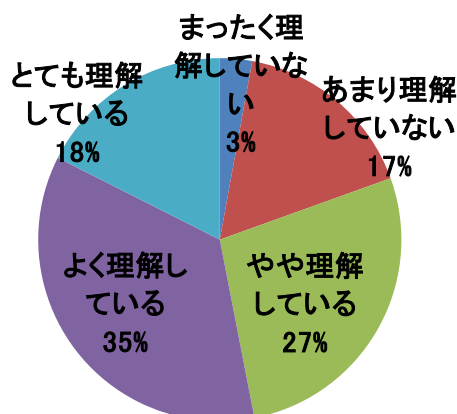
「聞く」「話す」という音声面の指導を意識している ALT が約9割、「文化の共有」という側面を期待している ALT が約8割、そして「読み」「書き」という文字媒体の指導を期待する ALT が約7割という結果が得られた。英語の指導を音声媒体と文字媒体という視点で捉えた際、前者への指導意識がより強いことがわかる。「その他」の回答として、「教室の中だけでなく、外でも使えるようにする指導」、「英語への恐れを取り除く」、「英語を楽しみと思える授業作り」などが挙げられた。

図・表5－2－2

10. あなたに対して学校が期待していることを理解していますか。

まったく理解していない	22
あまり理解していない	128
やや理解している	211
よく理解している	273
とてもよく理解している	135
計	769

(無回答者数 121 人)



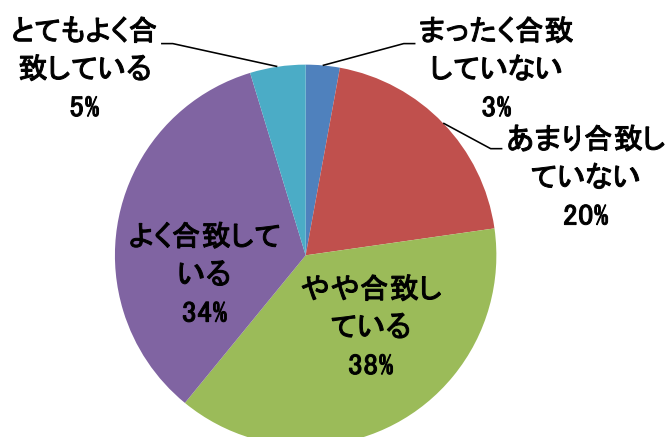
次に、学校が ALT に期待している内容をどの程度 ALT 自身が把握しているかについて尋ねた。「とてもよく理解している」(18%)と「よく理解している」(35%)を足すと、半数以上の ALT が学校が期待する内容を理解していることが窺える。これに「やや理解している」(27%)を足すと、8割の ALT がそれなりに学校側との意思疎通が図れていることがわかる。一方で、「まったく理解していない」(3%)と「あまり理解していない」(17%)を足すと、2割の ALT が学校側の意図を理解しないまま指導にあたっていることがわかった。

図・表5－2－3

11. あなたが期待していることは学校が期待していることとどの程度合致していますか。

まったく合致していない	22
あまり合致していない	152
やや合致している	292
よく合致している	263
とてもよく合致している	36
計	765

(無回答者数 125 人)



前の質問においては「ALT の期待」と「学校の ALT への期待」について尋ねたが、本質問では両者がどの程度合致しているかについて焦点を当てた。「とてもよく合致している」(5%)、「よく合致している」(34%)という一致度の高い選択肢を選んだ ALT は、全体の約4割であった。これに「やや合致している」(38%)を足すと、8割近い ALT がそれなりに期待度の合致を感じているということがわかった。一方、「あまり合致していない」(20%)と「まったく合致していない」(3%)の否定的な選択肢を選んだ ALT は、約2割であった。

12. 日本で英語教員をする上であなた自身の強みはなんですか。思いつく限りお書きください。

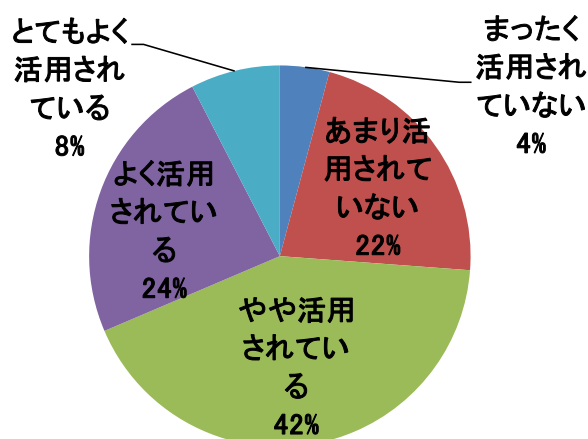
※この質問項目は自由記述回答方式であり、現在分析中のため、本報告書では取り扱わないものとする。

図・表5-2-4

13. あなたの強みは学校現場でどのくらい活用されていると思いますか。

まったく活用されていない	32
あまり活用されていない	168
やや活用されている	324
よく活用されている	182
とてもよく活用されている	58
計	764

(無回答者数 126 人)



ALT としての強みが、現場でどの程度活用されているかについて、「とてもよく活用されている」(8%)、「よく活用されている」(24%)という高い満足度を示す回答は約3割であった。それに「やや活用されている」を加えると、7割強の ALT がそれなりに活用されているという実感を持っていることがわかった。それに対して、「まったく活用されていない」(4%)と「あまり活用されていない」(22%)を合わせた否定的な回答は、3割弱であった。

3. 授業計画

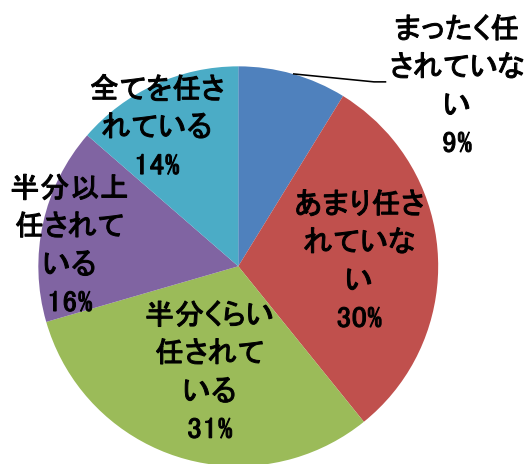
本節では、ALT が英語の授業を計画する際、どの程度裁量を任されているか、また、授業計画においてどのようなことに注意を払っているかについて報告する。後者においては、ALT 個人が授業計画において特に注意を払っていることは何か(図・表5-3-2)に加え、日本人教員とのチームティーチングをする機会がある場合に、授業計画にどのように貢献したいか(5-3-3)についても回答を得た。

図・表5-3-1

14. あなたは授業を計画するにあたってどのくらい任されていますか。

まったく任されていない	67
あまり任されていない	232
半分くらい任されている	239
半分以上任されている	121
全てを任されている	104
計	763

(無回答者数 127 人)



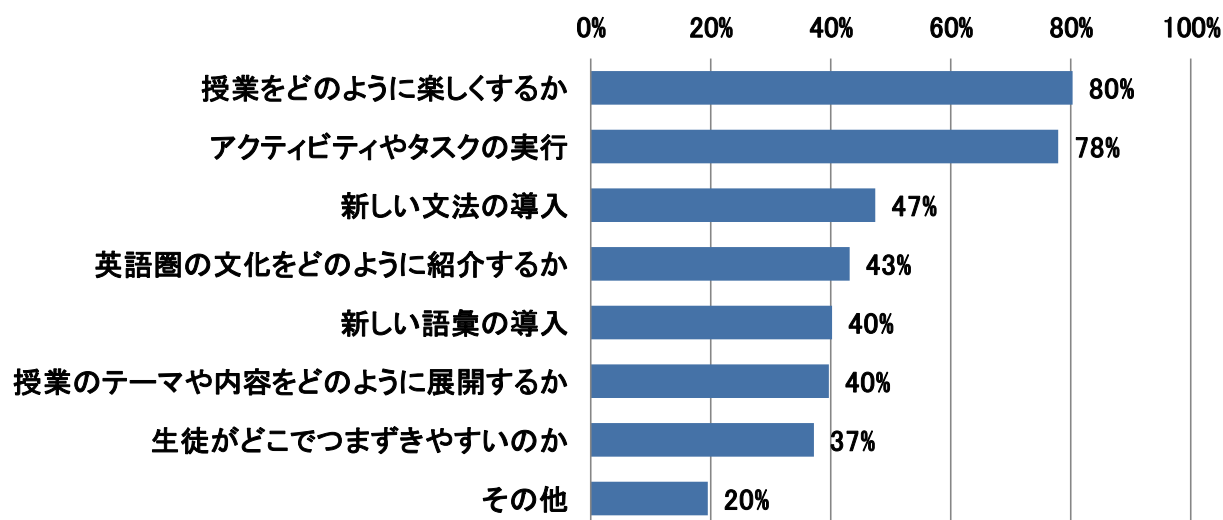
授業を計画するにあたり、どの程度を任されているかを尋ねたところ、全体の約3割が授業計画の半分以上を任されていることがわかった。一方、「まったく任されていない」(9%)または「あまり任されていない」(30%)と回答した ALT は、全体の4割を占めている。労働状況によってかなり違った責任が課されているのではないかと推測される。その点で、ALT の労働状況について尋ねた第3章質問項目5「勤務形態」や、同質問項目10「授業形態」とも密接に関わっていると思われるので、それらも合わせて参照されたい。

図・表5-3-2

15. あなたが英語の授業を計画する上で、特に注意していることは何ですか。(複数回答可)

新しい語彙の導入	301
新しい文法の導入	355
アクティビティやタスクの実行	583
授業をどのように楽しくするか	601
授業のテーマや内容をどのように展開するか	297
生徒がどこでつまづきやすいのか	278
英語圏の文化をどのように紹介するか	323
その他	146
回答者数	748

(無回答者数 142 人)



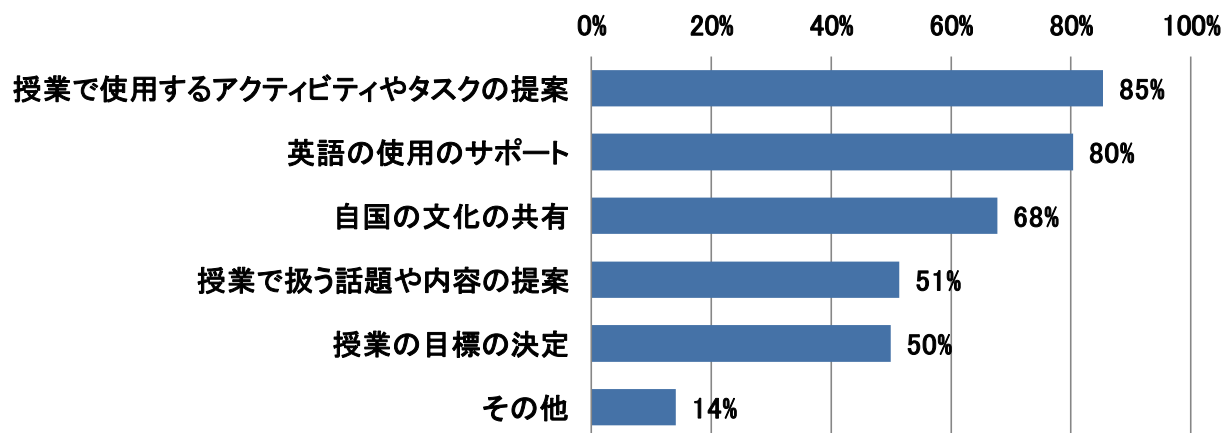
英語の授業を計画する上で、特に注意していることは何かを尋ねた。約8割のALTが「授業をどのように楽しくするか」(80%)と「アクティビティやタスクの実行」(78%)に特に注意していると回答している。一方で、「新しい文法の導入」(47%)や「新しい語彙の導入」(40%)といった学習目標に関する注意はやや低い。同様に、「英語圏の文化をどのように紹介するか」(43%)、「授業のテーマや内容をどのように展開するか」(40%)といった学習の広がりに対する注意、そして「生徒がどこでつまずきやすいのか」(37%)に示される生徒の学習状況に関する注意を払うALTは、全体の約4割にとどまった。

図・表5-3-3

16. ティームティーチングをする機会がある場合、日本人教員との授業計画にどのように貢献したいですか。(複数回答可)

授業の目標の決定	376
英語の使用のサポート	605
自国の文化の共有	510
授業で扱う話題や内容の提案	387
授業で使用するアクティビティやタスクの提案	643
その他	106
回答者数	753

(無回答者数 137 人)



前の質問項目では、ALT 個人が授業計画をする上で特に注意することを尋ねたが、ここでは日本人教員とのチームティーチングをする場合、ALT は授業計画にどのように貢献したいか聞いた。8割強の ALT が「授業で使用するアクティビティやタスクの提案」に貢献したいと答えている。また、「英語の使用のサポート」(80%)、「自国の文化の共有」(68%)との回答からは、多くの ALT がネイティブスピーカーならではの利点を生かして授業に貢献をしたいと考えている様子が窺える。一方で、「授業の目標の決定」(50%)、「授業で扱う話題や内容の提案」(51%)はやや低くなっており、学習目標や内容に関しての貢献を考えている ALT は全体の5割程度となっている。

4. ALT と日本人教員との関係

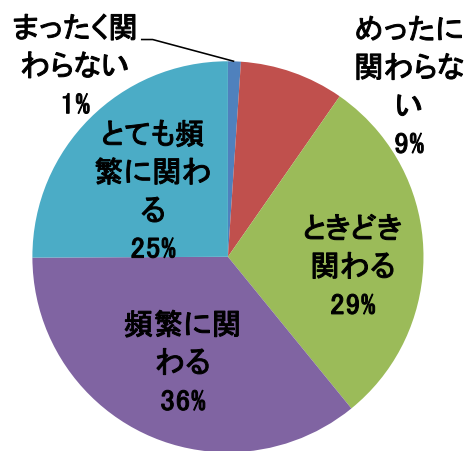
本節では、ALT と日本人教員との関係について焦点を当て、授業内外での交流の頻度とその満足度、交流する際の使用言語、また日本人教員との間に抱える問題について質問した。

図・表5-4-1

17. あなたは授業中どのくらい日本人教員と関わりますか。

まったく関わらない	8
めったに関わらない	65
ときどき関わる	222
頻繁に関わる	270
とても頻繁に関わる	189
計	754

(無回答者数 126 人)



はじめに、日本人教員との授業中の関わりについて質問した。「とても頻繁」(25%)または「頻繁」(36%)に日本人教員と関わりを持つ ALT は約6割に及んだ。一方で、「まったく」(1%)、もしくは「めったに」(9%)関わらないと答えた ALT は1割、また、その中間にあたる「ときどき関わる」とした ALT は約3割となった。

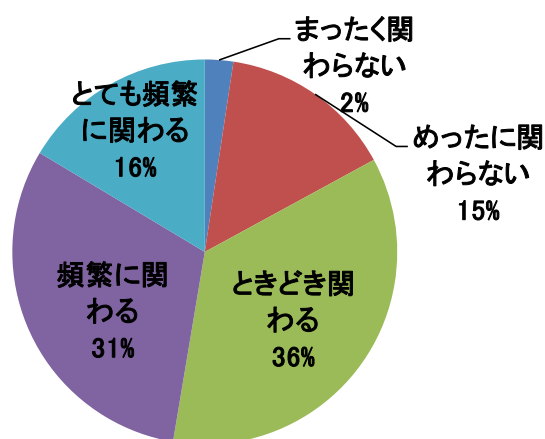
これらの回答は授業中にどのような形態で指導するか(チームティーチング、ALT 単独指導など)ということと密接に関係していると考えられる。そこで、第3章質問項目10「授業形態」の結果を参照すると、常に単独で授業を行うと答えた中学校 ALT が7%いたが、これらの ALT とここで「まったく」もしくは「めったに」関わらないと答えた ALT とで重なりがあると考えられる。

図・表5-4-2

18. あなたは授業外でどのくらい日本人教員と関わりますか。

まったく関わらない	18
めったに関わらない	111
ときどき関わる	269
頻繁に関わる	234
とても頻繁に関わる	124
計	756

(無回答者数 134 人)



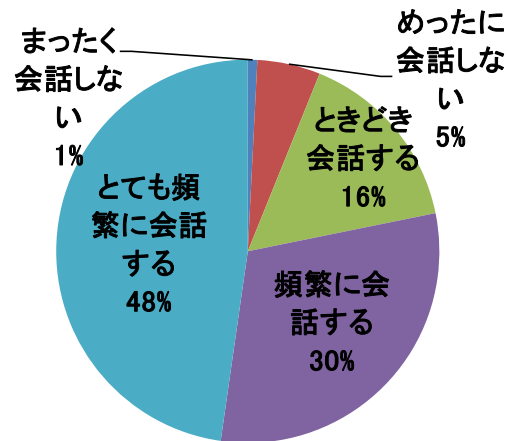
授業外での日本人教員との交流では、「とても頻繁」(16%)と「頻繁」(31%)に日本人教員と関わりを持つ ALT は約半数(47%)であった。この数値は上の授業内で同様に頻繁に交流すると答えた割合(61%)よりもやや低くなっている。一方で、「まったく」(2%)、もしくは「めったに」(15%)関わらないと答えた ALT は2割弱となり、授業内で同様の頻度で交流すると答えた率(10%)よりもやや多い結果を示した。総じて、ALT の日本人教員との交流は、授業外よりも授業内の方がやや頻繁なようである。

図・表5-4-3

19. あなたは日本人教員とどのくらい英語で会話しますか。

まったく会話しない	6
めったに会話しない	40
ときどき会話する	118
頻繁に会話する	229
とても頻繁に会話する	359
計	752

(無回答者数 138 人)



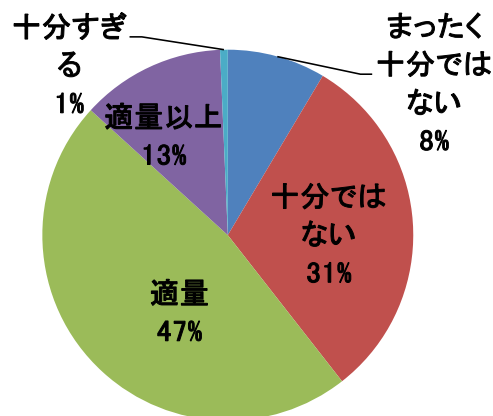
授業の内外で、どの程度 ALT-日本人教員間で英語を使って交流しているかを質問した。その結果、高い頻度で ALT と日本人教員との会話には英語が使われていることがわかった。「とても頻繁」(48%)と「頻繁」(30%)を合わせると、約8割の ALT が英語を中心としたコミュニケーションを図っていることがわかった。「まったく」(1%)または「めったに」(5%)英語で日本人教員と会話しないという ALT は少数であった。

図・表5-4-4

20. あなたは現在の日本人教員との関わりは十分だと思っていますか。

まったく十分ではない	64
十分ではない	231
適量	354
適量以上	94
十分すぎる	5
計	748

(無回答者数 142 人)



日本人教員との現在の交流量について、ALT がどの程度満足しているかについて質問した。適量(47%)またはそれ以上(14%)という回答が約6割、「まったく十分ではない」(8%)と「十分ではない」(31%)と不足を感じているという回答が約4割を占めた。

授業内または授業外といった場所を限定しない質問形式となっているため、授業内での交流が不足していると考えられているのか、打ち合わせや確認、振り返り、雑談といった授業外での交流が不足していると考えているかは、ここからはわからない。しかし、別質問項目の授業形態(第3章質問項目10参照)や授業計画への参加度の回答(本章「3. 授業計画」質問項目

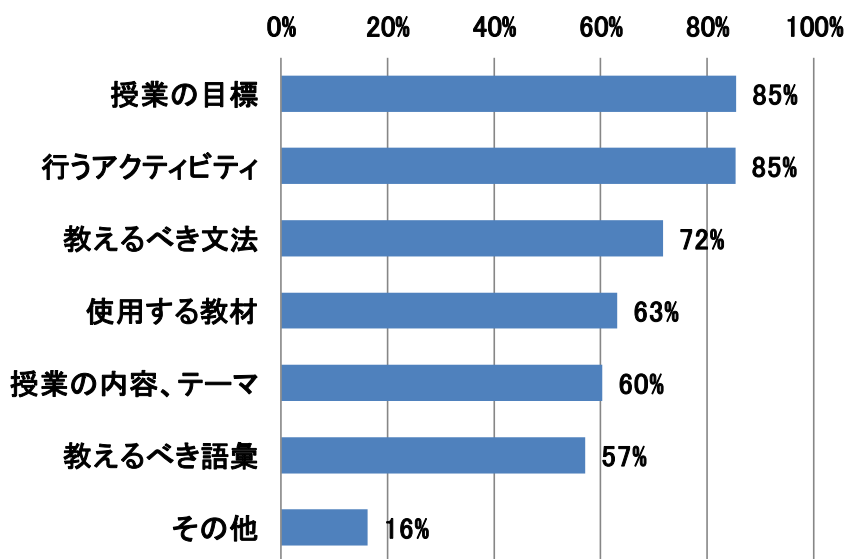
1参照)と合わせて考慮すると、授業形態と日常交流度の関係性が示唆される。ALT の授業計画への関わりの度合いを聞いた項目で、「まったく任されていない」という回答が9%、本質問で交流が「まったく十分でない」という回答の割合が8%と類似していることが示唆的である。

図・表5-4-5

21. 授業を計画する上で、日本人教員とどのような点を話し合うべきだと思いますか。(複数回答可)

授業の目標	640
行うアクティビティ	639
教えるべき文法	537
使用する教材	473
授業の内容/テーマ	452
教えるべき語彙	428
その他	122
回答人数	749

(無回答者数 141 人)



本質問では、授業外の交流のうち「授業計画の打ち合わせ」の内容について焦点を当てた。日本人教員と何を話し合うべきかについて、「授業の目標」(85%)と同時に、その目標を達成するために行う具体的な「アクティビティ」(85%)の打ち合わせを最も重視しているということがわかった。同時に、授業で扱われるべき「文法」に考慮した話し合いを持ちたいと考えている ALT が約7割おり、次いで「教材」(63%)、「授業の内容／テーマ」(60%)、「語彙」(57%)といった内容について日本人教員と事前に共有したいと思っている ALT が多数いることがわかった。

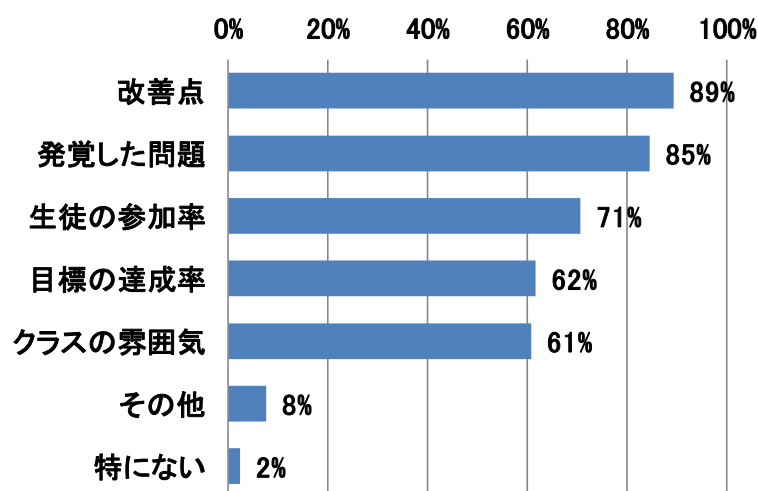
「その他」の回答として、「教えるクラスの現時点での習熟度／具体的に生徒が何をどこまで出来るかといった情報の共有」、「授業の流れ」、「各活動の時間配分」、「日本人教員とALTの分担」、「せめて最低限の内容を把握させてほしい」などが挙げられた。

図・表5-4-6

22. 授業後、日本人教員とどのような点を話し合うべきだと思いますか。(複数回答可)

改善点	669
発覚した問題	633
生徒の参加率	529
目標の達成率	462
クラスの雰囲気	455
その他	57
特に話し合うべき点はない	18
回答人数	749

(無回答者数 146 人)



授業後の日本人教員との振り返りの内容について質問したところ、特に話し合うべき点はないと考えているALTはわずか2%のみであった。このことから、大多数のALTは授業が終わった後に日本人教員と何らかの振り返りを希望しているということがわかる。具体的な話し合いの内容について最も希望が多かったのは、「改善点」の検討(89%)と「授業内で発覚した問題」についての共有(85%)であった。また、6～7割のALTが、生徒が積極的に授業に参加していたかどうか(71%)、計画した授業目標がどの程度達成されたか(62%)、クラスの雰囲気(61%)について日本人教員と話す機会を持ちたいと考えていることがわかった。

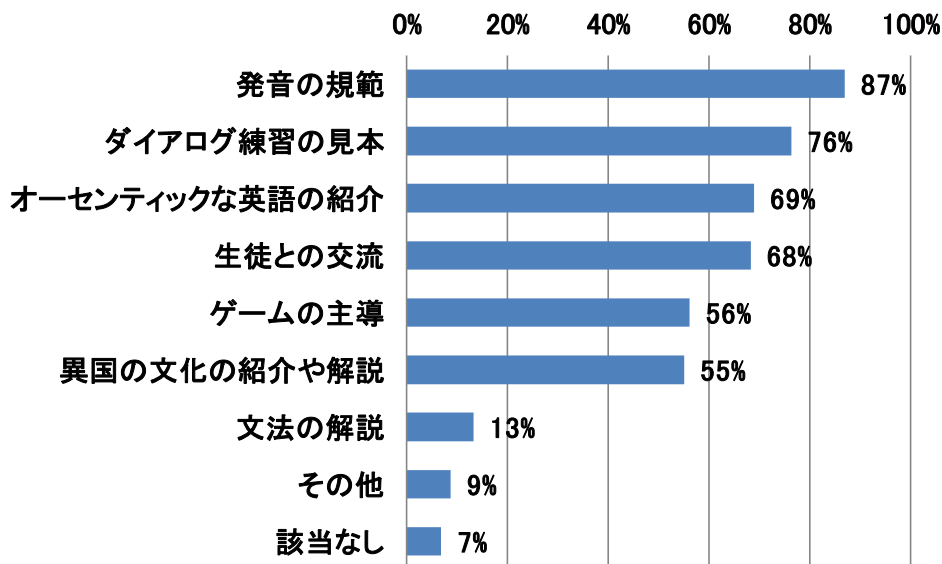
「その他」の回答として、「次の授業で行うフォローアップ活動／復習すべき内容の確認」、「うまくいった活動といかなかった活動の振り返り」などの回答が寄せられた。また、別の回答として、「契約で、授業外で交流を持つことが許されない」という記述もあった。

図・表5-4-7

23. ティームティーチングを日本人教員と行う場合、あなたの役割はどのようなものですか。
(複数回答可)

発音の規範	647
ダイアログ練習の見本	568
オーセンティックな英語の紹介	513
生徒との交流	508
ゲームの主導	418
異国の文化の紹介や解説	410
文法の解説	99
その他	65
該当なし	51
回答人数	744

(無回答者数 142 人)



ティームティーチングを行っている ALT が、授業時にどのような役割を任されているか質問した。約9割の ALT が発音のモデルとしての役割を負っていることがわかった。上位3項目として、「発音の規範」(87%)、「ダイアログ練習の見本」(76%)、「オーセンティックな英語の紹介」(69%)があるが、その共通点として、ALT が「本物の」「正しい」英語の見本を示すことを要求されていることが読み取れる。なお、「該当せず」という回答は、ティームティーチングを行っていない ALT の割合の7%(第3章質問項目10「授業形態」参照)と合致している。

活動として任されているもののうち、「ゲームの主導」と「文化の紹介や解説」が約5割あったが、それに対して「文法の解説」は1割にとどまった。また、生徒との交流を役割として担っていると考えられる ALT が約7割いた。

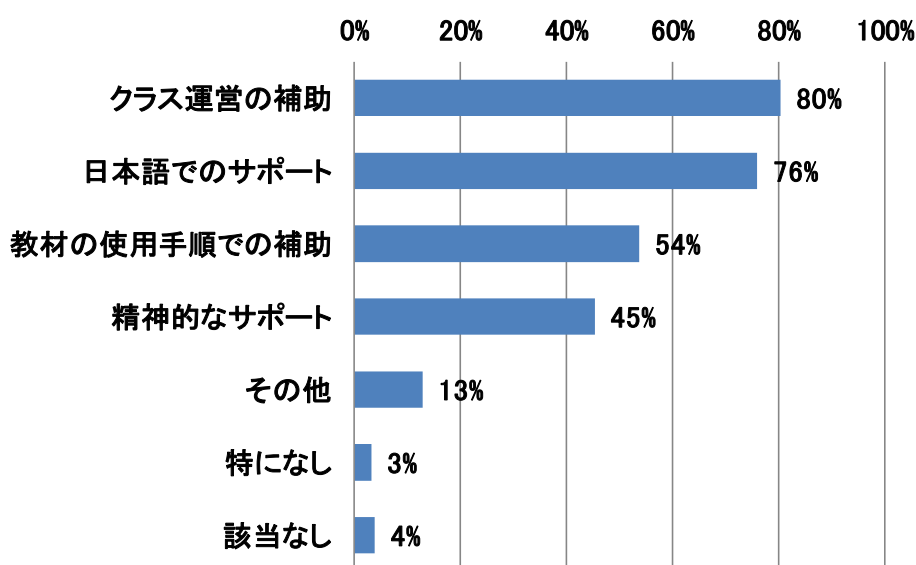
「その他」の回答として、「雰囲気作り(やる気にさせる／静かにさせる)」、「生徒の間違いを訂正する」、「宿題のチェック」などが挙げられたが、同時に「人間テープ／CD プレーヤー」、「おうむ返し」という回答が複数寄せられた。

図・表5-4-8

24. 日本人教員と共に指導するメリットはどのような点だと思いますか。(複数回答可)

クラス運営の補助	601
日本語でのサポート	568
教材の使用手順での補助	402
精神的なサポート	339
その他	96
特になし	24
該当なし	29
回答人数	748

(無回答者数 137 人)



日本人教員とチームティーチングをする利点を見出さないという「特になし」という回答は、全体のうちの3%にとどまった。このことから、大多数の ALT が何らかの点で日本人教員と指導することに意義を見出していることがわかる。最も日本人教員に助けられていると感じている点は、「クラス運営での補助」(80%)であった。クラス運営補助には、困難を感じる生徒への対応からクラスの雰囲気の維持に至るまで幅広い内容が考えられるが、8割の ALT がそういった日本人教員の補助を有用なものとして感じていることがわかる。生徒との英語での交流の際、日本人教員の「日本語でのサポート」(76%)があることも、多数の ALT がメリットと感じていることがわかった。やや割合が下がるが、半数前後の ALT が「教材の補助」(54%)と「精神的なサポート」(45%)を日本人教員との共同授業での利点と感じていた。

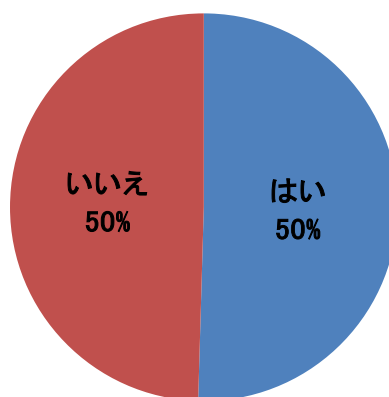
「その他」の回答の中には、「日本人教員は生徒の個性や生徒間の人間関係をわかっている
ので、それが授業運営にあたって助かる」、「生徒にわかりやすく文法を説明してくれる」、「複
数で教えた方が雰囲気明るくなる」などの回答があった。

図・表5-4-9

25. 日本人教員との間に何か問題を抱えていますか。

はい	380
いいえ	373
計	753

(無回答者数 517 人)



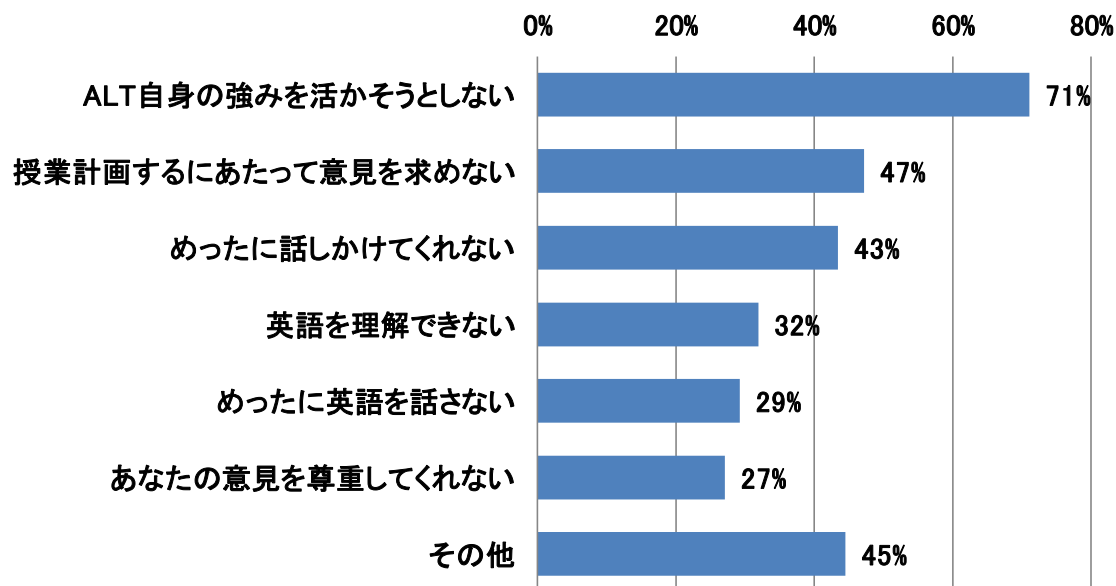
前質問の回答では、ほとんどの ALT が日本人教員と指導するメリットを感じていたものの、同
時に日本人教員との間で問題も抱えていることがわかった。約半数の ALT が日本人教員との
間に問題を抱えていると回答している。その内容について、次に記述する。

図・表5-4-10

26. 日本人教員とどのような問題を抱えていますか。(複数回答可)

日本人教員が ALT の強みを活かそうとしない	265
日本人教員が授業計画するにあたって意見を求めない	176
日本人教員がめったに話しかけてくれない	162
日本人教員が英語を理解できない	119
日本人教員がめったに英語を話さない	109
日本人教員があなたの意見を尊重してくれない	101
その他	166
回答人数	373

(無回答者数 151 人)



日本人教員と問題を抱えていると回答した ALT に、問題の具体的な内容を選択してもらった。最も多かった回答は、「日本人教員が ALT の持つ強みを活かそうとしない」(71%)という点であった。その具体的な内容は「その他」のコメントとして書かれていたが、それには「これまでの教員経験や得意分野に関わらず、現在の勤務校ではテーブルコーダーのような扱いを受けている」といった記述が複数含まれていた。次に多かった回答は、「授業計画において日本人教員から意見を求められない」(47%)と「日本人教員がめったに話しかけてくれない」(43%)であった。これらの回答に共通する点は、両者の交流の不足であるが、その不足に対する問題を解決できないまま生徒の指導にあたっている教育現場の状況が窺える。

「ALT が英語を理解できない」(32%)や「日本人教員がめったに英語を話さない」(29%)という日本人教員の英語力または英語使用に対する態度を指摘する回答も3割前後あった。また、日本人教員に「意見を尊重してもらえない」(27%)と指摘する ALT も3割近くいた。これらの回答から、ALT-日本人教員間で対等の関係を構築できていないことへ問題を感じている ALT の存在が窺われる。

「その他」の回答は、上記の項目についてより詳細に説明しているものがほとんどであった。「日本人教員が忙しくてコミュニケーションを十分に取れない」、「授業の内容を事前に何も教えてくれない」などがあつた。また、ALT との関わりが苦手な日本人教員がいることを言及した上で、日本人教員にも ALT とチームティーチングするトレーニングを受けて欲しいと提案する ALT も複数見られた。

27. 日本人教員との関係について何かありましたら、自由にお書きください。

※この質問項目は自由記述回答方式であるため、本報告書では取り扱わないものとする。

5. ALT と生徒との関係

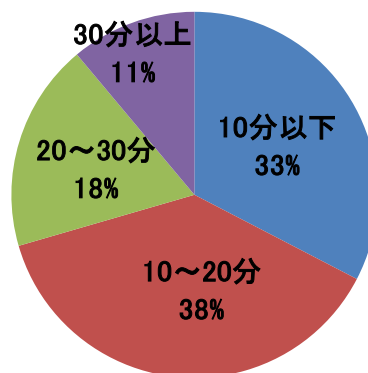
本節では、ALT が授業内外において生徒たちとどのように接しているかについて尋ねた。授業内では、生徒との会話の頻度、使用する言語、注意している点などについて問い、授業外では、会話頻度、使用言語、交流機会について質問した。さらに、生徒との交流で問題と感じる事柄についても聞いた。

図・表5-5-1

28. 1回の授業の中で、あなたがクラス全体に話しかける時間はどれくらいですか。

10 分以下	241
10～20 分	280
20～30 分	136
30 分以上	82
計	739

(無回答者数 150 人)



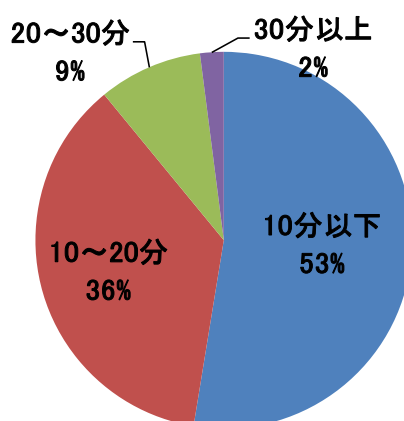
1回の授業の中で、ALT がクラス全体に話しかける時間は、「30分以上」と答えた ALT が全体の11%でいた。一方、最も短い「10分以下」と答えた ALT は、その3倍の33%であった。その中間にあたる「10～20分」が38%で一番多く、「20分～30分」が18%であり、両者を足して5割強となった。

図・表5-5-2

29. 1回の授業につき、単独で作業している生徒ひとりひとりにあなたが話しかける時間はどれくらいですか。

10 分以下	389
10～20 分	270
20～30 分	66
30 分以上	15
計	740

(無回答者数 152 人)



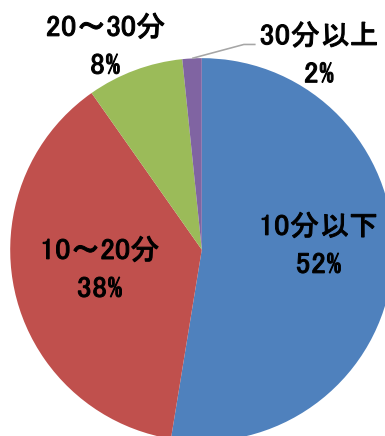
1回の授業において、単独で作業している生徒ひとりひとりに話しかける時間は、「10分以下」と答えた ALT が最も多く、全体の53%を占めている。続いて、「10分～20分」は36%、「20～30分」は9%、最も長い「30分以上」と答えた ALT は全体の2%であった。

図・表5-5-3

30. 1回の授業につき、ペアあるいはグループ作業をしている生徒たちに話しかける時間はどれくらいですか。

10 分以下	388
10～20 分	278
20～30 分	60
30 分以上	12
計	738

(無回答者数 146 人)



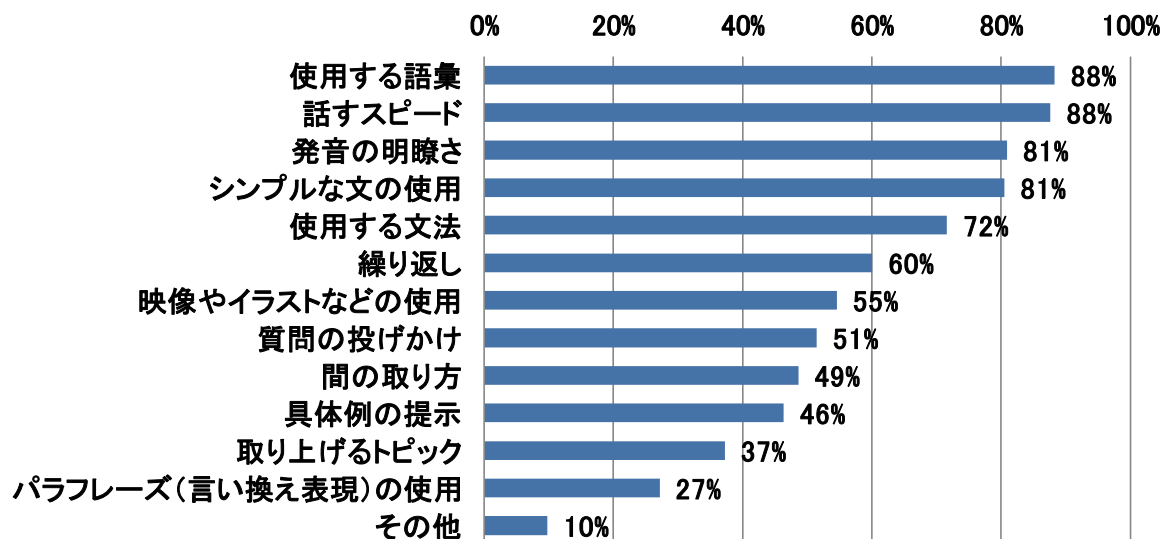
1回の授業につき、ペアあるいはグループ作業をしている生徒たちに話しかける時間を尋ねたところ、「10分以下」と答えた ALT が一番多く、全体の約5割であった。「10分～20分」と答えたALTは38%、「20～30分」は8%、「30分以上」は2%であり、前項と類似した結果となった。

図・表5-5-4

31. 生徒に英語で話しかけると、特に注意している点はなんですか。(複数回答可)

使用する語彙	657
使用する文法	533
取り上げるトピック	277
話すスピード	652
発音の明瞭さ	602
間の取り方	362
シンプルな文の使用	599
繰り返し	447
パラフレーズ(言い換え表現)の使用	202
具体例の提示	345
映像やイラストなどの使用	406
質問の投げかけ	383
その他	73
回答人数	744

(無回答者数 150 人)



生徒に英語で話しかけるときの、特に注意することを複数回答で示してもらった。その結果、「使用する語彙」(88%)、「話すスピード」(88%)、「発音の明瞭さ」(81%)、「シンプルな文の使用」(81%)が示すように、8割強の ALT が生徒にとって理解しやすい英語使用に注意していることがわかった。また、「使用する文法」(72%)にも気をつけているようである。さらには、「繰り返し」(60%)、「映像やイラストなどの使用」(55%)、「質問の投げかけ」(51%)、「間の取り方」(49%)の回答があり、これらから文単位の英語表現に限らず、談話レベルでも生徒の理解を促すような注意をしていることが窺われる。少し頻度は下がるが、「具体例の提示」(46%)や「取り上げるトピック」(37%)といった回答もあった。

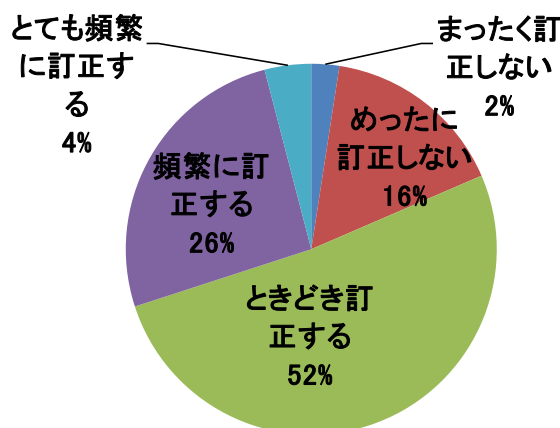
「その他」の代表例としては、「ジェスチャーやビジュアル教材の使用」、「日本語でのサポート」、「イントネーションやアイコンタクトの使用」があった。

図・表5-5-5

32. 生徒が話した英語の間違いに気づいたとき、どのくらい訂正していますか。

まったく訂正しない	18
めったに訂正しない	119
ときどき訂正する	381
頻繁に訂正する	192
とても頻繁に訂正する	30
計	740

(無回答者数 148 人)



生徒の発した英語の間違いをどのくらい訂正するかを聞いたところ、「ときどき訂正する」と答

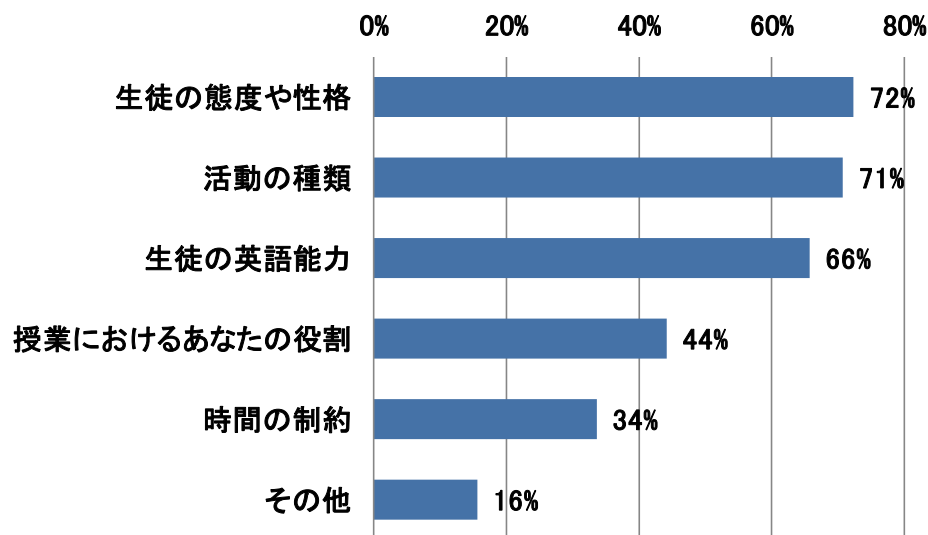
えた ALT は全体の52%で一番多かった。次に、「頻繁に訂正する」がその半分の26%で、これに「とても頻繁に訂正する」(4%)を合わせると、間違い訂正を行う ALT の割合は全体の8割強となった。一方、「めったに訂正しない」(16%)、「まったく訂正しない」(2%)と答えた ALT は2割弱いた。

図・表5-5-6

33. 生徒の間違いを指摘するとき、訂正方法の基準になっているのはなんですか。(複数回答可)

活動の種類	522
生徒の態度や性格	534
生徒の英語能力	485
時間の制約	248
授業におけるあなたの役割	326
その他	115
回答者数	738

(無回答者数 152 人)



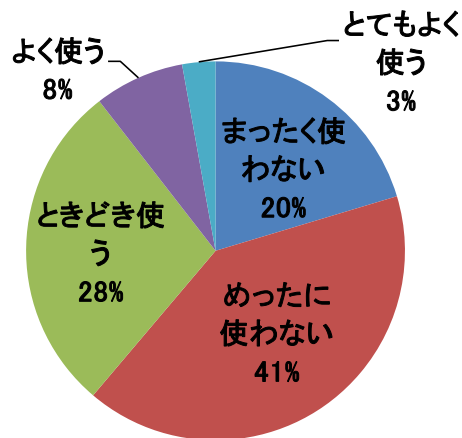
間違い訂正方法の基準について、複数回答から選んでもらった。上位を占めた回答は、「生徒の態度や性格」(72%)と「活動の種類」(71%)であった。次に「生徒の英語能力」を基準に挙げた ALT が6割いた。自身の授業における役割を訂正の基準に選んだのは、4割であった。「その他」(16%)の回答には、ALT によって様々で、「個別の生徒のモチベーションの高さ」、「意思疎通可能な発話であるかどうか」、「授業における学習項目であるかどうか」などが挙げられた。

図・表5-5-7

34. 授業中、どのくらい日本語を使っていますか。

まったく使わない	151
めったに使わない	303
ときどき使う	210
よく使う	57
とてもよく使う	21
計	742

(無回答者数 149 人)



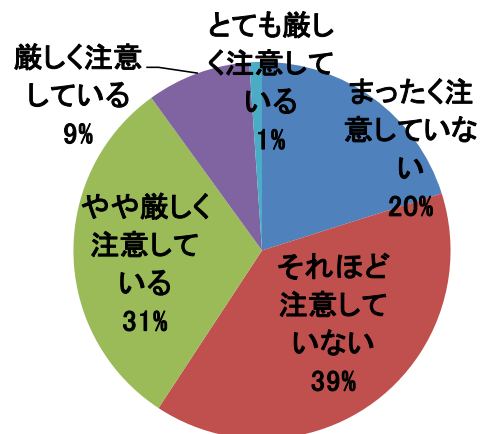
授業中における日本語使用の頻度について尋ねたところ、「めったに使わない」(41%)が一番多く、「まったく使わない」(20%)と合わせると、6割の ALT が日本語をほとんど使っていないことがわかった。一方、「とてもよく使う」(3%)、「よく使う」(8%)は、全体の1割にとどまった。中間にあたる「ときどき使う」は約3割であった。全体的に見て、ALT の授業中の日本語使用は少ないようである。

図・表5-5-8

35. 授業内での生徒の日本語の使用について、どれくらい厳しく注意をしていますか。

まったく注意していない	149
それほど注意していない	290
やや厳しく注意している	228
厳しく注意している	66
とても厳しく注意している	8
計	741

(無回答者数 152 人)



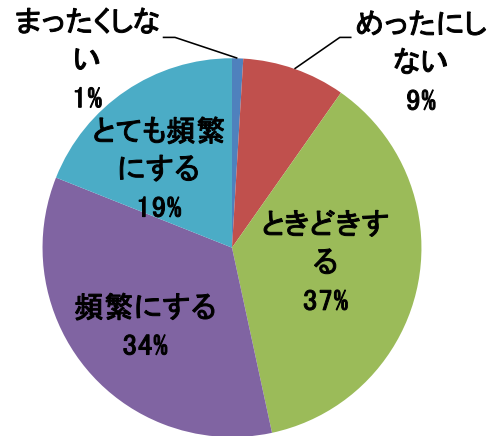
今度は、生徒の日本語使用に対する ALT の態度について尋ねた。「それほど注意していない」(39%)が一番多い回答であったが、それに次いで「やや厳しく注意している」(31%)との回答も3割あった。一方、両極端に「まったく注意していない」が2割、「(とても)厳しく注意している」が全体の1割を占めた。

図・表5-5-9

36. 授業外で、生徒とどれくらい英語で会話をしていますか。

まったくしない	7
めったにしない	65
ときどきする	272
頻繁にする	254
とても頻繁にする	140
計	738

(無回答者数 148 人)



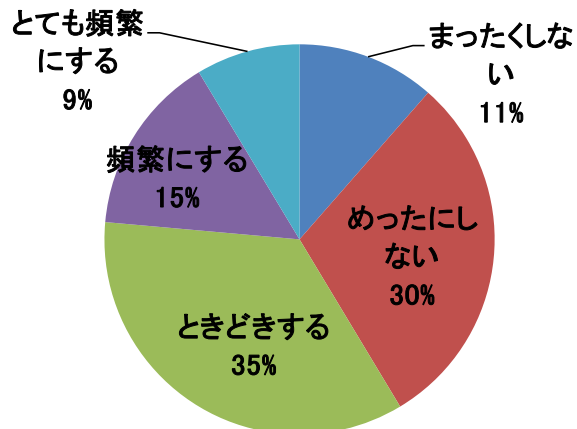
授業外での生徒との英語での交流の頻度を尋ねたところ、「ときどきする」が37%、「頻繁にする」が34%、「とても頻繁にする」が19%で、これらを足すと9割の ALT が授業外でも生徒と英語で話していることがわかった。一方、「めったにしない」(9%)と「まったくしない」(1%)と答えた ALT の割合は1割であった。

図・表5-5-10

37. 授業外で、生徒とどれくらい日本語で会話をしていますか。

まったくしない	85
めったにしない	222
ときどきする	260
頻繁にする	111
とても頻繁にする	64
計	742

(無回答者数 176 人)



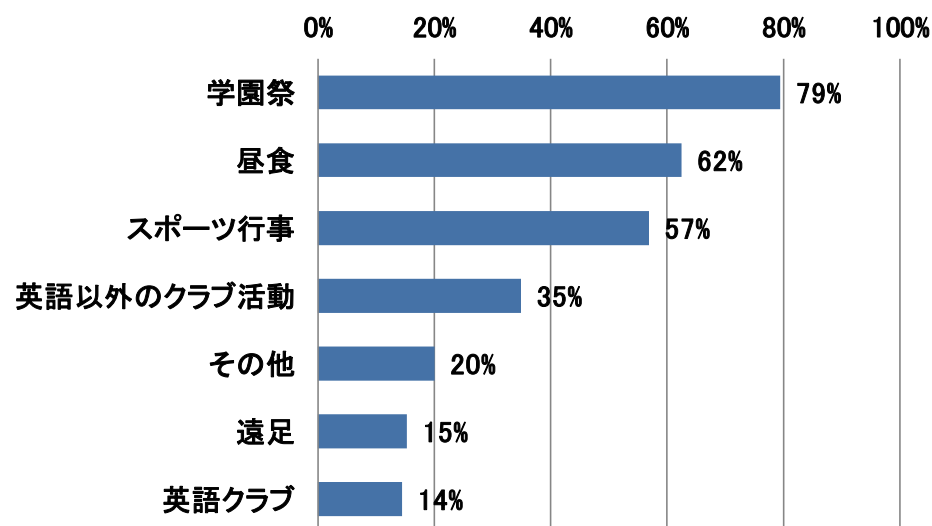
授業外における生徒との日本語での会話は、「ときどきする」(35%)が一番多い回答であった。「頻繁にする」(15%)、「とても頻繁にする」(9%)という回答もあり、これら全てを合わせると、約6割の ALT が生徒と日本語で会話を持っていることがわかった。一方、「めったにしない」(30%)もしくは「まったくしない」(11%)が4割を占めた。

図・表5-5-11

38. どのようなイベントや活動を生徒と一緒にしていますか。(複数回答可)

昼食	446
英語クラブ	103
英語以外のクラブ活動	249
学園祭	567
遠足	109
スポーツ行事	406
その他	143
回答人数	714

(無回答者数 176 人)



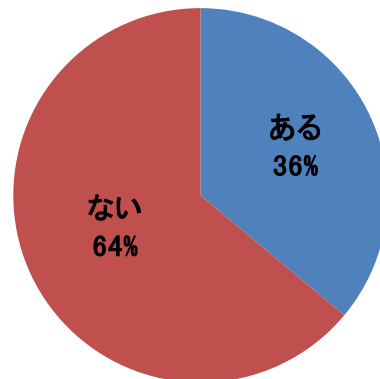
ALT が生徒と共に行う活動として、「学園祭」(79%)、「昼食」(62%)、「スポーツ行事」(57%)を挙げる ALT が多くいた。割合は下がるが、「(英語以外の)クラブ活動」(35%)、「遠足」(15%)、「英語クラブ」(14%)を選んだALTもいた。「その他」(20%)の回答には、「英語スピーチコンテスト」や「英検二次試験の練習」が数多く含まれていた。上の質問項目からは参加の頻度や時間数はわからないが、多くの ALT が授業外でも日常的な活動や特別な学校行事を通して生徒と触れ合う機会を持っていることがわかった。

図・表5-5-12

39. 生徒たちとの関係で、何か問題を感じることはありますか。

ある	268
ない	475
計	743

(無回答者数 147 人)



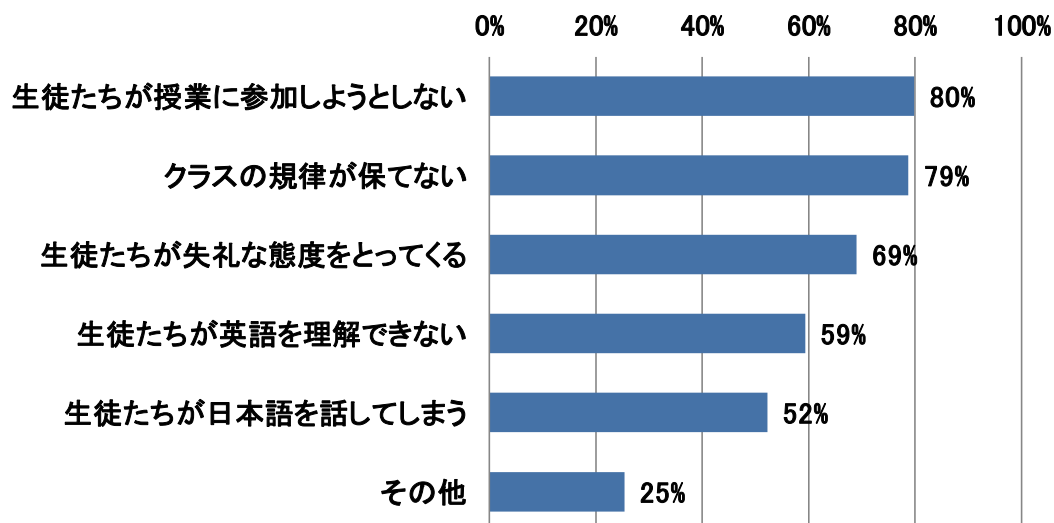
生徒たちとの関係で問題を感じることもあるか聞いたところ、4割弱の ALT が「ある」(36%)、6割強が「ない」(64%)と答えた。半数以上の ALT は特に問題を感じていないようであるが、問題があると感じている ALT には、次の質問で具体的な問題について尋ねた。

図・表5-5-13

40. 生徒たちとの関係で、どのような問題を感じていますか。(複数回答可)

生徒たちが英語を理解できない	159
生徒たちが日本語を話してしまう	140
生徒たちが失礼な態度をとってくる	185
生徒たちが授業に参加しようとしてしない	214
クラスの規律が保てない	211
その他	68
回答人数	268

(無回答者数 622 人)



生徒との問題で一番多かったのは、「生徒たちが授業に参加しようとしなない」(80%)であった。「クラスの規律が保てない」(79%)ということも同程度問題視されており、次いで「生徒たちが失礼な態度をとってくる」(69%)と回答した ALT も7割いた。また、「生徒たちが英語を理解できない」(59%)、「生徒たちが日本語を話してしまう」(52%)とコミュニケーション上の問題も半数以上の ALT から指摘された。

「その他」の回答には上記の回答と重複するものが多かったが、具体的には、「ADD や ADHD を持つ生徒がいた」、「不適切な質問をしたり、やたらと ALT に触りたがる」、「暴言を言う」といったことが挙げられた。

41. 生徒たちとの関係について、普段感じていることを自由にお書きください。

※この質問項目は自由記述回答方式であるため、本報告書では取り扱わないものとする。

6. 本章のまとめ

本章で報告してきた中学校で働く ALT のアンケート結果を総合して考えると、ALT の働く現状の「光」と「影」と言える部分が見えてくる。ALT として働くことに備えるための研修には、その頻度や種類に違いはあるにせよ、かなりの割合の ALT が受講しており、今後もさらに受けたいと考える ALT は8割を越している。学校の ALT に対する期待の理解、そして自身の期待と学校からの期待との合致を感じている ALT も8割に上る。さらには、7割以上の ALT が自分の強みをそれなりに活用されていると感じ、日本人教員の存在意義やメリットについても認識し、共にアクティビティやタスクについて計画していきたいと感じている。総じて、ALT の日本の英語教育に対しての貢献意欲の高さを感じられる結果となっている。

その一方で、日本人教員との交流やコミュニケーション不足を感じる ALT も4割おり、日本人教員との問題を抱えていると感じている ALT は5割に上る。同様に、生徒との問題を感じる ALT も4割弱おり、問題はコミュニケーションに関するものだけでなく、クラス運営や規律、態度といったことにまで及んでいる。ALT の授業計画における裁量権は、7割が半分またはそれ以下であり、実際に ALT の教室での役割はまだまだ限定的なものが多いようである。もっと自分たちの強みを理解してほしい、意見を聞いてほしい、尊重してほしい、と感じているにもかかわらず、なんらかの理由で日本人教員と十分に交流が持てていないと感じている ALT も4割弱存在する。こういった問題は「影」というよりも、今後の「課題」また「改善点」と捉えられるべきであろう。それは ALT に関係する者全てが、今後もっと真剣に見つめ直さなければいけない課題でもある。

上に、7割以上の ALT が自分の強みを活用されていると感じていると記したが、本報告書には含まれていない現在進行中の分析では、この問題についてより詳しく追究されている。すなわち、ALT の活用度に関する問いの答えが、第3章の10で問われた ALT 勤務形態とどのように関連しているのかを調べている。その結果、日本人教員と協働ではなく、役割分担制で行う ALT は、それ以外の形態(協働チームティーチングや単独授業)で授業を行う ALT よりも、活用されていると感じる割合が有意に低くなっていることが判明している。同様の分析を学校の期待と自身の期待との合致度についても行ったところ、分担制でチームティーチングを行う ALT はそれ以外の形態で授業を行う ALT よりも、自身と学校との期待の合致度が有意に低く

なっている。さらに、こういった状況に置かれている ALT は、授業内だけでなく、授業外でも日本人教員との交流が少ない傾向がある。現在分析中の自由記述の中では、「教える授業内容について授業直前まで知らされない」、「授業中は人間テープ／CD プレーヤーとして扱われている」、「日本人教員に一人前の教員として扱われていないため、生徒から尊敬されない／軽んじられる」といったコメントを記す ALT も少なからずいる。彼らはまさに交流不足のため、学校で孤立してしまっている恐れがあり、問題の深刻さを感じずにはおれない。

こういった問題の解決のために重要な問いとして、「なぜ日本人教員と ALT が十分なコミュニケーションができていないのか」ということがある。忙しいから、契約の制約から、気後れしているから、遠慮して、またはコンプレックスをいだいているからなど、ALT 側、日本人教員側、もしくは双方が感じているかもしれない様々な可能性が考えられよう。ALT の現状について、このアンケート結果を越えてもっとわからなければならない点はまだまだあるが、同時に、日本人教員は ALT についてどう思っているのか、ALT をどの程度理解できているのか、どれくらい ALT と交流があり、ALT に何を期待しているのか等々、日本人教員サイドの調査も今後必要になってくるだろう。そういった結果と重ねあわせて分析していく中で、日本人教員と ALT がお互いに歩み寄った指導ができるための具体的な方策が見えてくるのではないだろうか。全ての教員の仕事の満足度の向上のためにも、そして双方の豊かな交流が授業にも十分反映され、生徒達に還元されていくためにも、本章で報告したアンケート結果を出発点として、今後も多方面からの努力を続けていかなければならないだろう。

* 質問項目42「ALTとしてどんな科目を担当したことがありますか。担当したことがある科目をすべて教えてください。」は自由記述回答方式であるため、本報告書では取り扱わない。

第6章 高等学校アンケート結果のまとめ

本章では、高等学校でのアンケート調査結果を報告する。

高等学校で教えている ALT を対象にした調査では、英語のコミュニケーション能力の育成を重視する『高等学校学習指導要領』の教育目標に鑑み、「状況や相手に応じた適切な言語運用の指導に ALT がどのように携わっているか」という観点から、調査項目を選定した。

以下、1～5節にてアンケートの質問項目の順番に結果を示していく。

1. 適切な言語運用に関する関心・意識・知識について
2. 生徒の適切でない言語運用への対応について
3. 日本人教員の適切でない言語運用への対応について
4. 授業方法について
5. 授業で提供される適切な言語運用に関する誤った情報について

1. 適切な言語運用に関する関心・意識・知識について

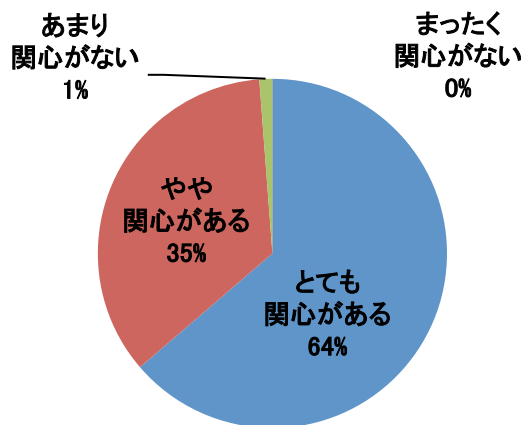
本節では、「適切な言語運用」に対する関心や授業への意識、関連する専門知識の有無など、ALT 自身に関する質問項目の調査結果をまとめる。

図・表6-1-1 言語運用への関心

1. あなたは英語やその他の言語での適切な言語運用について関心がありますか。

とても関心がある	165
やや関心がある	91
あまり関心がない	3
まったく関心がない	0
計	259

(無回答者数 3 人)



まず、場面や相手に応じた「適切な言語運用」に関心を持っているかについては、「とても関心がある」が64%、「やや関心がある」が35%と、合わせて99%の ALT が関心を持っていると回答した。「まったく関心がない」と答えた ALT は一人もいなかった。

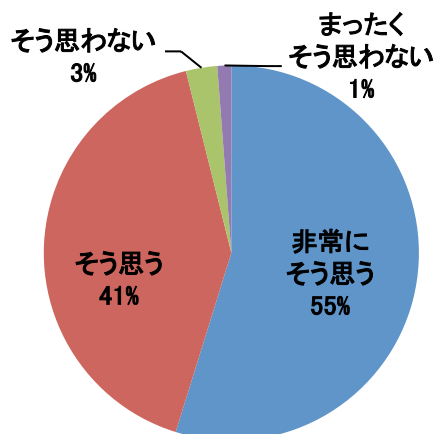
この結果から、ALT のほぼ全員が言語知識(文法知識)だけでなく、言語の運用の側面に関心を持っていることがわかった。

図・表6-1-2 言語運用を授業で扱うことについての意識

2. 日本での中学校／高等学校の英語の授業において、適切な言語運用について扱うべきだという議論がありますが、あなたはどのように思いますか。

非常にそう思う	142
そう思う	107
そう思わない	7
まったくそう思わない	3
計	259

(無回答者数 3 人)



適切な言語運用を日本の学校英語教育の授業で扱うべきかという質問については、過半数(55%)が「非常にそう思う」と答えた。「そう思う」の41%と合わせると、96%のALTが英語の適切な言語運用を中学校・高等学校の授業で指導するべきだと考えていることがわかった。

この結果から、生徒が適切に言語を運用する能力を身に付けることの重要性を、ほとんどのALTが強く認識していることが窺われる。

3. 質問項目2でそう答えた理由を説明してください。

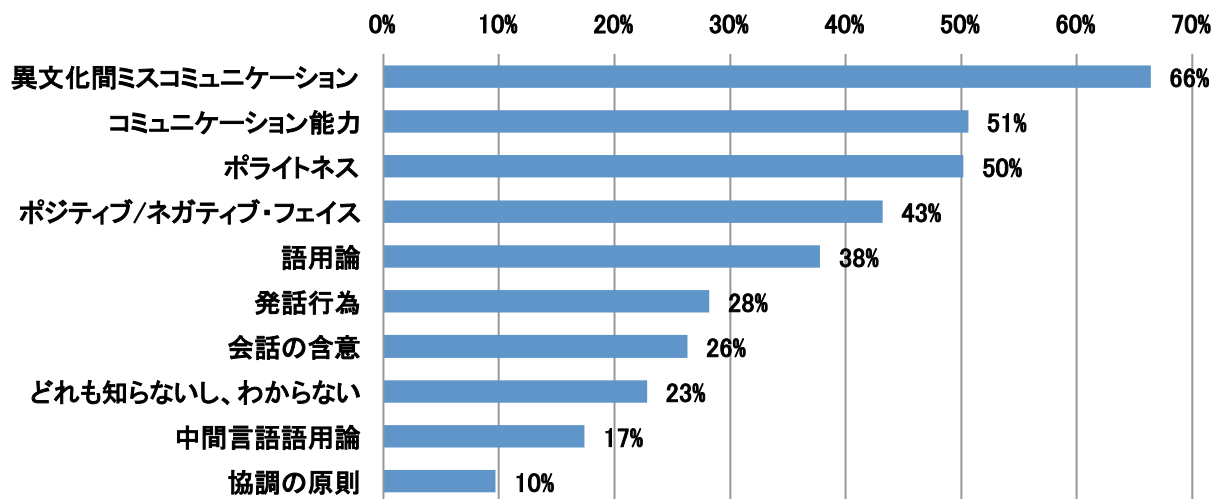
※この質問項目は自由記述回答方式であり、現在分析中のため、本報告書では取り扱わないものとする。

図・表6-1-3 言語運用に関連する概念に関する知識

4. 以下の言語学用語のうち、その用語を知っていて、その概念を理解しているものを選んでください。(複数回答可)

異文化間ミスコミュニケーション(Cross-Cultural Miscommunication)	172
コミュニケーション能力(Communicative Competence)	131
ポライトネス(Linguistic Politeness)	130
ポジティブ/ネガティブ・フェイス(Positive / Negative Face)	112
語用論(Pragmatics)	98
発話行為(Speech Acts)	73
会話の含意(Conversational Implicature)	68
どれも知らないし、わからない	59
中間言語語用論(Interlanguage Pragmatics)	45
協調の原則(Interlanguage Pragmatics)	25
回答者数	259

(無回答者数 3 人)



ALT が言語運用についての専門的な知識を持っているかを知るため、言語運用に関連する学術用語を知っていて、その概念を理解しているか質問をした。ここで取り上げた用語は「語用論」「発話行為」「会話の含意」「ポライトネス」「異文化間ミスコミュニケーション」「ポジティブ／ネガティブ・フェイス」「コミュニケーション能力」「中間言語語用論」「協調の原則」の9つである。

これらの用語の中で ALT が最もよく知っていたのは、「異文化間ミスコミュニケーション」で66%が理解していると答えた。次に多かったのは、「ポライトネス」と「コミュニケーション能力」の50%、次いで「ポジティブ／ネガティブ・フェイス」の43%であった。「中間言語語用論」と「協調の原則」以外の全ての専門用語を20%以上の ALT が知って（理解して）おり、これらのいずれも知らないと答えた ALT の割合は23%にとどまった。

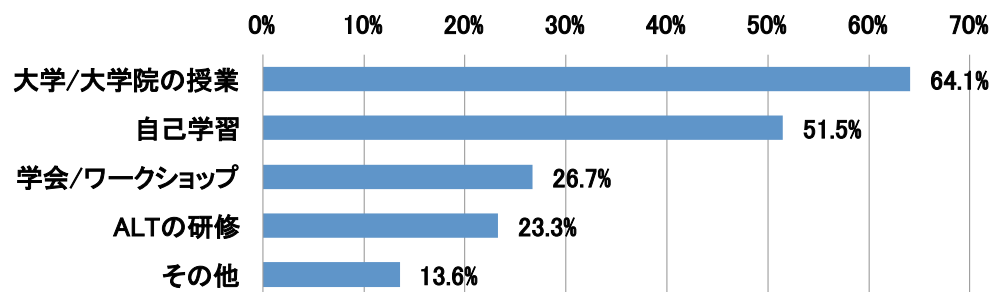
このことから、高等学校で教えている ALT の8割近くは、適切な言語運用に関する専門用語とその概念を学んだことがあり、これらのうちのいくつかについては専門的な知識を持っていることがわかった。

図・表6-1-4 言語運用に関連する概念をどこで学んだか

5. 質問項目4で「どれも知らないし、わからない」以外を選ばれた方、それをどこで学びましたか。（複数回答可）

大学/大学院の授業	132
自己学習	106
学会/ワークショップ	55
ALT の研修	48
その他	28
回答者数	206

（無回答者数 56 人）



次に、上述の専門用語のいずれかを知っていて、理解していると答えた ALT に対して、それらをどこで学んだか質問した。「大学／大学院の授業」が最も多く64%で、「自己学習(本や教科書など)」(52%)、「学会／ワークショップ」(27%)と続いた。また、「その他」としては、「インターネット検索」・「同僚から」などの回答が見られた。

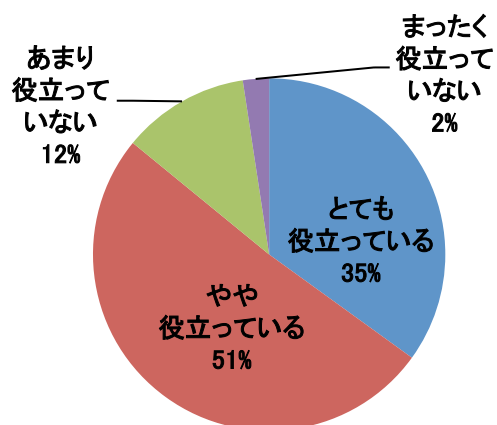
このように、大学や大学院の授業を通してだけでなく、学会やワークショップへの参加や独学を通してこうした専門知識を身に付けたという回答もかなり多いことから、ALT が自ら積極的に言語運用に関する専門知識を学ぼうと努力している姿が窺える。

また、「ALT の研修」と答えた ALT が23%いることから、ALT 研修で適切な言語運用に関する知識が取り扱われていることも示唆された。

図・表6-1-5 言語運用に関連する概念についての知識は英語を教える上で役に立っているか
6. 質問項目4で「どれも知らないし、わからない」以外を選ばれた方、その概念についての知識は英語を教える上で役立っていますか。

とても役立っている	72
やや役立っている	105
あまり役立っていない	24
まったく役立っていない	5
計	206

(無回答者数 56 人)



こうして身に付けた言語運用に関連する用語(概念)の知識が、実際に英語を教える上で役に立っているかについては、「とても役に立っている」(35%)、「やや役に立っている」(51%)を合わせて、9割近い ALT が役に立っていると感じていると回答した。

この結果から、ALT が実際の授業を行なう上で、これらの専門知識をある程度活用している様子が窺われる。

7. 質問項目4で選んだ概念のうち、どれが英語を教える上で役立っているか、また、どのように役立っているかを説明してください。例：“The idea of Speech Acts is useful when teaching conversation such as how to make a request(「発話行為」の概念は、どのように頼みごとをするかなど、会話を教える際に役立っています).”

※この質問項目は自由記述回答方式であるため、本報告書では取り扱わない。

2. 生徒の適切でない言語運用への対応について

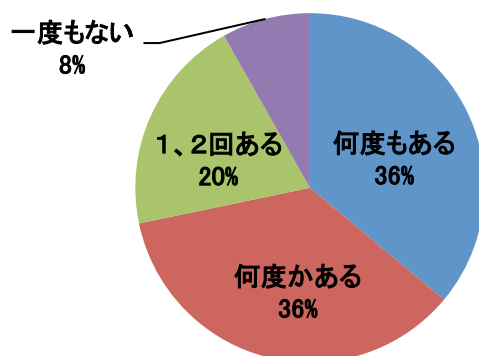
本節では、ALTと生徒が英語で会話をしている場面で、生徒の話し方が適切でなかった際のALTの対応に関する調査結果をまとめる。

図・表6-2-1 生徒の適切でない言語運用

8. 生徒と話しているとき、その生徒の話し方が適切ではないと感じたことはありますか。

何度もある	88
何度かある	87
1、2回ある	49
一度もない	20
計	244

(無回答者数 18 人)



生徒と話しているとき、その生徒の話し方が適切ではないと感じたことがあるALTは全体の9割以上に達した。そのうち、「何度もある」と「何度かある」がそれぞれ36%を占めていることから、生徒がALTに対して適切でない話し方を頻繁にしている様子が窺われる。

9. 質問項目8で「一度もない」以外を選ばれた方、生徒の言ったことがどのように、そしてなぜ適切でなかったのか、3つまで例を挙げてください。

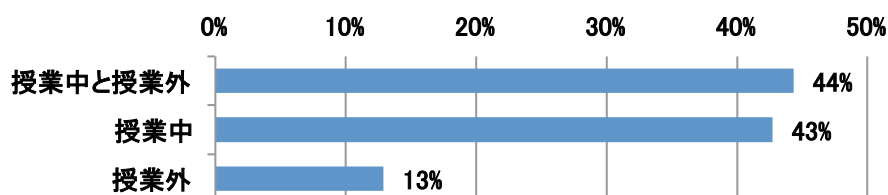
※この質問項目は自由記述回答方式であるため、本報告書では取り扱わない。

図・表6-2-2 生徒の適切でない言語運用の発生状況

10. 生徒と話しているとき、その生徒の話し方が適切ではないと感じたことがある方、それはどのような状況でのことですか。(複数回答可)

授業中と授業外	165
授業中	159
授業外	48
回答者数	174

(無回答者数 88 人)



生徒の話し方が適切ではないと感じたことがあると回答した ALT に、そうした不適切な言語運用がどのような状況で生じたかを質問した。結果は、「授業中」が43%、「授業外」が13%、「授業中と授業外」が44%であった。「授業外」より「授業中」のほうが多いのは、生徒が授業外で ALT と話す機会がさほど多くないということであろうか。

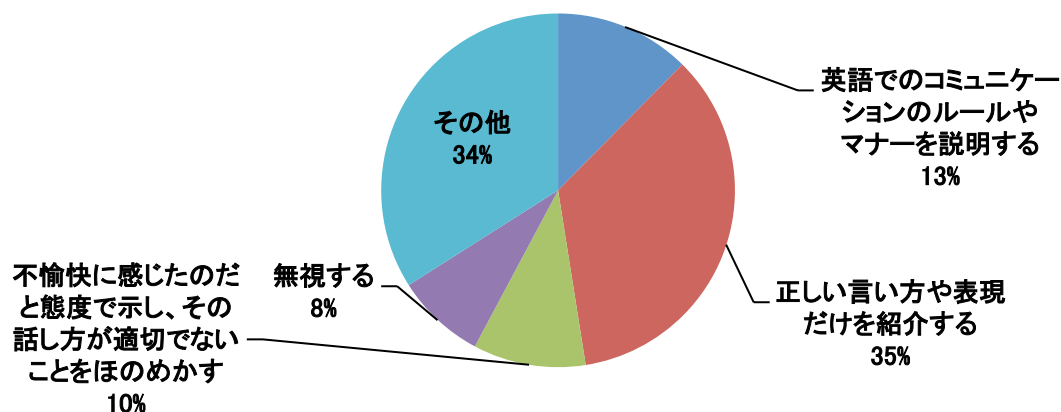
この結果から、生徒は授業外で ALT と自然な会話をしているときだけでなく、授業中の発話(会話の練習など)においても適切でない話し方で英語を話してしまっている様子が窺われる。

図・表6-2-3 生徒の適切でない言語運用への対応

11. 生徒の話し方が適切でないと感じたとき、あなたがよく取る対応はどれですか。

英語でのコミュニケーションのルールやマナーを説明する	24
正しい言い方や表現だけを紹介する	68
不愉快に感じたのだと態度で示し、その話し方が適切でないことをほのめかす	20
無視する	16
その他	66
計	194

(無回答者数 68 人)



次に、生徒の話し方が適切でないと感じたとき、どのような対応をとるかを質問した。

選択肢の「英語でのコミュニケーションのルールやマナーを説明する」は、生徒の話し方がなぜ不適切なのか、適切な言い方は何かを、英語のルールやマナーを言葉で説明することによって生徒に理解させるやり方であり、最も明示的な指導方法である。「正しい言い方や表現だけを紹介する」は、英語のルールなどの説明はせずに適切な言い方や表現だけを示すやり方であり、生徒は適切な言い方は学べるが自分の話し方が不適切だった理由を知ることはできない。「不愉快に感じたのだと態度で示し、その話し方が適切でないことをほのめかす」は、生徒の話し方が適切ではないことを暗示するだけなので、そのことに気がつかない生徒もいる可能性があり、気がついた生徒も適切な言い方や表現を学習することはできない。「無視する」は、生徒の発話に不適切な話し方があっても、その点には反応せずに会話を進めるやり方であり、生徒は自己の発話の不適切さに気づくことはない。

ALT の回答で最も多かったのは「正しい言い方や表現だけを紹介する」(35%)で、それ以外の回答は1割前後でほぼ横並びであった。また、「その他」としては、「不適切な表現だと伝える」・「状況によって異なる」などの回答が見られた。

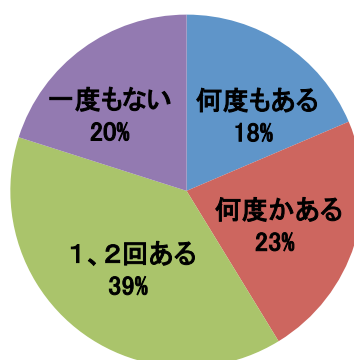
この結果から、生徒は適切でない話し方をしてしまったときに、ALT から言い方を直される機会、特に英語の適切な言語運用に関するルールを教えられる機会があまりないことが窺われる。こうした背景には、授業の流れを断ち切りたくない、授業外でせつかく積極的に話しかけてきてくれた生徒のモチベーションを損ないたくないという ALT の配慮があるのかもしれない。

図・表6-2-4 生徒の適切でない言語運用についての情報共有

12. 日本人教員と、生徒の適切でない話し方について情報を共有することがありますか。

何度もある	36
何度かある	44
1、2回ある	75
一度もない	39
計	194

(無回答者数 68 人)



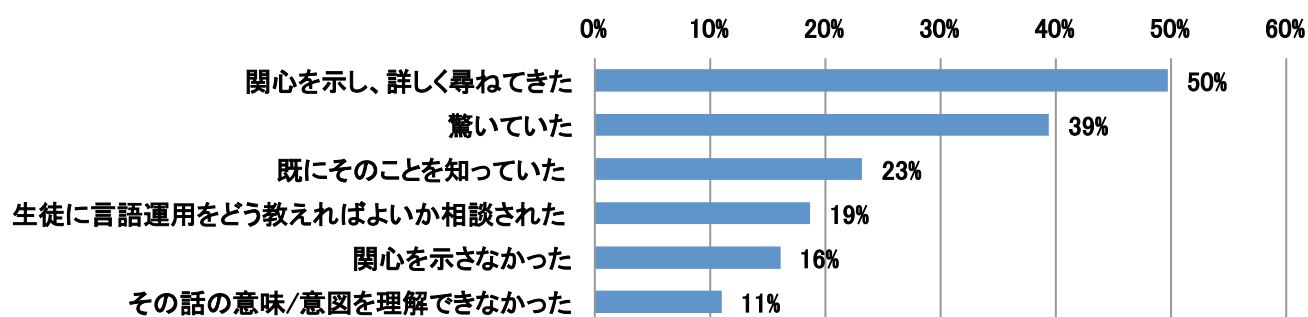
生徒の適切でない話し方について、8割のALTが日本人教員と情報を共有していることがわかった。さらに、「何度もある」(18%)、「何度かある」(23%)と回答したALTの割合は合わせて4割を超えることから、こうした生徒の適切でない言語運用を問題だと認識し、日本人教員と積極的に情報を共有することで授業の改善に繋げようと努力しているALTも多いことが窺われる。

図・表6-2-5 生徒の適切でない言語運用についての情報共有

13. 生徒の適切でない話し方について日本人教員に話したとき、その教員はどのような反応をしましたか。(複数回答可)

既にそのことを知っていた	77
関心を示し、詳しく尋ねてきた	61
驚いていた	36
関心を示さなかった	29
生徒に言語運用をどう教えればよいか相談された	25
その話の意味/意図を理解できなかった	17
その他	26
回答者数	155

(無回答者数 107 人)



生徒の適切でない言語運用について情報を共有した際の日本人教員の反応で最も多い回答は「既にそのことを知っていた」(50%)であり、「驚いていた」(23%)の倍以上であることから、「適切な言語運用」に関する意識を高く持ち、こうした観点から生徒の発話を注意深く観察している日本人教員もかなりいることが窺われる。

また、「関心を示し、詳しく尋ねてきた」(39%)と「生徒に言語運用をどう教えればよいか相談された」(16%)の合計が約5割である一方で、「関心を示さなかった」(19%)と「その話の意味/意図を理解できなかった」(11%)の合計が約3割であることから、日本人教員には「適切な言語運用」に関心を持ち、授業に活かそうと考えている人も多いが、言語運用には関心がない、あるいはそもそも英語のそうした側面を意識していない日本人教員もかなりの数いることが示唆される。

3. 日本人教員の適切でない言語運用への対応について

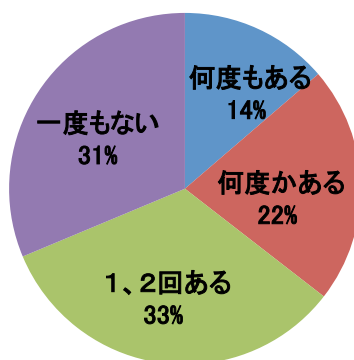
本節では、ALT と日本人教員が英語で会話をしている場面で、日本人教員の話し方が適切でなかった際の ALT の対応に関する調査結果をまとめる。

図・表6-3-1 日本人教員の適切でない言語運用

14. 日本人教員と話しているとき、その人の話し方が適切ではないと感じたことはありますか。

何度もある	29
何度かある	46
1、2回ある	70
一度もない	66
計	211

(無回答者数 51 人)



日本人教員と話しているとき、その教員の話し方が適切ではないと感じたことがあるかという質問に対しては、「何度もある」が14%、「何度かある」が22%、「1、2回ある」が33%で、合計すると約7割の ALT が日本人教員の話し方に不適切さを感じたことがあることがわかった。生徒の場合(92%)と比べると少ないが、日本人教員も ALT に対して適切でない話し方をしていることが示唆される。

15. 質問項目14で「一度もない」以外を選ばれた方、日本人教員の言ったことがどのように、そしてなぜ適切でなかったのか、3つまで例を挙げてください。

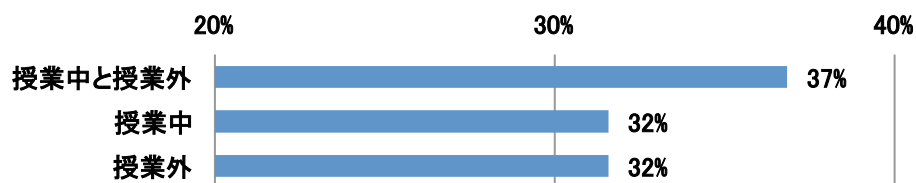
※この質問項目は自由記述回答方式であるため、本報告書では取り扱わない。

図・表6-3-2 日本人教員の適切でない言語運用の発生状況

16. 日本人教員と話しているとき、その人の話し方が適切ではないと感じたのは、どのような状況のことですか。(複数回答可)

授業中と授業外	84
授業中	72
授業外	72
回答者数	119

(無回答者数 143 人)



日本人教員の話し方が適切ではないと感じたことがあると回答した ALT に、そうした不適切な言語運用がどのような状況で生じたかを質問した。結果は、「授業中」が31%、「授業外」が32%、「授業中と授業外」が37%であった。

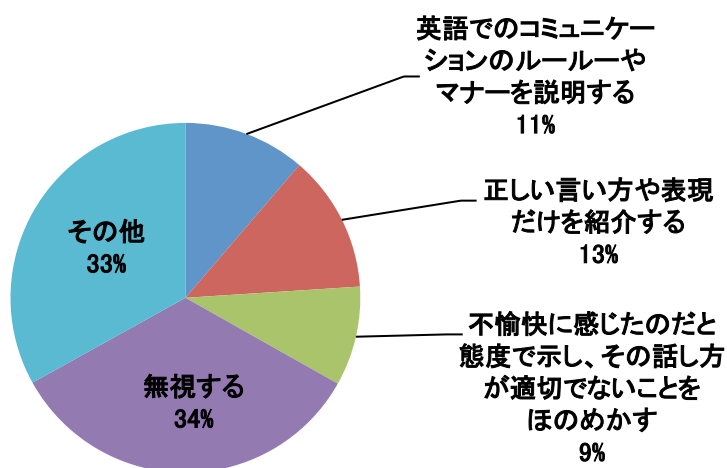
生徒よりも「授業外」の割合が多い理由は、日本人教員は打合せや授業の前後に ALT と会話をする機会が頻繁にあるからであろうと推察されるが、こうした状況で適切でない話し方をしている日本人教員が多いことが窺われる。また、「授業中」と「授業中と授業外」を合わせて7割近くの ALT が授業中の日本人教員の不適切な言語運用を報告しているが、授業中の教師の発話は生徒のモデル（習得のためのインプット）になることを考えると問題であると言えよう。

図・表6-3-3 日本人教員の適切でない言語運用への対応

17. 日本人教員の話し方が適切でないと感じたとき、あなたがよく取る対応はどれですか。

英語でのコミュニケーションのルールやマナーを説明する	16
正しい言い方や表現だけを紹介する	18
不愉快に感じたのだと態度で示し、その話し方が適切でないことをほのめかす	13
無視する	48
その他	47
計	142

(無回答者数 120 人)



日本人教員の話し方が適切でないと感じたとき、どのような対応をとるかという質問に対して最も多い回答は、「無視する」で、全体の3分の1を占めた。また、「その他」も3分の1あり、「生徒がいないところで訂正する」・「状況によって異なる」などの回答が見られた。それ以外の回答は1割前後でほぼ横並びであった。

生徒の場合と比較すると、「その他」の割合は変わらないが、「無視する」は4倍強（生徒では8%）に増え、反対に「正しい言い方や表現だけを紹介する」が約3分の1（生徒では35%）に減っている。

この結果から、生徒の場合と異なり、相手が教員の場合はたとえ不適切な話し方をしていても、そのまま聞き流す傾向が高いことが明らかになった。相手が教員の場合には職場での人間関係なども考慮し、不適切さを指摘することにより相手の面子を傷つけてしまうことを避けようとしているのかもしれない。特に授業中の場合には、生徒の前で日本人教員に恥をかかせるわけにはいかないという配慮を優先している可能性も考えられよう。

4. 授業方法について

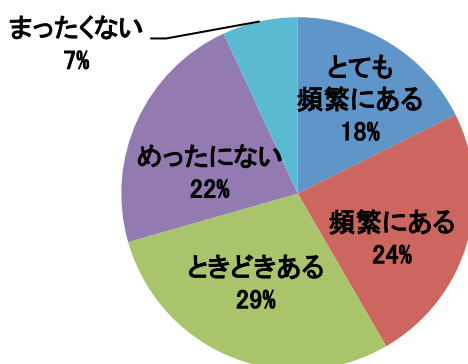
本節では、英語の適切な言語運用について ALT が授業でどのような教え方をしているかについての調査結果をまとめる。

図・表6-4-1 適切な言語運用を学習目標の一つとして教える頻度

18. あなたの授業で、学習目標の一つとして適切な言語運用を教えることはどれくらいありますか。

とても頻繁にある	36
頻繁にある	49
ときどきある	59
めったにない	46
まったくない	14
計	204

(無回答者数 58 人)



授業の学習目標の一つとして、英語の適切な言語運用を教える頻度について、教えると答えた ALT は、「とても頻繁にある」(18%)、「頻繁にある」(24%)、「ときどきある」(29%)を合計すると、全体の約7割を占めた。一方で、「めったにない」(22%)、「まったくない」(7%)と答えた人を合計すると全体の約3割になった。

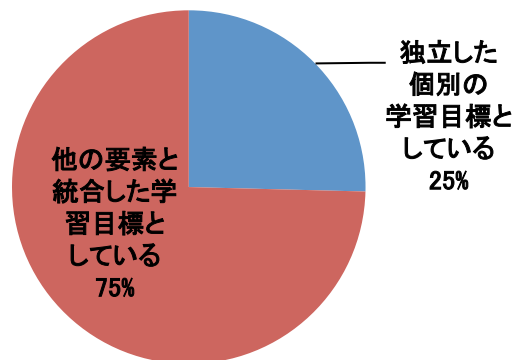
項目1において、場面や相手に応じた「適切な言語運用」に「まったく関心がない」と答えた ALT は0%であったこと、そして項目2においては96%が英語の適切な言語運用を中学校・高等学校の授業で教えるべきだと考えていることが示されているが、このことを考えると、何らかの障害によって3割のALTは適切な言語運用について関心があり、それを教えることの重要性を知りながら、授業で教えることができていない可能性が考えられる。

図・表6-4-2 英語の適切な言語運用をどのように学習目標として扱っているか

19. 質問項目18で「まったくない」以外を選ばれた方、英語の適切な言語運用を独立した個別の学習目標としていますか、それとも語彙や文法など他の要素と統合した学習目標としていますか。

独立した個別の学習目標としている	36
文法の指導など、他の要素と統合した学習目標としている	106
計	142

(無回答者数 58 人)



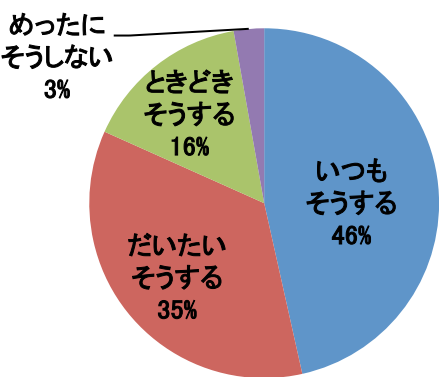
次に、先の項目18で「まったくない」以外を選んだ ALT に対して、英語の適切な言語運用をどのように学習目標として扱っているかを尋ねた。その結果、文法、発音、語彙などの他の要素と統合した目標として教えていると答えた ALT が75%、独立した個別の学習目標として教えていると答えた ALT が25%であった。

この結果から、4分の1の ALT が言語運用に焦点を当てた授業をしている一方で、4分の3の ALT は授業の中で文法などを教える際に、適切な言語運用についても触れるように工夫している様子が窺われる。

図・表6-4-3 授業で英語の適切な言語運用のモデルダイアログを提示するか
20. 質問項目18で「まったくない」以外を選ばれた方、英語の適切な言語運用を授業で教えるときにはモデルダイアログで生徒に具体的な例を示しますか。

いつもそうする	66
だいたいそうする	50
ときどきそうする	22
めったにそうしない	4
計	142

(無回答者数 120 人)



この項目では、項目18で「まったくない」以外を選んだ ALT に対して、英語の適切な言語運用を授業で教えるときにはモデルダイアログで生徒に具体的な例を示すかを質問した。その結果、「いつもそうする」が46%、「だいたいそうする」が35%、「ときどきそうする」が16%、「めったにそうしない」が3%であった。

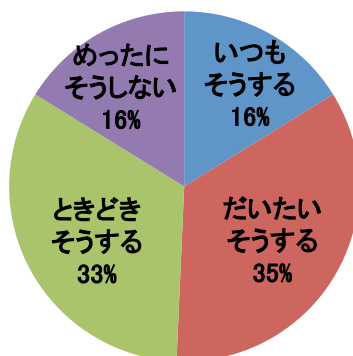
外国語の習得においてはその言語のインプットをなるべく多く得ることの重要性が指摘されているが、「いつもそうする」、「だいたいそうする」を合計すると、英語の適切な言語運用を学習目標の一つとして教えている ALT の8割は、高い頻度で英語の適切な言語運用を含むインプットを生徒に示していることが示唆される。

図・表6-4-4 言語運用の決まりについて詳しく説明するか

21. 質問項目18で「まったくない」以外を選ばれた方、授業で適切な言語運用を扱うとき、特定の場面での言語運用の決まりについて詳しく説明しますか。

いつもそうする	23
だいたいそうする	49
ときどきそうする	47
めったにそうしない	23
計	142

(無回答者数 120 人)



この項目では、項目18で「まったくない」以外を選んだ ALT に対して、特定の場面での言語運用の決まりについて詳しく説明するか、その頻度を尋ねた。「いつもそうする」(16%)、「だいたいそうする」(35%)を合計すると、英語の適切な言語運用を学習目標の一つとして教えている ALT の約5割は高い頻度で特定の場面での言語運用の決まりについて詳しく説明していることがわかる。しかし、一方で「ときどきそうする」(33%)、「めったにそうしない」(16%)と答えた ALT も約5割を占めている。

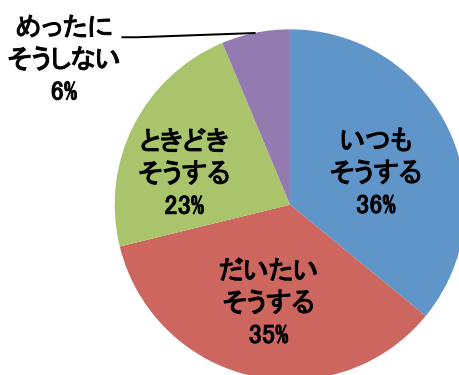
このことから、適切な言語運用の背景にある英語の決まりや規範について、授業中に詳しく説明すること習慣としている ALT とあまり説明しない ALT が同じ程度の割合でいることがわかった。

図・表6-4-5 適切な言語運用を扱う会話練習／活動をするか

22. 質問項目18で「まったくない」以外を選ばれた方、授業で適切な言語運用を扱うとき、特定の場面での言語運用を扱う会話練習／活動をしますか。

いつもそうする	51
だいたいそうする	50
ときどきそうする	32
めったにそうしない	9
計	142

(無回答者数 120 人)



項目18で「まったくない」以外を選んだ ALT に対して、授業で適切な言語運用を学習目標の一つとして教えるときに、それを扱う会話練習／活動をするかを尋ねた。「いつもそうする」(36%)、「だいたいそうする」(35%)を合計すると約7割の ALT が高い頻度で適切な言語運用を扱う会話練習／活動を授業で行っていることがわかった。一方で、「ときどきそうする」(23%)、「めったにそうしない」(6%)

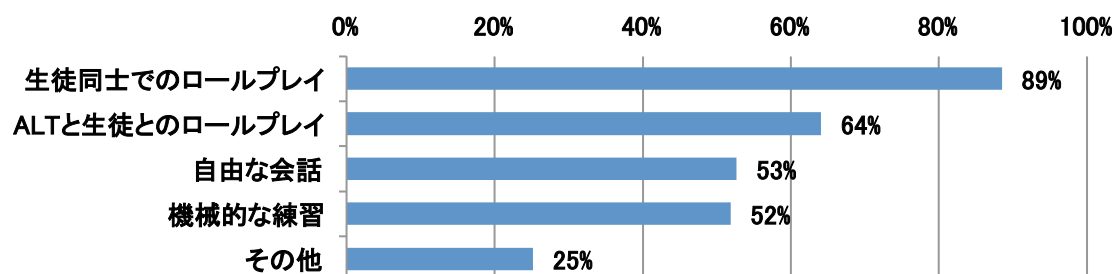
を合わせた約3割は、適切な言語運用を目的とした会話練習や活動をあまり積極的に授業に取り入れていないことが明らかになった。

図・表6-4-6 どのような会話練習／活動をするか

23. 質問項目22で「めったにそうしない」以外を選ばれた方、そのときどのような会話練習／活動をしますか。(複数回答可)

生徒同士でのロールプレイ	116
ALT と生徒とのロールプレイ	84
自由な会話	69
機械的な練習	68
その他	33
回答者数	131

(無回答者数 131 人)



先の項目22で「めったにそうしない」以外を選んだ ALT に対して、どのような会話練習／活動をするかを質問した。

選択肢中の「機械的な練習」は ALT や日本人教員の言ったことを復唱したり、指示に従って代入や変換をしたりする練習であり、生徒自身が伝えたい意味を含まない(「意味交渉」がない)活動である。「ロールプレイ」は場面や役割、会話の目的などを設定して会話を行なうもので、意味交渉のある会話活動である。選択肢で示されている会話練習／活動は「機械的な練習」、「ALT と生徒とのロールプレイ」、「生徒同士でのロールプレイ」、「自由な会話」の順に、その練習／活動の参加者に与えられている内容や表現の選択の自由度が高くなり、自然な会話に近くなる。

結果は、「機械的な練習」を行う ALT は18%、ロールプレイを行う ALT は54%(うち、「ALT と生徒とのロールプレイ」が23%、「生徒同士でのロールプレイ」が31%)、自由な会話が19%であった。また、「その他」も25%あり、「ゲーム」・「ディベート」・「インフォメーションギャップ活動」などの回答が見られた。

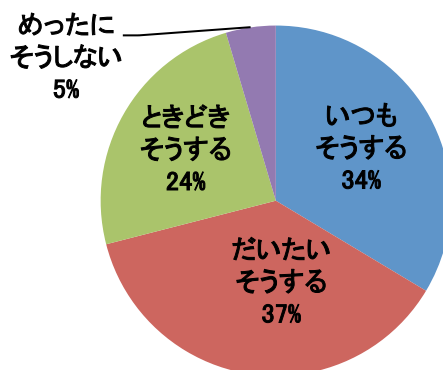
機械的な練習に対してロールプレイや自然な会話の割合が多いことから、適切な言語運用の仕方を教える上で必要とされる、現実(または現実に近い)場面での意味交渉を伴う会話活動を授業内で実践している ALT が多いことが窺われる。

図・表6-4-7 会話練習／活動中、生徒の言ったことにフィードバックをするか

24. 質問項目22で「めったにそうしない」以外を選ばれた方、生徒が会話練習／活動をしているとき、彼らの言ったことに応じてフィードバックをしますか。

いつもそうする	44
だいたいそうする	49
ときどきそうする	32
めったにそうしない	6
計	131

(無回答者数 131 人)



この項目では、項目22で「まったくしない」以外を選んだ ALT に、生徒が会話練習／活動をしているとき、生徒の発話に対してフィードバックをするかどうかを尋ねた。「いつもそうする」(34%)、「だいたいそうする」(37%)を合わせると約7割を占めることから、高い頻度でフィードバックを与える ALT が多いことがわかった。また、「めったにそうしない」という回答はわずか5%であることから、頻度に違いはあるものの、生徒は自らの発話に対して言語運用の適切さの観点から ALT のフィードバックを受けていることが示唆される。

25. 質問項目24で「めったにそうしない」以外を選ばれた方、どのようなフィードバックをしますか。説明してください。

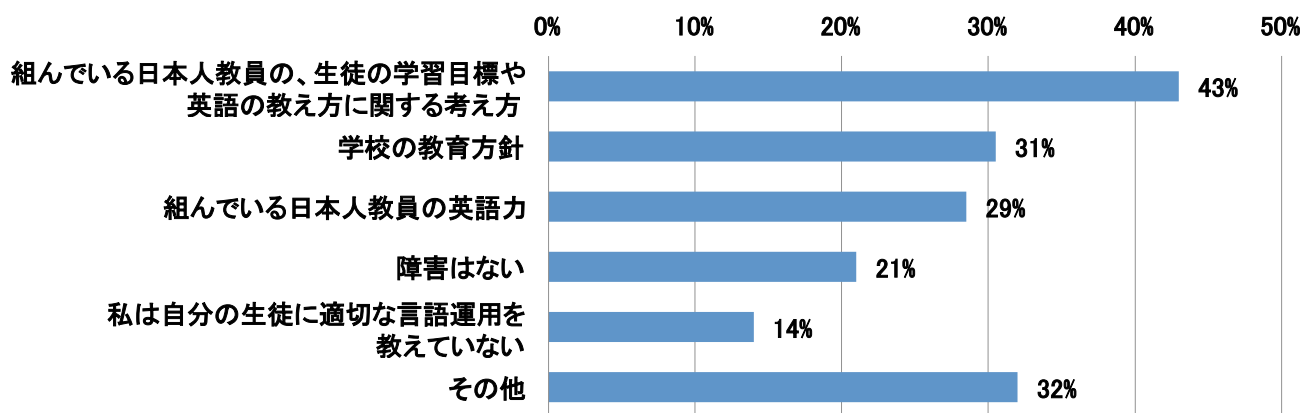
※この質問項目は自由記述回答方式のため、本報告書では取り扱わない。

図・表6-4-8 英語の適切な言語運用を教える上での障害

26. 英語の適切な言語運用を教える上で何か障害はありますか。(複数回答可)

組んでいる日本人教員の、生徒の学習目標や英語の教え方に関する考え方	86
学校の教育方針	61
組んでいる日本人教員の英語力	57
障害はない	42
私は自分の生徒に適切な言語運用を教えていない	28
その他	64
回答者数	200

(無回答者数 62 人)



最後に、全ての回答者に対して、英語の適切な言語運用を教える上でどのようなことが障害になっているかを質問した。

最も多く挙げられた障害は「組んでいる日本人教員の、生徒の学習目標や英語の教え方に関する考え方」(43%)で、「学校の教育方針」(31%)、「組んでいる日本人教員の英語力」(29%)が続いた。また、「その他」も32%あり、「ALTの雇用形態」・「生徒のモチベーションの欠如」・「生徒の英語力」などの回答が見られた。「障害はない」という回答も21%あったが、適切な言語運用を教える上でなんらかの障害があると感じているALTが多いことが明らかになった。

上述の通り、項目1、2から多くのALTが適切な言語運用について関心があり、それを教えるべきだと考えているが、日本人教員の考え方や学校の教育方針が障害となっているという回答と合わせて考えると、こうしたALTの英語教育観と日本人教員の教育観や学校の方針との間に大きなずれがある可能性が窺われる。そして、その結果、適切な言語運用を授業で教えたくても教えられないというALTのジレンマの存在も示唆される。

5. 授業で提供される適切な言語運用に関する誤った情報について

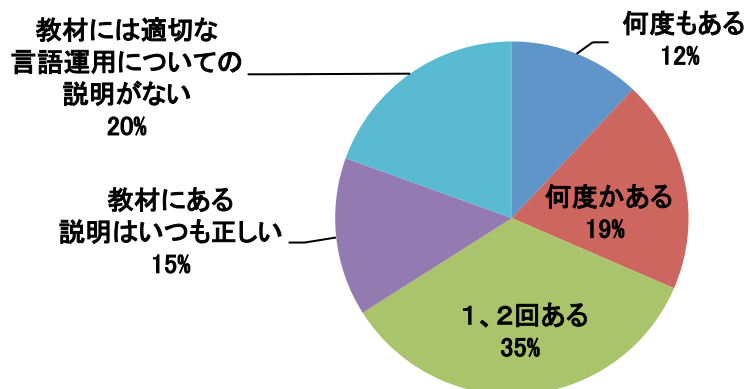
本節では、生徒が触れる教材や授業中の日本人教員の説明に含まれる、英語の言語運用に関する誤った情報に関する調査結果をまとめる。

図・表6-5-1 教材に含まれる適切な言語運用に関する誤った情報

27. あなたが授業で使用する教材の中に、適切な言語運用についての誤った情報があるのを発見したことがありますか。

何度もある	24
何度かある	39
1、2回ある	69
教材にある説明はいつも正しい	29
教材には適切な言語運用についての説明がない	39
計	200

(無回答者数 62 人)



授業で使用する教材の中に、適切な言語運用に関する誤った情報があるのを発見したことがあるかを質問したところ、「教材にある説明はいつも正しい」と答えたALTの割合は15%だったのに対して、誤った情報を発見したことがあると答えたALTの割合は「何度もある」(12%)、「何度かある」(19%)、「1、2回ある」(35%)を合わせて、7割弱にも及んだ。また、「教材には適切な言語運用についての説明がない」という回答も20%あった。

このことから、高等学校で使われている教科書には、適切な言語運用についての説明がないものもあり、また説明があったとしてもその説明が誤っているものが多いことが窺われる。

28. 質問項目27で「教材には適切な言語運用についての説明がない」、「教材にある説明はいつも正しい」以外を選ばれた方、教材にある説明がどのように、そしてなぜ適切でなかったのか、3つまで例を挙げてください。

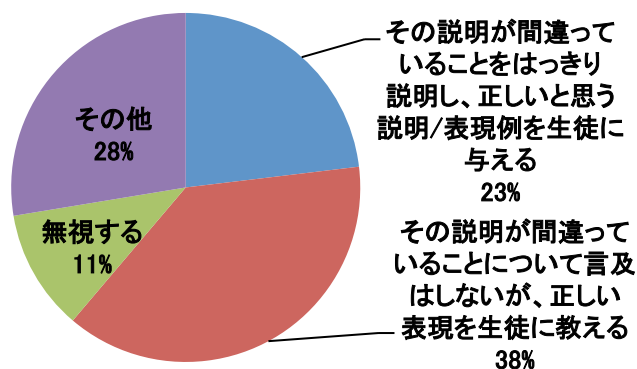
※この質問項目は自由記述回答方式であるため、本報告書では取り扱わない。

図・表6-5-2 教材に含まれる適切な言語運用に関する誤った情報への対応

29. 質問項目27で「教材にある説明はいつも正しい」、「教材には適切な言語運用についての説明がない」以外を選ばれた方、教材にある適切な言語運用についての説明が正しくない場合、どのような対応をしますか。

その説明が間違っていることをはっきり説明し、正しいと思う説明/表現例を生徒に与える	31
その説明が間違っていることについて言及はしないが、正しい表現を生徒に教える	51
無視する	15
その他	37
計	134

(無回答者数 128 人)



教材に適切な言語運用についての誤った情報があるのを発見したことがある ALT に対して、それについてどのような対応を取ったのかを尋ねた。

選択肢中の「その説明が間違っていることをはっきり説明し、正しいと思う説明／表現例を生徒に与える」は、生徒がその説明が正しくないことを知ることができ、正しい情報も得ることができる、最も明示的な教え方である。「その説明が間違っていることについて言及はしないが、正しい表現を生徒に教える」は、生徒は正しい表現を学ぶことはできるが、その説明が間違っていることは、与えられた表現例と教材中の説明とのギャップから推論して自分で気づくしかない。「無視する」は、生徒がその説明が間違っていることも、正しい表現も知ることができない対応方法である。

最も多かった回答は「その説明が間違っていることについて言及はしないが、正しい表現を生徒に教える」の38%で、次いで「その説明が間違っていることをはっきり説明し、正しいと思う説明／表現例を生徒に与える」が23%となっている。「無視する」が最も少なく、11%であった。「その他」も3割近くあり、「日本人教員に伝える」「状況によって異なる」などの回答が見られた。

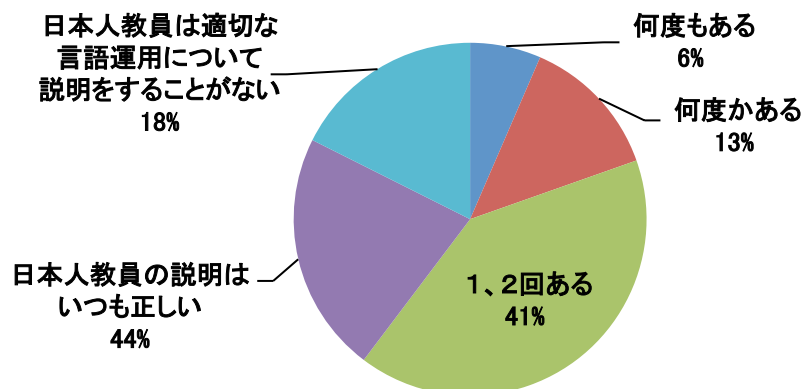
この結果から、教科書に誤った情報が見つかった際には、ほとんどの ALT が無視せずに何らかの対応をとるが、説明が間違っていることまではっきりと示し、正しい情報を伝える ALT は4分の1程度しかないことが明らかになった。

図・表6-5-3 日本人教員の説明に含まれる適切な言語運用に関する誤った情報

30. 授業中に日本人教員が生徒に適切な言語運用について説明しているとき、それが正しくないと感じたことはありますか。

何度もある	13
何度かある	26
1、2回ある	81
日本人教員の説明はいつも正しい	44
日本人教員は適切な言語運用について説明をすることがない	35
計	199

(無回答者数 63 人)



次に、授業中に日本人教員が生徒に適切な言語運用について説明しているとき、それが正しくないと感じたことがあるかを尋ねた。「日本人教員の説明はいつも正しい」と答えた ALT が22%いる一方で、正しくないと感じたことがある ALT が、「何度もある」(6%)、「何度かある」(13%)、「1、2回ある」(41%)を合わせて6割に及んだ。また、「日本人教員は適切な言語運用について説明をすることがない」と答えた人が18%いることから、日本人教員の中には英語の適切な言語運用を授業で扱わない人もいる可能性が示唆される。

31. 質問項目30で「日本人教員はそもそも適切な言語運用について説明をすることがない」、「日本人教員の説明はいつも正しい」以外を選ばれた方、日本人教員の説明がどのように、そしてなぜ適切でなかったのか、3つまで例を挙げてください。

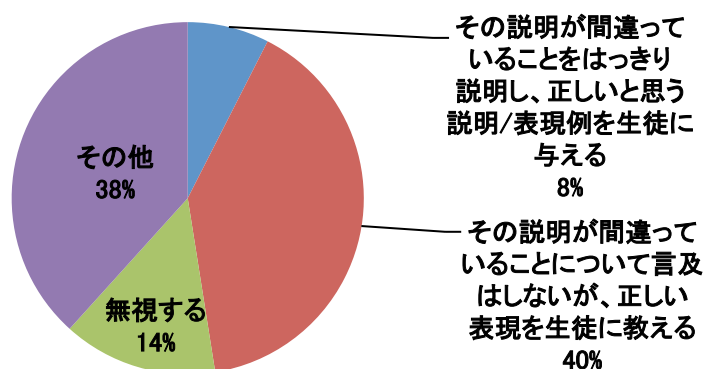
※この質問項目は自由記述回答方式であるため、本報告書では取り扱わない。

図・表6-5-4 日本人教員の説明に含まれる適切な言語運用に関する誤った情報への対応

32. 質問項目30で「日本人教員の説明はいつも正しい」、「日本人教員は適切な言語運用について説明をすることがない」以外を選ばれた方、日本人教員の適切な言語運用についての説明が正しくない場合、どのような対応をしますか。

その説明が間違っていることをはっきり説明し、正しいと思う説明/表現例を生徒に与える	9
その説明が間違っていることについて言及はしないが、正しい表現を生徒に教える	48
無視する	17
その他	46
計	120

(無回答者数 142 人)



最後に、授業中に日本人教員が生徒に適切な言語運用について説明している際に、それが正しくないと感じたことがある ALT に対して、どのような対応をするかを尋ねた。選択肢は項目 29 と同様、明示的な順に「その説明が間違っていることをはっきり説明し、正しいと思う説明／表現例を生徒に教える」、「その説明が間違っていることについて言及はしないが、正しい表現を生徒に教える」、「無視する」となる。

最も多い回答は「その説明が間違っていることについて言及はしないが、正しい表現を生徒に教える」(40%)で、次いで「無視する」が14%であった。「その説明が間違っていることをはっきり説明し、正しいと思う説明／表現例を生徒に教える」は8%にとどまった。また、「その他」も約4割あり、「授業中に生徒に聞こえないように伝える」・「生徒がいないところで伝える」・「状況によって異なる」などの回答が見られた。

教材の間違いを指摘する場合(23%)と比べると、「その説明が間違っていることをはっきり説明し、正しいと思う説明／表現例を生徒に教える」の割合が8%と約3分の1に減少するが、その理由として、日本人教員の誤りを生徒の前ではっきりと指摘することは日本人教員に恥をかかせることにもなりかねないので、遠慮をしている ALT が多いのではないかと考えられる。

6. 本章のまとめ

本章では、「状況や相手に応じた適切な言語運用」という観点から、高等学校で教える ALT の教育活動の実態についてアンケート調査した結果を見てきた。最後に、これらの調査結果をまとめ、それに基づいた問題提起を行ないたい。

まず、ALT 自身にそもそも「適切な言語運用」を教えるための素養があるか、準備ができているかについては、アンケートに答えた ALT のほぼ全員が「適切な言語運用」に関心を持っており、「適切な言語運用」を日本の中学校／高等学校の英語の授業で教えるべきだと考えていることがわかった。さらには、こうした「適切な言語運用」を授業で教える際に役立つような、関連する分野の専門的な知識もある程度身に付けている ALT が多いことも明らかになった。

このように、高等学校で教えている ALT には、英語の授業で「適切な言語運用」を教える意欲も専門知識も備わっているが、学習目標の一つとして「適切な言語運用」を頻繁に教えている ALT は4割にとどまっている。「適切な言語運用」を授業で教えていない理由として、「組んでいる日本人教員の学習目標や教え方に関する考え方」や「学校の教育方針」を挙げる ALT が多かったが、これは大学受

験のために文法や語彙の学習、長文読解の練習などが重視される高等学校の授業の中では、学習目標として「適切な言語運用」まで取り入れることが難しいという現状を示しているように思われる。また、同様の障害として「日本人教員の英語力」を挙げた ALT も多いことから、日本人教員の英語のコミュニケーション能力が、自然な会話における「適切な言語運用」を教えられるレベルに達していない場合も多々あることが示唆される。ALT と協力しながら、彼らの存在を活かしてよりよい授業を行なっていくためには、日本人教員がより高い英語のコミュニケーション能力の習得を目指す努力が必要であろう。

「適切な言語運用」を学習目標に取り入れていると答えた ALT に対して行なった質問への回答から、「適切な言語運用」を教えるための「①モデルダイアログによる具体的な表現例の提示→②言語運用のルールの説明→③会話練習→④生徒の発話に対するフィードバック」という一連の授業の流れが見えてくるが、このうち①モデルダイアログ、③会話練習、④フィードバックを定期的に行なう ALT の割合が7～8割であるのに対して、②運用ルールの説明だけ5割にとどまっている。「適切な言語運用」の教え方の効果に関する多くの研究によって、表現例を提示するだけの暗示的な教え方よりもルールの説明による明示的な教えの方が効果が高いことが示されていることを考えると、今後は運用ルールの説明をより積極的に授業に取り入れていく必要があると思われる。

上述のような ALT の積極的な取り組みが見られる一方で、授業で使用する教材や授業中の日本人教員の説明に、英語の言語運用に関する誤った情報が含まれていることが多々あることも明らかになった。教材の場合には間違いを指摘し、正しい説明や表現例を生徒に与える ALT が4分の1いるが、日本人教員の説明の場合には1割にも満たない。日本人教員の誤りを生徒の前ではっきりと指摘することは日本人教員に恥をかかせることにもなりかねないため、遠慮をしている ALT が多いのだろうと推察するが、その結果、生徒は誤った情報に基づいて学習することになる。せっかく英語の運用の決まりを熟知している ALT がその場にいながら、生徒が「適切な言語運用」について学ぶ機会を逸してしまっているのは非常に残念なことである。

学習目標として「適切な言語運用」について学んでいるとき以外にも、授業内外で交わされる ALT との会話の中で「適切な言語運用」について学ぶ機会もあるかもしれない。そのような想定のもとに、ALT と英語で会話を行なう際に生徒や日本人教員が適切な言語運用を行なっているか、不適切な言語運用があった場合に ALT はどのような反応するかを調べたところ、生徒の話し方が適切でないと感じたことがある ALT は9割、日本人教員の話し方が適切でないと感じたことがある ALT も7割に達した。生徒も日本人教員も、授業中、授業外を問わず、ALT と話しているときに不適切な話し方をしてしまうことがあるが、日本人教員の方が授業外での発生率が高いようである。これは、生徒は授業外で ALT と話す機会が限られるのに対して、日本人教員は打合せや授業の前後に ALT と会話をする機会が頻繁にあるためであろう。ただ、日本人教員の不適切な言語運用が授業中でもかなり生じていることは、教師の発話が生徒のモデル(習得のためのインプット)になることを考えると問題であると言わざるを得ない。

生徒が適切でない話し方をしてしまったときに、ALT から言い方を直される機会、特に英語の適切な言語運用に関するルールを教えられる機会はあまり多くはないようである。しかし、生徒の適切でない話し方に気がついたときに、8割の ALT がそれについての情報を日本人教員と共有していることから、ALT は生徒の言語運用の不適切さをそのままにしておいてよいと考えているわけではなく、生徒との会話を遮ってまで訂正することによる悪影響(授業の流れを断ち切ってしまうことや、授業外でせっかく積極的に話しかけてくれた生徒のモチベーションを損なうことなど)に配慮している様子が窺える。また、ALT から生徒の不適切な言語運用についての情報

提供を受けたときの日本人教員の反応からは、「適切な言語運用」に関心を持ち、授業に活かそうと考えている日本人教員もいる一方で、言語運用には関心がない、あるいはそもそも英語のそうした側面を意識していない日本人教員もまだ大勢残っていることが示唆される。

日本人教員が適切でない話し方をしたときには、生徒の場合と比べて、正しい表現を教えるALTの割合が低くなるとともに、無視するALTの割合が高くなる。ここでもALTは日本人教員の面子に対して配慮をしている様子が窺えるが、その結果、日本人教員は自分の英語が不適切であることやその場面での正しい表現を知る機会を逃してしまっていることに注意する必要がある。

コミュニケーションは、自分の考えや意図を相手に伝える「情報伝達機能」の側面と、相手への配慮を示し良好な人間関係を構築・維持する「相互行為機能」の側面とを併せ持っている。したがって、実生活上の様々な場面で外国人と円滑にコミュニケーションができることを英語学習の目標の一つに掲げるのであれば、相互行為機能に関わる「状況や相手に応じて適切な言語運用」ができるようになることは必須であろう。英語のこうした側面の教育を促進する上で、そのほとんどがネイティブ・スピーカーであり、英語の運用の決まりを熟知しているALTは非常に重要な存在であると考えられる。

今回の調査によって、高等学校で教えているALTたちには日本の英語教育のこうした要請に応えられるだけの意欲も素養もあるにもかかわらず、そうした貴重なリソースを授業内外で十分に活かしきれていない現実が明らかになった。この調査結果が、今後の高等学校における英語教育の改善に関する議論のきっかけとなり、ALTがその本来の価値を存分に発揮できるような教育環境が整っていくことを期待したい。

* 質問項目33「ALTとしてどんな科目を担当したことがありますか。担当したことがある科目をすべて教えてください。」は自由記述回答方式であるため、本報告書では取り扱わない。

第7章

総括

本調査は1800人を超える ALT に対して、アンケート形式でその実態を調査したものである。

この調査で最初に気づくことは、ほぼ8割が ALT として何らかの研修を受けており、その研修には学習指導要領の内容が含まれていることである。日本人の教師でも必ずしも全員が学習指導要領を読んでいるとは限らない現状を考えると、これはかなり高い割合だと言える。また、時として ALT に対する批判の中に、「彼らが教員としての資格もなければ、真剣に英語教育に携わろうとしているのか疑問だ」というものがあるが、TESOL などの英語教員資格を持っていたり、大学で英語や英語教育の分野における学位を取っている ALT が4割強いること、また、8割の ALT が、今後研修の機会が提供されれば参加したいと考えていることを考えると、ALT の多くが英語教育に関して真面目に取り組む姿勢を持っていると言えるだろう。

次に、小学校の ALT の特徴を見てみよう。小学校の ALT は、中学校や高等学校で教えている ALT と比べて、日本での滞在年数が長いこと、日本語中級以上の人の割合がかなり多い(8割弱)こと、民間会社からの派遣が多いこと、そして、フィリピン人がアメリカ人に次いで多い(約15%)ことが挙げられる。一方で、中学校で教えている ALT も民間会社の派遣教員が多いが、アメリカ人が最も多い(60%強)こと、そして高等学校の場合は、JET プログラムで来ている人が圧倒的に多く(70%強)、アメリカ人とは限らないが、英語のネイティブ・スピーカーが多い(70%弱)ことがわかる。

小学校では、授業計画に関して8割を超える ALT が授業計画の大部分を任されており、よく言われる「ALT への授業の丸投げ」状態の実態が窺える。一方、小学校の ALT は、ある程度日本語ができることから、日本人教員とはそれなりに関わりを持っていることがわかるが、契約形態等の理由から、協働で計画を立てることが難しい面もあるのだろう。

次に中学校の ALT を見てみよう。まず、7割以上の ALT が自分の強みをそれなりに活用されていると感じ、日本人教員の存在意義やメリットについても認識し、共にアクティビティやタスクについて計画していきたいと感じている。総じて、ALT の日本の英語教育に対しての貢献意欲の高さが感じられる結果となっている。

中学校の ALT の8割弱は、日本人教員と英語で話をしている、と答えている一方で、日本人教員との交流やコミュニケーション不足を感じる ALT も4割おり、日本人教員との問題を抱えていると感じている ALT は5割に上る。英語は使っていても、まだまだコミュニケーションといえるところまではいっていない、ということなのかもしれない。

また、ALT の授業計画における裁量権は半分またはそれ以下という ALT が多く、テープレコーダー代わりに使われているなど、実際に ALT の教室での役割はまだまだ限定的なものが多くいようである。なお、本来は、ALT はチームティーチングで日本人教員と協働で授

業を行うことが原則だが、役割分担制で授業を行っている ALT は、それ以外の形態（協働ティームティーチングや単独授業）で授業を行う ALT よりも、活用されていると感じる割合が有意に低くなっていることが判明している。テープレコーダー代わりとの不満は正にこのような形態から生まれてくるものだと言える。また、こういった状況に置かれている ALT は、授業内だけでなく、授業外でも日本人教員との交流が少ない傾向があるのである。

最後に高等学校の ALT についてはどうか。高等学校の研究班は、特に、日本人教員や生徒の英語の使い方について焦点を当てて研究したが、アンケートに答えた ALT のほぼ全員が「適切な言語運用」に関心を持っており、「適切な言語運用」を日本の中学校／高等学校の英語の授業で教えるべきだと考えている。しかし、学習目標の一つとして「適切な言語運用」を頻繁に教えている ALT は4割にとどまっている。受験を目標においた授業では、学習目標として「適切な言語運用」まで取り入れることが難しいということが一つの理由として考えられる。

しかし、それ以外にも、言語運用を教える上での障害として「日本人教員の英語力」を理由として挙げた ALT も多く、日本人教員の英語のコミュニケーション能力が、自然な会話における「適切な言語運用」を教えられるレベルに達していないともいえるだろう。さらに、ALT の回答によると、授業で使用する教材や授業中の日本人教員の説明に、英語の言語運用に関する誤った情報が含まれていることが多々あるという。

ところで、英語で会話を行なう際に「生徒の話し方が適切でない」と感じたことがある ALT は9割、「日本人教員の話し方が適切でない」と感じたことがある ALT も7割に達した。しかし、生徒が適切でない話し方をしたときに、ALT が直すことはあまり多くはない。その理由として、生徒との会話を遮ってまで訂正することによる悪影響（授業の流れを断ち切ってしまうことや、授業外でせっかく積極的に話しかけてきてくれた生徒のモチベーションを損なうことなど）に配慮している様子が窺える。また、日本人教員が適切でない話し方をしたときには、生徒の場合と比べて、正しい表現を教える ALT の割合が更に低くなったり、無視したりする ALT の割合が高くなる。

今回の調査で、現在高等学校で教えている ALT には、単なる形式としての英語の文法だけでなく、英語の使い方に関する教育への意欲も素養もあるにもかかわらず、そうした貴重なリソースを授業内外で十分に活かしてきていない現実が明らかになった。

今回は中間報告ということで、アンケートの数値から読み取れる現状と課題についてまとめた。今年度は、今回のアンケートで数多くの ALT が自由記述の形で生の意見を述べてくれたので、それを分析し、最終報告では、今回の数値の意味をより質的に解明できるようにする予定である。

VII 資料

資料① 質問一覧(日本語訳)

* 濃いグレーは、各学校種のアンケートにおいて該当質問項目が存在しないことを、薄いグレーは、自由回答記述の質問項目であり、現在分析中のため本報告書では取り扱わないことを示す。右の4列(2章～5章)に記入された数字は、章内での質問番号を表す。

質問カテゴリ	質問内容	2 章	3 章 小学校	4 章 中学校	5 章 高校
ALT 自身について	あなたの年齢を教えてください。	1			
	あなたの性別を教えてください。	2			
	あなたは日本に住んでどれくらいになりますか。	3			
	ALT として働き始めてどれくらいになりますか。	4			
	現在の勤務形態を教えてください。	5			
	出身国を教えてください。(自由記述、複数選択可)	6			
	あなたの母(国)語を教えてください。(自由記述、複数選択可)	7			
	あなたの日本語のレベルを教えてください。	8			
	英語教育についてもし資格をお持ちでしたらあてはまるものをすべて選んでください。(複数選択可)	9			
	ALT としてどんな授業の受け持ち方をしていますか。	10			
	なぜ ALT として働くことにしましたか。(複数回答可)。	11			
	ALT としてどれくらい仕事をする予定ですか。	12			
	あなたは文部科学省(MEXT)が告示している学習指導要領の内容を知っていますか。	13			
	学習指導要領の中身はどのように学びましたか。	14			

ALT としての提案またはコメント	日本の英語教育を改善するために、何か提案があればお書きください。	15			
	授業内外での児童・生徒とのコミュニケーションで何か記憶に残る素晴らしいエピソードがあればお書きください。	16			
	ALT として勤務する中で、他に何かコメントしたいことがありましたらお書きください。	17			
教員研修について	日本で子どもに英語を教えた経験はどのくらいありますか。		1		
	あなたは ALT になる上で研修を受けましたか。		2	1	
	あなたが ALT になる上で受けた研修は事前研修(ALT として働く前)、現職研修(ALT として働きはじめてから)、事前研修と現職研修の両方のうちどれですか。		3	2	
	研修期間はどのくらいでしたか。		4	3	
	研修でどのようなことを学びましたか。(複数回答可)。		5	4	
	研修で学んだことで、特に役に立っていることはなんですか。(複数回答可)。		6	5	
	現在勤務されている学校や雇用者より研修を提供される機会はどのくらいありますか。		7	6	
	あなたは今後も研修を受けたいと思いますか。		8	7	
	今後研修を受ける際に、どのようなことを学びたいですか。(複数回答可)。		9	8	
ALT としての期待について	あなたは授業を展開する上でどのようなことを期待していますか。(複数回答可)。		10	9	
	あなたに対して学校が期待していることを理解していますか。		11	10	
	あなたが期待していることは、学校が期待していることとどの程度合致していますか。		12	11	
	日本で英語教員する上であなた自身の強みはなんですか。思いつく限りお書きください。			12	
	あなたの強みは学校現場でどのくらい活用されていると思いますか。		13	13	

授業計画について	あなたは授業を計画するにあたってどのくらい任されていますか。		14	14	
	あなたは授業でどのような教材を使用しますか。(複数回答可)		15		
	あなたが英語の授業を計画する上で、特に注意していることは何ですか。(複数回答可)		16	15	
	チームティーチングをする機会がある場合、日本人教員との授業計画にどのように貢献したいですか。(複数回答可)		17	16	
	あなたは自国の文化を児童・生徒に紹介したり、教えたりしますか。		18		
	あなたは自国の文化のどのような側面を児童・生徒に教えますか。(複数回答可)。		19		
ALT と日本人教員との関係について	あなたは授業中どのくらい日本人教員と関わりますか。		20	17	
	あなたは授業外でどのくらい日本人教員と関わりますか。		21	18	
	あなたは日本人教員とどのくらい英語で会話しますか。		22	19	
	あなたは現在、日本人教員との関わりは十分だと思っていますか。		23	20	
	授業計画する上で、日本人教員とどのような点を話し合うべきだと思いますか。(複数回答可)。		24	21	
	授業後、日本人教員とどのような点を話し合うべきだと思いますか。(複数回答可)。		25	22	
	チームティーチングを日本人教員と行う場合、あなたの役割はどのようなものですか。(複数回答可)。		26	23	
	日本人教員と共に指導するメリットはどのような点だと思いますか。(複数回答可)。		27	24	
	日本人教員との間で何か問題を抱えていますか。		28	25	
	日本人教員との間でどのような問題を抱えていますか。(複数回答可)。		29	26	
	日本人教員との関係について何かありましたら、自由にお書きください。		30	27	

ALT と児童・生徒との関係について	1 回の授業の中で、あなたがクラス全体に話しかける時間はどれくらいですか。		31	28	
	1 回の授業につき、単独で作業している児童・生徒ひとりひとりにあなたが話しかける時間はどれくらいですか。		32	29	
	1 回の授業につき、ペアあるいはグループ作業をしている児童・生徒たちに話しかける時間はどれくらいですか。		33	30	
	児童・生徒に英語で話しかけると、特に注意している点はなんですか。あてはまるものすべてを選んでください。		34	31	
	児童・生徒が話した英語の間違いに気づいたとき、どのくらい訂正していますか。		35	32	
	児童・生徒の間違いを指摘するとき、訂正方法の基準になっているのはなんですか。			33	
	授業中、どのくらい日本語を使っていますか。		36	34	
	あなたが授業中に日本語を使う理由はなんですか。あてはまるものすべてを選んでください。		37		
	授業内での児童・生徒の日本語の使用について、どれくらい厳しく注意をしていますか。		38	35	
	授業外で、児童・生徒とどれくらい英語で会話をしていますか。		39	36	
	授業外で、児童・生徒とどれくらい日本語で会話をしていますか。		40	37	
	どのようなイベントや活動を児童・生徒と一緒にしていますか。		41	38	
	児童・生徒たちとの関係で、なにか問題を感じることはありますか。		42	39	
	児童・生徒たちとの関係で、どのような問題を感じていますか。		43	40	
	児童・生徒たちとの関係について、普段感じていることを自由にお書きください。		44	41	
	選べるとすれば、どの年代の生徒に教えたいと思いますか。		45		

適切な言語運用に関する関心・意識・知識について	あなたは英語やその他の言語での適切な言語運用について関心がありますか。				1
	日本での中学校/高校の英語の授業において、適切な言語運用について扱うべきだという議論がありますが、あなたはどう思いますか。				2
	質問項目2でそう答えた理由を説明してください。				3
	以下の言語学用語のうち、その用語を知っていて、その概念を理解しているものを選んでください。(複数回答可)				4
	質問項目4で「どれも知らないし、分からない」以外を選ばれた方、それをどこで学びましたか。(複数回答可)。				5
	質問項目4で「どれも知らないし、分からない」以外を選ばれた方、その概念についての知識は英語を教える上で役立っていますか。				6
	質問項目4で選んだ概念のうち、どれが英語を教える上で役立っているか、また、どのように役立っているかを説明してください。				7
生徒の適切でない言語運用への対応について	生徒と話しているとき、その生徒の話し方が適切ではないと感じたことはありますか。				8
	質問項目8で「一度もない」以外を選ばれた方、生徒の言ったことがどのように、そしてなぜ適切でなかったのか、3つまで例を挙げてください。				9
	それはどのような状況でのことですか。(複数回答可)				10
	生徒の話し方が適切でないと感じたとき、あなたがよく取る対応はどれですか。				11
	日本人教員と、生徒の適切でない話し方について情報を共有することがありますか。				12
	生徒の適切でない話し方について日本人教員に話したとき、その教員はどのような反応をしましたか。(複数回答可)。				13

日本人教員の 適切でない話 し方への対応 について	日本人教員と話しているとき、その人の話し方が適切ではないと感じたことはありますか。				14
	質問項目14で「一度もない」以外を選ばれた方、日本人教員の言ったことがどのように、そしてなぜ適切でなかったのか、3つまで例を挙げてください。				15
	それはどんな状況でのことですか。(複数回答可)				16
	日本人教員の話し方が適切でないと感じたとき、あなたがよく取る対応はどれですか。				17
授業方法 について	あなたの授業で、学習目標の一つとして適切な言語運用を教えることはどれくらいありますか。				18
	質問項目18で「まったくない」以外を選ばれた方、英語の適切な言語運用を独立した個別の学習目標としていますか、それとも語彙や文法など他の要素と統合した学習目標としていますか。				19
	質問項目18で「まったくない」以外を選ばれた方、英語の適切な言語運用を授業で教えるときにはモデルダイアログで生徒に具体的な例を示しますか。				20
	質問項目18で「まったくない」以外を選ばれた方、授業で適切な言語運用を扱うとき、特定の場面での言語運用の決まりについて詳しく説明しますか。				21
	質問項目18で「まったくない」以外を選ばれた方、授業で適切な言語運用を扱うとき、特定の場面での言語運用を扱う会話練習/活動をしますか。				22
	質問項目22で「めったにそうしない」以外を選ばれた方、そのときどのような会話練習/活動をしますか。(複数回答可)。				23
	質問項目22で「めったにそうしない」以外を選ばれた方、生徒が会話練習/活動をしているとき、彼らの言ったことに応じてフィードバックをしますか。				24
	質問項目24で「めったにそうしない」以外を選ばれた方、どのようなフィードバックをしますか。説明してください。				25
	英語の適切な言語運用を教える上で何か障害はありますか。(複数回答可)。				26

授業で提供される適切な言語運用に関する誤った情報	あなたが授業で使用する教材の中に、適切な言語運用についての誤った情報があるのを発見したことがありますか。				27
	質問項目27で「教材には適切な言語運用についての説明がない」、「教材にある説明はいつも正しい」以外を選ばれた方、教材にある説明がどのように、そしてなぜ適切でなかったのか、3つまで例を挙げてください。				28
	質問項目27で「教材にある説明はいつも正しい」、「教材には適切な言語運用についての説明がない」以外を選ばれた方、教材にある適切な言語運用についての説明が正しくない場合、どのような対応をしますか。				29
	授業中に日本人教員が生徒に適切な言語運用について説明しているとき、それが正しくないと感じたことはありますか。				30
	質問項目30で「日本人教員はそもそも適切な言語運用について説明をすることがない」、「日本人教員の説明はいつも正しい」以外を選ばれた方、日本人教員の説明がどのように、そしてなぜ適切でなかったのか、3つまで例を挙げてください。				31
	質問項目30で「日本人教員の説明はいつも正しい」、「日本人教員は適切な言語運用について説明をすることがない」以外を選ばれた方、日本人教員の適切な言語運用についての説明が正しくない場合、どのような対応をしますか。				32
—	ALT としてどんな科目を担当したことがありますか。担当したことがある科目をすべて教えてください。			42	33

資料② 質問一覧(英語)

* 濃いグレーは、各学校種のアンケートにおいて該当質問項目が存在しないことを、薄いグレーは、自由回答記述の質問項目であり、現在分析中のため本報告書では取り扱わないことを示す。右の4列(2章～5章)に記入された数字は、章内での質問番号を表す。

Question Category	Questions	Ch. 2	Ch. 3 Elementary	Ch. 4 Junior High	Ch. 5 High
Background etc.	How old are you?	1			
	What is your gender?	2			
	How many combined years have you lived in Japan?	3			
	How many combined years have you worked as an ALT?	4			
	What is your current employment status?	5			
	What is your country of origin?	6			
	What is (are) your native language(s)?	7			
	What is your approximate level of Japanese?	8			
	What certificates or qualifications, if any, have you acquired related to English teaching?	9			
	What is the main style of teaching as an ALT for you?	10			
	Why did you decide to work as an ALT?	11			
	How long do you plan to continue to work as an ALT?	12			
	Are you aware of the contents in the Course of Study Guidelines for teaching English in Japan issued by the Ministry of Education (MEXT)?	13			
	How did you learn about the contents in the Course of Study?	14			

Further Comments as an ALT	What suggestions do you have, if any, that might help improve English education in Japan? Please write below.	15			
	If you have any memorable episodes in your interactions with your students in and/or out of class, please write below.	16			
	If you have further comments on any aspects of your work as an ALT, please write below.	17			
Teacher Training	How many combined years have you taught English to children in Japan?		1		
	Have you received any training to be an ALT?		2	1	
	Was your ALT training a preservice-training (before you start working as a teacher), an inservice-training (after you start working as a teacher), or both?		3	2	
	How long was the training period?		4	3	
	What did you learn in the training?		5	4	
	In the training you received, what have you found particularly useful?		6	5	
	How often are you offered training sessions by the school or your employer that you are currently working for?		7	6	
	How willing are you to receive (further) training?		8	7	
	If you are to receive any training, what would you like to be trained on?		9	8	
ALT Expectations	What are your expectations for your classes?		10	9	
	How well do you understand the expectations the school has for you?		11	10	
	To what degree do your expectations of classes match that of the schools'?		12	11	
	What do you think are your strengths as a teacher of English in Japan?			12	
	How strongly do you feel that your strengths are being utilized in your school?		13	13	

Lesson Planning	How much responsibility is given to you for the preparation of classes?		14	14	
	What materials do you use in your lesson?		15		
	What do you pay most attention to in planning your English lessons?		16	15	
	How do you wish to contribute to lesson planning with JTEs (Japanese Teachers of English) if you have a chance to do collaborative team teaching?		17	16	
	Do you teach/introduce any aspects of the culture of your country to your students?		18		
	What aspects about your culture of your country do you teach to students?		19		
ALT-JTE Interaction	How often do you interact with JTEs during class?		20	17	
	How often do you interact with JTEs outside of class?		21	18	
	How often do you speak with JTEs in English?		22	19	
	How do you feel about the amount of interaction you currently have with JTEs?		23	20	
	In planning of classes, what do you think is important to discuss with JTEs?		24	21	
	After a class has finished, what do you think is important to discuss with JTEs?		25	22	
	If you engage in team- or co-teaching with a JTE, what are your main roles?		26	23	
	What do you find advantageous in teaching with a JTE?		27	24	
	Do you face any problems with JTEs?		28	25	
	What problems do you face with JTEs?		29	26	
	Please write freely any comments you have about your relationship with JTEs.		30	27	

ALT-Student Interaction	How much time in class do you spend addressing the class as a whole?		31	28	
	How much time in class do you spend addressing individual students one-on-one during individual work?		32	29	
	How much time in class do you spend addressing small groups of students during pair or small group work?		33	30	
	What do you try to be particularly careful about when speaking to students in English?		34	31	
	How often do you correct students' spoken mistakes in class generally?		35	32	
	What factors guide the way you correct students' mistakes?			33	
	How often do you use Japanese in class generally?		36	34	
	What are the reasons for your using Japanese in class?		37		
	How strict are you with the use Japanese by students in class?		38	35	
	How often do you interact with students outside of class in English?		39	36	
	How often do you interact with students outside of class in Japanese?		40	37	
	What events/activities do you take part in with students?		41	38	
	Do you face any problems with students?		42	39	
	What problems do you face with students?		43	40	
	Please write freely any comments you have about your relationship with students.		44	41	
	If you have a choice, which age range would you prefer to teach?		45		

ALTs' Ideas on Appropriate Uses of Language	Are you interested in the appropriate uses of language in context in English or in other languages?				1
	Do you agree with the argument that some aspects of the appropriate use of language in context should be taught in English classes (in junior/senior high schools) in Japan?				2
	Please write your reasons why or why not you agree that the appropriate uses of language should be taught.				3
	Please select the following linguistic terms that you both understand and know of its concepts.				4
	Where did you learn about the linguistic term(s)?				5
	Do you think that having knowledge of the concept(s) is useful when you teach English?				6
	Please write which knowledge you find useful, and in what ways it is useful in your teaching.				7
Reaction to Inappropriate Language Behavior by Students	During the conversation with your students, have you ever noticed that a student's way of speaking is somewhat inappropriate?				8
	Please write up to 3 occasions to how and why the student's utterance was inappropriate.				9
	Where did the occasion(s) take place?				10
	What is your typical reaction when you notice that a student's way of speaking is somewhat inappropriate?				11
	Have you ever shared information with JTEs about your students' inappropriate use of language?				12
	What was the reaction of the JTE, when you shared information about the students' inappropriate use of language?				13
Reaction to Inappropriate Language Behavior by JTEs	Reaction to Inappropriate Language Behavior by JTEs				14
	Please write up to 3 occasions to how and why the JTE's utterance was inappropriate.				15
	Where did the occasion(s) take place?				16
	What is your typical reaction when you notice that a JTE's way of speaking is somewhat inappropriate?				17
About	How often do you teach the use of language as one of the learning objectives in your class?				18

Teaching Methods	Do you set the use of language as an independent learning objective, or do you integrate it with other features such as grammar and vocabulary?				19
	While teaching the use of language, do you give specific examples to students using model conversations?				20
	Do you give detailed explanation to students about the specific rules of the appropriate uses of language in context?				21
	Do you introduce speaking exercises/activities on the use of language?				22
	What kind of speaking exercises/activities on the use of language do you introduce?				23
	While students are engaging in speaking exercises/activities on the use of language, do you give feedback to students in response to their utterances?				24
	What kind of feedback do you give? Please explain.				25
	When you teach the use of language to your students, what kind of obstacles do you find in the way?				26
Reaction to Incorrect Information about the Appropriate Use of Language in Teaching Materials	Have you ever found incorrect information about the appropriate use of language in teaching materials that you use in class?				27
	Please list up to 3 examples to how and why the description in the teaching material is incorrect.				28
	What is your typical reaction when the explanation about the appropriate use of language in the teaching materials is somewhat inappropriate?				29
	Have you ever found incorrect explanation about the appropriate use of language that your JTE gave to students in class?				30
	Please list up to 3 examples to how and why the explanation of the JTE is incorrect.				31
	What is your typical reaction when the explanation about the use of appropriate language made by a JTE is somewhat inappropriate?				32

—	What classes have you been teaching as an ALT? Please list all the courses you have been teaching.			42	33
---	--	--	--	----	----

資料③ アンケート原文

Elementary School

The following is a survey about elementary school teaching.

For multiple choice questions, please select answers that apply, and for open-ended questions, fill in the blanks.

For questions about teaching, please answer based on THE MOST TYPICAL CASES you have experienced so far.

Teacher Training

1. Have you received any training to be an ALT (Assistant Language Teacher)?
 - (a) Yes
 - (b) No
2. Was your ALT training a preservice-training (before you start working as a teacher), an inservice-training (after you start working as a teacher), or both?
 - (a) Preservice
 - (b) Inservice
 - (c) Both
3. How long was the training period?
 - (a) Up to 3 hours
 - (b) 1 day
 - (c) 2-3 days
 - (d) 3-7 days
 - (e) 1-2 weeks
 - (f) More than 2 weeks
4. What did you learn in the training? Select all that apply.
 - (a) Lesson planning
 - (b) Teaching methods
 - (c) Teacher talk (how to talk to students in English)
 - (d) Language activities/games
 - (e) English grammar
 - (f) Class management
 - (g) Language testing
 - (h) Japanese culture
 - (i) If others, please specify:

5. In the training you received, what have you found particularly useful? Select all that apply.
- (a) Lesson planning
 - (b) Teaching methods
 - (c) Teacher talk (how to talk to students in English)
 - (d) Language activities/games
 - (e) English grammar
 - (f) Class management
 - (g) Language testing
 - (h) Japanese culture
 - (i) If others, please specify:
6. How often are you offered training sessions by the school or your employer that you are currently working for?
- (a) Never
 - (b) Monthly
 - (c) A few times a year
 - (d) Once a year
 - (e) Once every few years

MEXT Guidelines

7. Are you aware of the contents in the Course of Study Guidelines for teaching English in Japan issued by the Ministry of Education (MEXT)?
- (a) Yes
 - (b) No
8. How did you learn about the contents of the Course of Study?
- (a) Through an ALT training program
 - (b) Through personal investigation
 - (c) If others, please specify:
9. How willing are you to receive (further) training?
- (a) Very unwilling
 - (b) Not so willing
 - (c) Somewhat willing
 - (d) Very willing

10. If you are to receive any training, what would you like to be trained on? Select all that apply.
- (a) Lesson planning
 - (b) Teaching methods
 - (c) Teacher talk (how to talk to students in English)
 - (d) Language activities/games
 - (e) English grammar
 - (f) Class management
 - (g) Language testing
 - (h) Japanese culture
 - (i) The Course of Study (guidelines for English teaching in Japan issued by the Ministry of Education, MEXT)
 - (j) If others, please specify:

ALT Expectations

11. What are your expectations for your classes? Select all that apply.
- (a) None
 - (b) Share my culture
 - (c) Help improve students' English listening
 - (d) Help improve students' English speaking
 - (e) Help improve students' English reading
 - (f) Help improve students' English writing
 - (g) If others, please specify:
12. How well do you understand the expectations the school has for you?
- (a) None
 - (b) Only a little
 - (c) Fair understanding
 - (d) Good understanding
 - (e) Strong understanding
13. To what degree do your expectations of classes match that of the school's?
- (a) None
 - (b) Only a little
 - (c) Matches fairly
 - (d) Matches well
 - (e) Matches completely

14. What do you think are your strengths as a teacher of English in Japan? Please write as many strengths as you can think of.
15. How strongly do you feel that your strengths are being utilized in your school?
- (a) Not at all
 - (b) A little
 - (c) Fairly strongly
 - (d) Strongly
 - (e) Very strongly

Lesson Planning

16. How much responsibility is given to you for the preparation of classes?
- (a) None
 - (b) A little
 - (c) About half
 - (d) More than half
 - (e) All
17. What materials do you use in your lesson? Select all that apply.
- (a) Textbook required by school
 - (b) Textbook required by employing company
 - (c) Textbook that you chose
 - (d) Materials taken from internet sites
 - (e) Homemade materials
 - (f) JTE recommended ideas/materials
 - (g) If others, please specify:
18. What do you pay most attention to in planning your English lessons? Select all that apply.
- (a) New vocabulary to introduce
 - (b) New grammar to introduce
 - (c) Activities/tasks to do
 - (d) How to make the lesson fun
 - (e) How to develop the topic/content
 - (f) Where students may make mistakes
 - (g) How to incorporate the culture of English-speaking world
 - (h) If others, please specify:

19. How do you wish to contribute to lesson planning with JTEs (Japanese Teachers of English) if you have a chance to do collaborative team teaching? Select all that apply.
- (a) Set goals of the lesson
 - (b) Support the use of English
 - (c) Share your culture
 - (d) Propose discussion topics for class
 - (e) Propose activities/tasks for class
 - (f) If others, please specify:
20. Do you teach/introduce any aspects of the culture of your country to your students?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
21. What aspects about your culture of your country do you teach to students? Select all that apply.
- (a) History
 - (b) Festivals
 - (c) Famous places
 - (d) Famous people
 - (e) Daily life
 - (f) Traditions
 - (g) Gestures/Mannerisms
 - (h) Games
 - (i) If others, please specify:

ALT-JTE Interaction (JTE refers to the Japanese teacher of English)

22. How often do you interact with JTEs during class?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often

23. How often do you interact with JTEs outside of class?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
24. How often do you speak with JTEs in English?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
25. How do you feel about the amount of interaction you currently have with JTEs?
- (a) Not enough at all
 - (b) Not enough
 - (c) Adequate
 - (d) More than enough
 - (e) Too much
26. In planning of classes, what do you think is important to discuss with JTEs?
Select all that apply.
- (a) Goals of the lesson
 - (b) Grammar to be taught
 - (c) Vocabulary to be taught
 - (d) Class topics/themes
 - (e) Materials to be used
 - (f) Activities to be done
 - (g) If others, please specify:
27. After a class has finished, what do you think is important to discuss with JTEs?
Select all that apply.
- (a) Nothing in particular
 - (b) Class atmosphere
 - (c) Student participation
 - (d) Problems discovered
 - (e) Things to improve
 - (f) Goal achievement
 - (g) If others, please specify:

28. If you engage in team- or co-teaching with a JTE, what are your main roles?

Select all that apply.

- (a) Not applicable
- (b) Model pronunciation
- (c) Interactive activity with students
- (d) Game facilitator
- (e) Dialogue practice guide
- (f) Explaining grammar
- (g) Introducing/explaining foreign culture
- (h) Presenting authentic English
- (i) If others, please specify:

29. What do you find advantageous in teaching with a JTE? Select all that apply.

- (a) Not applicable
- (b) Nothing
- (c) Assistance with class management
- (d) Assistance with Japanese language support
- (e) Moral support
- (f) Procedural assistance with class materials
- (g) If others, please specify:

30. Do you face any problems with JTEs?

- (a) Yes
- (b) No

31. What problems do you face with JTEs? Select all that apply.

- (a) JTEs rarely talk to you
- (b) JTEs don't understand English
- (c) JTEs rarely speak English
- (d) JTEs don't respect your ideas
- (e) JTEs don't let you participate in lesson planning
- (f) JTEs don't try to utilize your advantages as an ALT
- (g) If others, please specify:

32. Please write freely any comments you have about your relationship with JTEs.

ALT–Student Interaction

33. How much time in class do you spend addressing the class as a whole?
- (a) Up to 10 min.
 - (b) 10–20 min.
 - (c) 20–30 min.
 - (d) More than 30 min.
34. How much time in class do you spend addressing individual students one-on-one during individual work?
- (a) Up to 10 min.
 - (b) 10–20 min.
 - (c) 20–30 min.
 - (d) More than 30 min.
35. How much time in class do you spend addressing small groups of students during pair or small group work?
- (a) Up to 10 min.
 - (b) 10–20 min.
 - (c) 20–30 min.
 - (d) More than 30 min.
36. What do you try to be particularly careful about when speaking to students in English? Select all that apply.
- (a) Choice of vocabulary
 - (b) Choice of grammar
 - (c) Choice of topic
 - (d) Speed of speech
 - (e) Use of clear enunciation
 - (f) Use of pauses
 - (g) Use of simple sentences
 - (h) Use of repetition
 - (i) Use of paraphrases
 - (j) Use of concrete examples
 - (k) Use of visuals
 - (l) Use of questions
 - (m) If others, please specify:

37. How often do you correct students' spoken mistakes in class generally?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
38. How often do you use Japanese in class generally?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
39. What are the reasons for your using Japanese in class? Select all that apply.
- (a) For class atmosphere
 - (b) For students' understanding
 - (c) For disciplinary purposes
 - (d) School/HRT expect Japanese instructions
 - (e) If others, please specify:
40. How strict are you with the use of Japanese by students in class?
- (a) Not strict at all
 - (b) Not so strict
 - (c) A little strict
 - (d) Strict
 - (e) Very strict
41. How often do you interact with students outside of class in English?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
42. How often do you interact with students outside of class in Japanese?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often

43. What events/activities do you take part in with students? Select all that apply.

- (a) Lunch
- (b) English club
- (c) Clubs not related to English
- (d) School festivals
- (e) Field trips
- (f) Sports events
- (g) If others, please specify:

44. Do you face any problems with students?

- (a) Yes
- (b) No

45. What problems do you face with students? Select all that apply.

- (a) Students don't understand English
- (b) Students speak Japanese
- (c) Students are disrespectful
- (d) Students don't participate in class
- (e) Students have disciplinary problems
- (f) If others, please specify:

46. Please write freely any comments you have about your relationship with students.

ALT Background

47. How old are you?

- (a) 18–24
- (b) 25–30
- (c) 31–40
- (d) 41–50
- (e) 51–60
- (f) Over 60

48. What is your gender?

- (a) Male
- (b) Female

49. How many combined years have you lived in Japan?
- (a) Less than 1 year
 - (b) 1–3 years
 - (c) 3–6 years
 - (d) 6–10 years
 - (e) More than 10 years
50. How many combined years have you worked as an ALT?
- (a) Less than 1 year
 - (b) 1–3 years
 - (c) 3–6 years
 - (d) 6–10 years
 - (e) More than 10 years
51. How many combined years have you taught English to children in Japan?
- (a) Less than 1 year
 - (b) 1–3 years
 - (c) 3–6 years
 - (d) 6–10 years
 - (e) More than 10 years
52. What is your country of origin?
53. What is (are) your native language(s)?
54. What is your approximate level of Japanese?
- (a) None
 - (b) Beginner
 - (c) Intermediate
 - (d) Advanced
 - (e) Native-like
55. What certificates or qualifications, if any, have you acquired related to English teaching? Select all that apply.
- (a) TESOL (ESOL)
 - (b) Celta
 - (c) 4-year education degree
 - (d) Teacher's license
 - (e) If others, please specify:

56. What is the main style of teaching as an ALT for you?
- (a) Solo teaching
 - (b) Collaborative (i.e., interactive) team teaching with a JTE
 - (c) Non-collaborative (i.e., role divided by time/activity) co-teaching with a JTE
 - (d) Both solo teaching and collaborative team teaching depending on the class
 - (e) Both solo teaching and non-collaborative co-teaching depending on the class
 - (f) If others, please specify:
57. Why did you decide to work as an ALT? Select all that apply.
- (a) To gain some experience working in Japan
 - (b) Because I like teaching
 - (c) Because the pay is good
 - (d) Because of a recommendation from friends/acquaintances
 - (e) Other (please specify)
58. How long do you plan to continue to work as an ALT?
- (a) 1–2 years
 - (b) 2–3 years
 - (c) 3–5 years
 - (d) 5–10 years
 - (e) More than 10 years
59. If you have a choice, which age range would you prefer to teach?
- (a) Elementary school children
 - (b) Junior/senior high school
 - (c) University/college
 - (d) Adults
60. What is your current employment status?
- (a) Hired under the JET program
 - (b) Hired by a private company
 - (c) Directly hired by the board of education or by the school
 - (d) If others, please specify:
61. If you don't mind us contacting you for further inquiry, please indicate your contact information below (e-mail address, phone number, or postal address).
62. What suggestions do you have, if any, that might help improve English education in Japan? Please write below.
63. If you have any memorable episodes in your interactions with your students in and/or out of class, please write below.

64. If you have further comments on any aspects of your work as an ALT, please write below.

This is the end of this questionnaire

Thank you very much for answering all our questions!! We will do our utmost to make the best use of your responses to improve English education involving ALTs in Japan.

Junior High School

The following is a survey about junior high school teaching.

For multiple choice questions, please select answers that apply, and for open-ended questions, fill in the blanks. For questions about teaching, please answer based on **the most typical cases** you have experienced so far.

Teacher Training

1. Have you received any training to be an ALT?
 - (a) Yes
 - (b) No

2. Was your ALT training a preservice-training (before you start working as a teacher), an inservice-training (after you start working as a teacher), or both?
 - (a) Preservice
 - (b) Inservice
 - (c) Both

3. How long was the training period?
 - (a) Up to 3 hours
 - (b) 1 day
 - (c) 2–3 days
 - (d) 3–7 days
 - (e) 1–2 weeks
 - (f) More than 2 weeks

4. What did you learn in the training? Select all that apply.
 - (a) Lesson planning
 - (b) Teaching methods
 - (c) Teacher talk (how to talk to students in English)
 - (d) Language activities/games
 - (e) English grammar
 - (f) Class management
 - (g) Language testing
 - (h) Japanese culture
 - (i) If others, please specify:

5. In the training you received, what have you found particularly useful? Select all that apply.
- (a) Lesson planning
 - (b) Teaching methods
 - (c) Teacher talk (how to talk to students in English)
 - (d) Language activities/games
 - (e) English grammar
 - (f) Class management
 - (g) Language testing
 - (h) Japanese culture
 - (i) If others, please specify:
6. How often are you offered training sessions by the school or your employer that you are currently working for?
- (a) Never
 - (b) Monthly
 - (c) A few times a year
 - (d) Once a year
 - (e) Once every few years
7. Are you aware of the contents in the Course of Study Guidelines for teaching English in Japan issued by the Ministry of Education (MEXT)?
- (a) Yes
 - (b) No
8. How did you learn about the contents of the Course of Study?
- (a) Through an ALT training program
 - (b) Through personal investigation
 - (c) If others, please specify:
9. How willing are you to receive (further) training?
- (a) Very unwilling
 - (b) Not so willing
 - (c) Somewhat willing
 - (d) Very willing

10. If you are to receive any training, what would you like to be trained on? Select all that apply.
- (a) Lesson planning
 - (b) Teaching methods
 - (c) Teacher talk (how to talk to students in English)
 - (d) Language activities/games
 - (e) English grammar
 - (f) Class management
 - (g) Language testing
 - (h) Japanese culture
 - (i) The Course of Study (guidelines for English teaching in Japan issued by the Ministry of Education, MEXT)
 - (j) If others, please specify:

ALT Expectations

11. What are your expectations for your classes? Select all that apply.
- (a) None
 - (b) Share my culture
 - (c) Help improve students' English listening
 - (d) Help improve students' English speaking
 - (e) Help improve students' English reading
 - (f) Help improve students' English writing
 - (g) If others, please specify:
12. How well do you understand the expectations the school has for you?
- (a) None
 - (b) Only a little
 - (c) Fair understanding
 - (d) Good understanding
 - (e) Strong understanding
13. To what degree do your expectations of classes match that of the school's?
- (a) None
 - (b) Only a little
 - (c) Matches fairly
 - (d) Matches well
 - (e) Matches completely

14. What do you think are your strengths as a teacher of English in Japan? Please write as many strengths as you can think of.
15. How strongly do you feel that your strengths are being utilized in your school?
- (a) Not at all
 - (b) A little
 - (c) Fairly strongly
 - (d) Strongly
 - (e) Very strongly

Lesson Planning

16. How much responsibility is given to you for the preparation of classes?
- (a) None
 - (b) A little
 - (c) About half
 - (d) More than half
 - (e) All
17. What do you pay most attention to in planning your English lessons? Select all that apply.
- (a) New vocabulary to introduce
 - (b) New grammar to introduce
 - (c) Activities/tasks to do
 - (d) How to make the lesson fun
 - (e) How to develop the topic/content
 - (f) Where students may make mistakes
 - (g) How to incorporate the culture of English-speaking world
 - (h) If others, please specify:
18. How do you wish to contribute to lesson planning with JTEs (Japanese Teachers of English) if you have a chance to do collaborative team teaching? Select all that apply.
- (a) Set goals of the lesson
 - (b) Support the use of English
 - (c) Share your culture
 - (d) Propose discussion topics for class
 - (e) Propose activities/tasks for class
 - (f) If others, please specify:

ALT-JTE Interaction (JTE refers to the Japanese teacher of English)

19. How often do you interact with JTEs during class?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
20. How often do you interact with JTEs outside of class?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
21. How often do you speak with JTEs in English?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
22. How do you feel about the amount of interaction you currently have with JTEs?
- (a) Not enough at all
 - (b) Not enough
 - (c) Adequate
 - (d) More than enough
 - (e) Too much
23. In planning of classes, what do you think is important to discuss with JTEs?
Select all that apply.
- (a) Goals of the lesson
 - (b) Grammar to be taught
 - (c) Vocabulary to be taught
 - (d) Class topics/themes
 - (e) Materials to be used
 - (f) Activities to be done
 - (g) If others, please specify:

24. After a class has finished, what do you think is important to discuss with JTEs?

Select all that apply.

- (a) Nothing in particular
- (b) Class atmosphere
- (c) Student participation
- (d) Problems discovered
- (e) Things to improve
- (f) Goal achievement
- (g) If others, please specify:

25. If you engage in team- or co-teaching with a JTE, what are your main roles?

Select all that apply.

- (a) Not applicable
- (b) Model pronunciation
- (c) Interactive activity with students
- (d) Game facilitator
- (e) Dialogue practice guide
- (f) Explaining grammar
- (g) Introducing/explaining foreign culture
- (h) Presenting authentic English
- (i) If others, please specify:

26. What do you find advantageous in teaching with a JTE? Select all that apply.

- (a) Not applicable
- (b) Nothing
- (c) Assistance with class management
- (d) Assistance with Japanese language support
- (e) Moral support
- (f) Procedural assistance with class materials
- (g) If others, please specify:

27. Do you face any problems with JTEs?

- (a) Yes
- (b) No

28. What problems do you face with JTEs? Select all that apply.
- (a) JTEs rarely talk to you
 - (b) JTEs don't understand English
 - (c) JTEs rarely speak English
 - (d) JTEs don't respect your ideas
 - (e) JTEs don't let you participate in lesson planning
 - (f) JTEs don't try to utilize your advantages as an ALT
 - (g) If others, please specify:
29. Please write freely any comments you have about your relationship with JTEs.

ALT-Student Interaction

30. How much time in class do you spend addressing the class as a whole?
- (a) Up to 10 min.
 - (b) 10–20 min.
 - (c) 20–30 min.
 - (d) More than 30 min.
31. How much time in class do you spend addressing individual students one-on-one during individual work?
- (a) Up to 10 min.
 - (b) 10–20 min.
 - (c) 20–30 min.
 - (d) More than 30 min.
32. How much time in class do you spend addressing small groups of students during pair or small group work?
- (a) Up to 10 min.
 - (b) 10–20 min.
 - (c) 20–30 min.
 - (d) More than 30 min.
33. What do you try to be particularly careful about when speaking to students in English? Select all that apply.
- (a) Choice of vocabulary
 - (b) Choice of grammar
 - (c) Choice of topic
 - (d) Speed of speech
 - (e) Use of clear enunciation

- (f) Use of pauses
- (g) Use of simple sentences
- (h) Use of repetition
- (i) Use of paraphrases
- (j) Use of concrete examples
- (k) Use of visuals
- (l) Use of questions
- (m) If others, please specify:

34. How often do you correct students' spoken mistakes in class generally?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
35. What factors guide the way you correct students' mistakes? Select all that apply.
- (a) Activity type
 - (b) Students' mood and personality
 - (c) Students' English proficiency
 - (d) Time constraints
 - (e) Your perceived role in class
 - (f) If others, please specify
36. How often do you use Japanese in class generally?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
37. How strict are you with the use of Japanese by students in class?
- (a) Not strict at all
 - (b) Not so strict
 - (c) A little strict
 - (d) Strict
 - (e) Very strict

38. How often do you interact with students outside of class in English?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
39. How often do you interact with students outside of class in Japanese?
- (a) Never
 - (b) Rarely
 - (c) Sometimes
 - (d) Often
 - (e) Very often
40. What events/activities do you take part in with students? Select all that apply.
- (a) Lunch
 - (b) English club
 - (c) Clubs not related to English
 - (d) School festivals
 - (e) Field trips
 - (f) Sports events
 - (g) If others, please specify:
41. Do you face any problems with students?
- (a) Yes
 - (b) No
42. What problems do you face with students? Select all that apply.
- (a) Students don't understand English
 - (b) Students speak Japanese
 - (c) Students are disrespectful
 - (d) Students don't participate in class
 - (e) Students have disciplinary problems
 - (f) If others, please specify:
43. Please write freely any comments you have about your relationship with students.

ALT Background

44. How old are you?
- (a) 18–24
 - (b) 25–30
 - (c) 31–40
 - (d) 41–50
 - (e) 51–60
 - (f) Over 60
45. What is your gender?
- (a) Male
 - (b) Female
46. How many combined years have you lived in Japan?
- (a) Less than 1 year
 - (b) 1–3 years
 - (c) 3–6 years
 - (d) 6–10 years
 - (e) More than 10 years
47. How many combined years have you worked as an ALT?
- (a) Less than 1 year
 - (b) 1–3 years
 - (c) 3–6 years
 - (d) 6–10 years
 - (e) More than 10 years
48. What is your country of origin?
49. What is (are) your native language(s)?
50. What is your approximate level of Japanese?
- (a) None
 - (b) Beginner
 - (c) Intermediate
 - (d) Advanced
 - (e) Native-like

51. What certificates or qualifications, if any, have you acquired related to English teaching? Select all that apply.
- (a) TESOL (ESOL)
 - (b) Celta
 - (c) 4-year education degree
 - (d) Teacher's license
 - (e) If others, please specify:
52. What classes have you been teaching as an ALT? Please list all the courses you have been teaching.
53. What is the main style of teaching as an ALT for you?
- (a) Solo teaching
 - (b) Collaborative (i.e., interactive) team teaching with a JTE
 - (c) Non-collaborative (i.e., role divided by time/activity) co-teaching with a JTE
 - (d) Both solo teaching and collaborative team teaching depending on the class
 - (e) Both solo teaching and non-collaborative co-teaching depending on the class
 - (f) If others, please specify:
54. Why did you decide to work as an ALT? Select all that apply.
- (a) To gain some experience working in Japan
 - (b) Because I like teaching
 - (c) Because the pay is good
 - (d) Because of a recommendation from friends/acquaintances
 - (e) Other (please specify)
55. How long do you plan to continue to work as an ALT?
- (a) 1-2 years
 - (b) 2-3 years
 - (c) 3-5 years
 - (d) 5-10 years
 - (e) More than 10 years
56. What is your current employment status?
- (a) Hired under the JET program
 - (b) Hired by a private company
 - (c) Directly hired by the board of education or by the school
 - (d) If others, please specify:
57. If you don't mind us contacting you for further inquiry, please indicate your contact information below (e-mail address, phone number, or postal address).

58. What suggestions do you have, if any, that might help improve English education in Japan? Please write below.
59. If you have any memorable episodes in your interactions with your students in and/or out of class, please write below.
60. If you have further comments on any aspects of your work as an ALT, please write below.

This is the end of this questionnaire

Thank you very much for answering all our questions!! We will do our utmost to make the best use of your responses to improve English education involving ALTs in Japan.

Use of Language (High School)

About the Questionnaire

The questionnaire asks you about “the appropriate uses of language in context”, or the ways most native speakers select language according to a given situational context (e.g. who is speaking, who is listening, what topics are being discussed etc.).

Here, “the selection of language” includes directness/indirectness (e.g. “Give me something to drink” or “I’m kind of thirsty” to ask for a drink) and the amount of information to convey (e.g. adding a reason for the request/promising a reward if the request is fulfilled).

In addition, choice of words/phrases (e.g. use of words such as “Could you do me a favor?” or “Please”) apply to this situational context.

The questionnaire consists of 5 sections:

1. Questions about your ideas on appropriate uses of language
2. Questions about your reaction to inappropriate language behavior by your students
3. Questions about your reaction to inappropriate language behavior by JTEs
4. Questions about your teaching methods
5. Questions about your background

For multiple choice questions, please select answers that apply, and for open-ended questions, fill in the blanks.

For questions about teaching, please answer based on THE MOST TYPICAL CASES you have experienced so far.

1. Your Ideas on Appropriate Uses of Language

1. Are you interested in the appropriate uses of language in context in English or in other languages?
 - (a) Yes, I am very interested
 - (b) Yes, I am somewhat interested
 - (c) No, I am not so interested
 - (d) No, I am not interested at all
2. Do you agree with the argument that some aspects of the appropriate use of language in context should be taught in English classes (in junior/senior high schools) in Japan?
 - (a) Yes, I strongly agree
 - (b) Yes, I agree
 - (c) No, I disagree
 - (d) No, I strongly disagree
3. Please write your reasons why or why not you agree that the appropriate uses of language should be taught.
4. Please select the following linguistic terms that you both understand and know of its concepts.
 - (a) Pragmatics
 - (b) Speech Acts
 - (c) Conversational Implicature
 - (d) Linguistic Politeness
 - (e) Cross-Cultural Miscommunication
 - (f) Positive/Negative Face
 - (g) Communicative Competence
 - (h) Interlanguage Pragmatics
 - (i) Corporative Principle
 - (j) None of the above
5. Where did you learn about the linguistic term(s) in Q4? Select all that apply.
 - (a) Classes at university/graduate school
 - (b) Workshops/academic conferences
 - (c) ALT training
 - (d) Self-study (from books, textbooks etc.)

(e) Other (please specify)

6. Do you think that having knowledge of the concept(s) in Q4 is useful when you teach English?
- (a) Yes, it is very useful
 - (b) Yes, it is somewhat useful
 - (c) No, it is not so useful
 - (d) No, it is not useful at all

7. Please write which knowledge from Q4 you find useful, and in what ways it is useful in your teaching.

Sample answer:

“The idea of Speech Acts is useful when teaching conversation such as how to make a request.”

2. Reaction to Inappropriate Language Behavior by Students

8. During the conversation with your students, have you ever noticed that a student's way of speaking is somewhat inappropriate?
- (a) Many times
 - (b) Several times
 - (c) Once or twice
 - (d) Never
9. Please write up to 3 occasions to how and why the student's utterance was inappropriate.
- (a) Where did the occasion(s) take place?
 - (b) During a class
 - (c) Outside class
 - (d) Both in & out of class
10. What is your typical reaction when you notice that a student's way of speaking is somewhat inappropriate?
- (a) I explain the rules of communication and manners of English
 - (b) I introduce just the expression and/or the way of saying it correctly
 - (c) I hint the student that it was inappropriate by displaying dissatisfaction
 - (d) I ignore it
 - (e) Other (please specify)

11. Have you ever shared information with JTEs about your students' inappropriate use of language?
- (a) Many times
 - (b) Several times
 - (c) Once or twice
 - (d) Never
12. What was the reaction of the JTE, when you shared information about the students' inappropriate use of language? Select all that applies.
- (a) He/she was surprised
 - (b) He/she was already aware of the problem
 - (c) He/she showed interest and asked for more details
 - (d) He/she consulted you on how he/she should give instructions to students
 - (e) He/she ignored it
 - (f) He/she didn't understand what you meant
 - (g) Other (please specify)

3. Reaction to Inappropriate Language Behavior by JTEs

13. During the conversation with JTEs, have you ever noticed that a JTE's way of speaking is somewhat inappropriate?
- (a) Many times
 - (b) Several times
 - (c) Once or twice
 - (d) Never
14. Please write up to 3 occasions to how and why the JTE's utterance was inappropriate.
15. Where did the occasion(s) take place?
- (a) During a class
 - (b) Outside class
 - (c) Both in & out of class

16. What is your typical reaction when you notice that a JTE's way of speaking is somewhat inappropriate?
- (a) I explain the rules of communication and manners of English
 - (b) I introduce just the expression and/or the way of saying it correctly
 - (c) I hint the JTE (and students) that it was inappropriate by displaying dissatisfaction
 - (d) I ignore it
 - (e) Other (please specify)

4. Your Teaching Methods

17. How often do you teach the use of language as one of the learning objectives in your class?
- (a) Very often
 - (b) Often
 - (c) Sometimes
 - (d) Rarely
 - (e) Never
18. Do you set the use of language as an independent learning objective, or do you integrate it with other features such as grammar and vocabulary?
- (a) It is one of the independent learning objective
 - (b) It is integrated with other features such as grammar instruction
19. While teaching the use of language, do you give specific examples to students using model conversations?
- (a) Always
 - (b) Most of the time
 - (c) Sometimes
 - (d) Rarely
20. Do you give detailed explanation to students about the specific rules of the appropriate uses of language in context?
- (a) Always
 - (b) Most of the time
 - (c) Sometimes
 - (d) Rarely
21. Do you introduce speaking exercises/activities on the use of language?
- (a) Always

- (b) Most of the time
 - (c) Sometimes
 - (d) Rarely
22. What kind of speaking exercises/activities on the use of language do you introduce? Please select all that apply.
- (a) Mechanical drills
 - (b) Role-play between you and the students
 - (c) Role-play between the students
 - (d) Free conversation
 - (e) Other (please specify)
23. While students are engaging in speaking exercises/activities on the use of language, do you give feedback to students in response to their utterances?
- (a) Always
 - (b) Most of the time
 - (c) Sometimes
 - (d) Rarely
24. What kind of feedback do you give? Please explain.
25. When you teach the use of language to your students, what kind of obstacles do you find in the way? Please select all that apply.
- (a) Teaching principles of your school
 - (b) The English ability of your JTE
 - (c) Your JTE's beliefs about what students' goals for learning are or how they should teach
 - (d) There are no obstacles
 - (e) I don't teach the use of language to my students
 - (f) Other (please specify)
26. Have you ever found incorrect information about the appropriate use of language in teaching materials that you use in class?
- (a) Many times
 - (b) Several times
 - (c) Once or twice
 - (d) Descriptions in teaching materials are always correct
 - (e) There are no such descriptions in teaching materials in the first place
27. Please list up to 3 examples to how and why the description in the teaching material is

incorrect.

28. What is your typical reaction when the explanation about the appropriate use of language in the teaching materials is somewhat inappropriate?
- (a) I ignore it
 - (b) I make clear that the description is incorrect, and teach students what I believe to be correct
 - (c) I do not explicitly comment about the incorrect description, but give students the correct expression
 - (d) Other (please specify)
29. Have you ever found incorrect explanation about the appropriate use of language that your JTE gave to students in class?
- (a) Many times
 - (b) Several times
 - (c) Once or twice
 - (d) JTE's explanations are always correct
 - (e) JTE gives no such explanations in the first place
30. Please list up to 3 examples to how and why the explanation of the JTE is incorrect.
31. What is your typical reaction when the explanation about the use of appropriate language made by a JTE is somewhat inappropriate?
- (a) I ignore it
 - (b) I make clear that the JTE's explanation is incorrect, and teach students what I believe to be correct
 - (c) I do not explicitly comment about the JTE's misunderstanding, but give students the correct expression
 - (d) Other (please specify)

5. Your Background

32. How old are you?
- (a) 18–24
 - (b) 25–30

- (c) 31–40
- (d) 41–50
- (e) 51–60
- (f) Over 60

33. What is your gender?

- (a) Male
- (b) Female

34. How many combined years have you lived in Japan?

- (a) Less than 1 year
- (b) 1–3 years
- (c) 3–6 years
- (d) 6–10 years
- (e) More than 10 years

35. How many combined years have you worked as an ALT?

- (a) Less than 1 year
- (b) 1–3 years
- (c) 3–6 years
- (d) 6–10 years
- (e) More than 10 years

36. What is your current employment status?

- (a) Hired under the JET program
- (f) Hired by a private company
- (g) Directly hired by the board of education or by the school
- (h) Other (please specify)

37. What is your country of origin?

38. What is (are) your native language(s)?

39. What is your approximate level of Japanese?

- (a) None
- (b) Beginner
- (c) Intermediate
- (d) Advanced

(e) Native-like

40. What certificates or qualifications, if any, have you acquired related to English teaching?

Select all that apply.

(a) TESOL (ESOL)

(b) Celta

(c) 4-year education degree

(d) Teacher's license

(e) Other (please specify)

41. What classes have you been teaching as an ALT? Please list all the courses you have been teaching.

42. What is the main style of teaching as an ALT for you?
- (a) Solo teaching
 - (b) Collaborative (i.e., interactive) team teaching with a JTE
 - (c) Non-collaborative (i.e., role divided by time/activity) co-teaching with a JTE
 - (d) Both solo teaching and collaborative team teaching depending on the class
 - (e) Both solo teaching and non-collaborative co-teaching depending on the class
 - (f) Other (please specify)
43. Why did you decide to work as an ALT? Select all that apply.
- (a) To gain some experience working in Japan
 - (b) Because I like teaching
 - (c) Because the pay is good
 - (d) Because of a recommendation from friends/acquaintances
 - (e) Other (please specify)
44. How long do you plan to continue to work as an ALT?
- (a) 1–2 years
 - (b) 2–3 years
 - (c) 3–5 years
 - (d) 5–10 years
 - (e) More than 10 years
45. Are you aware of the contents in the Course of Study Guidelines for teaching English in Japan issued by the Ministry of Education (MEXT)?
- (a) Yes
 - (b) No
46. How did you learn about the contents in the Course of Study issued by MEXT?
- (a) Through an ALT training program
 - (b) Through personal investigation
 - (c) If others, please specify:
47. If you don't mind us contacting you for further inquiry, please indicate your name and contact information below (email address, phone number, or postal address).
48. What suggestions do you have, if any, that might help improve English education in Japan? Please write below.

49. If you have any memorable episodes in your interactions with your students in and/or out of class, please write below.

50. If you have further comments on any aspects of your work as an ALT, please write below.

This is the end of the questionnaire.

Thank you very much for answering all our questions!!

We will do our utmost to make the best use of your responses to improve English education involving ALTs in Japan.

小学校・中学校・高等学校における
ALTの実態に関する大規模アンケート調査研究

中間報告書

平成27年5月 発行

研究参加者リスト

＜研究代表者＞

吉田研作 上智大学言語教育研究センター長

＜小学校アンケート担当＞

狩野晶子 上智大学短期大学部英語科 准教授

＜中学校アンケート担当＞

和泉伸一 上智大学外国語学部／大学院外国語学研究科 教授

＜高等学校アンケート担当＞

清水崇文 上智大学言語教育研究センター／大学院外国語学研究科 教授

臼倉綾乃 上智大学大学院外国語学研究科

尾関はゆみ 上智大学短期大学部英語チューター
上智大学国際言語情報研究所 共同研究所員

菅清隆 上智大学大学院外国語学研究科

園田敦子 上智大学大学院外国語学研究科

豊田春賀 上智大学大学院外国語学研究科

安由利子 一橋大学大学院言語社会研究科

吉田麻里子 上智大学大学院外国語学研究科

Daniel Schultz 上智大学大学院外国語学研究科

Jason McEvoy 上智大学大学院外国語学研究科

＜協力＞

澁谷敏 株式会社インタラック 営業本部 副本部長

平間頼子 株式会社インタラック 広報・マーケティング部 部長